

厚岸町観光振興計画

(資料編)

令和5年(2023)3月
厚岸町

目次

1	厚岸町観光振興計画の策定体制と経過（概要）	1
2	マーケティング調査結果	2
(1)	観光施設ヒアリング調査	3
(2)	有識者調査	41
(3)	来訪者調査	50
(4)	町民アンケート調査	69
(5)	インターネットアンケート調査	87
(6)	S N S等の定性分析	103
(7)	先進事例調査	109
(8)	観光資源調査	118
3	厚岸町観光審議会への諮問	132
4	厚岸町観光審議会からの答申	133
5	厚岸町観光審議会委員名簿	134
6	厚岸町観光審議会条例	135
7	厚岸町観光審議会条例施行規則	136
8	厚岸町観光振興計画策定委員会設置要綱	138
9	観光振興計画策定委員会名簿	139
10	観光振興施策検討委員会設置要領	140

1 厚岸町観光振興計画の策定体制と経過（概要）

年月日	内容
平成2年（1990）3月	アクティブ・タウンあつけしプラン策定
令和4年（2022）2月1日	第1回観光振興施策検討委員会 （委員長の互選、観光施設の現状と課題協議）
令和4年（2022）5月18日	第2回観光振興施策検討委員会 （観光施策の取りまとめ、観光振興計画（草案）の策定検討）
令和4年（2022）10月17日	第1回厚岸町観光振興計画策定委員会 （委員長の互選、厚岸町の観光の現状、厚岸町観光振興計画策定に係る調査結果報告）
令和4年（2022）11月30日	第2回厚岸町観光振興計画策定委員会 （厚岸町観光振興計画策定に係る調査結果報告、厚岸町観光振興計画（案）作成）
令和5年（2023）3月16日	第3回観光振興施策検討委員会 （厚岸町観光振興計画（案）の協議）
令和5年（2023）3月17日	第3回厚岸町観光振興計画策定委員会 （厚岸町観光振興計画（案）の協議、厚岸町観光振興計画（原案）作成）
令和5年（2023）3月20日～ 令和5年（2023）3月24日	厚岸町観光振興計画（原案）の公表と意見募集（パブリックコメント） ・町ホームページによる公表 ・町内各所（5箇所）における配布（役場庁舎、町民ホール、湖南地区出張所、厚岸町商工会、JR厚岸駅、厚岸味覚ターミナル・コンキリエ） 意見数：0件
令和5年（2023）3月27日	厚岸町観光審議会に町長から諮問
令和5年（2023）3月27日	厚岸町観光審議会において審議
令和5年（2023）3月27日	厚岸町観光振興計画（案）確定
令和5年（2023）3月31日	厚岸町政策会議において承認 厚岸町観光振興計画策定

2 マーケティング調査結果

	調査名	調査対象
1	観光施設ヒアリング調査	町内の主要観光施設等30箇所
2	有識者調査	厚岸町、厚岸観光協会、厚岸町商工会、厚岸漁業協同組合、釧路太田農業協同組合
3	来訪者調査	来訪者及び町内宿泊者
4	町民アンケート調査	18歳以上の町民1,000人
5	インターネットアンケート調査	趣味や興味に「旅行」を選択している20歳以上の人で、北海道内500人、北海道外（国内）500人の合計1,000人
6	S N S 等の定性分析	S N S 等における厚岸町の観光等に関する投稿や口コミ等
7	先進事例調査	全国の先進的な取組みから厚岸町に活かせる取組みの情報収集
8	観光資源調査	厚岸町の観光資源の現状調査

(1) 観光施設ヒアリング調査

町内の次の主要観光施設30箇所の各観光施設管理者等を対象に、ヒアリング調査を実施。

種別	調査対象施設
観光施設	子野日公園、愛冠岬（観光サービスセンター）、原生花園あやめヶ原（観光サービスセンター）、厚岸水鳥観察館、町営牧場、厚岸町海事記念館、筑紫恋キャンプ場、厚岸蒸溜所、愛冠自然史博物館、ネイパル厚岸、厚岸味覚ターミナル・コンキリエ、厚岸町総合観光案内所、厚岸漁業協同組合（直売店）
飲食店	森高牧場、厚岸海産、桜亭、馬場商店、氏家、一福、スナック舞、スナック暖手巣
宿泊施設	ホテル五味、シーサイドインホテルあつけし、鈴木旅館、遠藤旅館（愛冠ユースホステル）、民宿喜多岬、民宿あつけし
交通機関	J R 北海道厚岸駅、桜ハイヤー、くしろバス厚岸営業所

対象施設	子野日公園
日 時	令和4年9月29日 17:00

【受入体制】

- ・インバウンド客の利用はほとんどない。
- ・公園のホームページはなく、イベント情報の発信は役場Facebookを使っている。
- ・バリアフリー対応は、身障者用トイレを設置。
- ・屋外の公園なので、手指消毒やマスク着用をお願いする看板を設置している。
- ・駐車場は、乗用車60台（うち身障者用3台）、大型車4台。
- ・Wi-Fi設備はない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・町民利用が中心なのでコロナの影響はない。屋外で遊ぶことが増えたので、コロナ後に利用客は少し増えた。
- ・駐車場で車中泊する人は、コロナ感染者が多い時期は減少した。

【厚岸観光の課題】

- ・観光拠点がコンキリエとエーウロコに限られている。他にも観光スポットがあれば、人が立ち寄るかもしれない。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・海岸線の景色が良いので、海を眺めながら滞在できる場所があると良い。海が見えるキャンプ場など。
- ・温泉施設があれば町民も喜ぶ。
- ・若い人が食事できるカフェなどがあると良いのでは。海が見える場所にあるとなお良い。
- ・観光客が滞在するようになることが重要。若い人が泊まりたくなるペンションなどがあると良いのでは。若い人の移住や起業につながる可能性もある。
- ・国定公園に指定されたので、海を使ったアクティビティなどできないのか。
- ・望洋台の場所は厚岸の入口になるので、この場所にカフェなどがあると良い。場所が良いだけにもったいない。

対象施設	愛冠岬（観光サービスセンター）
日 時	令和4年9月15日 10:00

【受入体制】

- ・コロナ前は、釧路港に寄港するクルーズ船（外国船）のオプションツアーが団体で訪問することがあった。乗客は主に中国系。クルーズスタッフが同行するので、外国語対応は不要だった。
- ・トイレやスロープ等のバリアフリー対応は特に行っていない。愛冠岬に行く道は、舗装されていないので、車いすでは厳しい。
- ・感染症対策は、手指消毒・換気を実施。
- ・駐車場は、乗用車30台、大型バス2台。
- ・Wi-Fi設備はない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナ後は、利用客が大きく減少。団体バスの利用機会が減っていることに加えて、訪問するバスも定員を減らして運用している。ネイパル厚岸を利用する子どもの利用もあるが、これも大きく減っている。
- ・釧路港に入港するクルーズ船の乗客が、コンキリエで昼食をとるために厚岸を訪問。入りきらないバスが順番に愛冠岬にやってきた。この時は岬に行く道が渋滞した。
- ・鹿を見るためや夕日を見るために、愛冠岬を訪れる人も多い。

【厚岸観光の課題】

- ・カキを中心とするグルメ人気がある一方で、町内に食堂が少ない。町民も記念日等に食事をする時は、コンキリエを利用するケースが多い。

対象施設	原生花園あやめヶ原（観光サービスセンター）
日 時	令和4年9月29日 9：00

【受入体制】

- ・観光サービスセンターではインバウンド客への語学対応はできていない。担当者が高齢のため、スマホの翻訳機能を使うことも難しい。
- ・情報発信は、観光協会のホームページやSNSを使っている。アヤメが咲く季節を中心に情報を出している。
- ・身障者用トイレは整備しているが、園内の歩道は車いすでは難しい。改修を検討している。
- ・感染症対策としては、手指消毒と換気を実施している。
- ・Wi-Fi設備はない。通信回線がないため、携帯電話のみ。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナの影響はそれほど受けておらず、観光サービスセンターの利用者はコロナ前の年間8,000人前後から令和3年度は11,400人に増加している。
- ・駐車場のナンバーを調べたところ、道外客が3～4割いる。コロナ前は道外客がもう少し多かった。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸町は農業・漁業の一次産業が中心。地元では観光があまり必要とされていないようで、観光で人を呼び込もうという機運はまだ少ない。ただし、商店や飲食店は疲弊している。
- ・あやめヶ原は、アヤメが咲く時期以外の集客が課題。普段は馬を放牧している。
- ・アッケシソウの群生地復活なども可能性はある。
- ・子野日公園も桜の時期やイベント時期以外の集客が課題。藤棚があるので、これを広げて見どころにできないか。紅葉の見どころもある。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・施設改修などを続けて観光客が来やすい体制づくりを進めながら、町内の各産業への波及が広まることを期待している。
- ・中標津町「道立ゆめの森公園」にあるような屋内遊園があると、子どもたちが楽しめる場所になる。
- ・漁業を活かした体験観光、漁業の現場を見せる、漁船に乘せるなど可能ではないか。
- ・厚岸ウイスキーを活用したウイスキーイベントなどもできないか。
- ・厚岸町出身のプロ野球選手やオリンピックメダリストがいるので、こうした選手を観光大使にできないか（現在は観光大使の制度がない）。
- ・厚岸蒸溜所の社長がアルピニスト野口健氏と親しく、その関係で厚岸町を訪問したことがある。野口健氏の活動を参考に、SDGsの取組など可能性があるのでは。
- ・厚岸町ではカキを育てる海を守るため、昭和40年代から植樹を続けている。こうして

守られている自然環境や歴史資源を売り物にはできないか。

- ・厚岸町を訪れる観光客が増加し、ふるさと納税につながると良い。
- ・国定公園に指定後の動きが鈍いので、エリア4町が連携して観光客を呼び込むような動きができないか。
- ・東北北海道DMOの活動の一環で、立命館大学のゼミ活動を厚岸で受け入れた。その時に参加した学生から、町内の公共交通機関の必要性に関する意見があった。循環バスの運行など検討できないのか。
- ・道東地域の観光バスは、釧路湿原・阿寒湖・知床を結ぶ路線が中心で、厚岸や根室方面のバスがない。
- ・厚岸では、カキやサンマがブランド化している。町内で体験や食を楽しんでもらうには、やはり宿が必要。宿泊してもらわないとお金が落ちない。
- ・地元住民向けには温泉施設が欲しいところ。このあたりで温泉がないのは厚岸ぐらいではないか。

対象施設	厚岸水鳥観察館
日 時	令和4年9月16日 16:00

【受入体制】

- ・コロナ前は、ヨーロッパや台湾からのインバウンドが年に数十人来ていた（平成31年4月～令和2年3月までの1年間で外国人利用者数は61人）。英語対応は可能。
- ・情報発信は、ホームページ、Twitter、Facebook、YouTubeを開設している。
- ・バリアフリー対策は、身障者用トイレ、スロープを設置。エレベーターはない。
- ・感染症対策は、検温、手指消毒、換気を実施している。
- ・駐車場は、普通車20台＋α、大型3台、身障者用スペースあり。
- ・来館者用のフリーWi-Fiはなし。

【集客状況、コロナの影響】

- ・平成7年以降の入館者数の推移をみると減少傾向が続いている。平成7年18,936人に対して令和元年度が9,980人、令和3年度6,222人と大きく減少。コロナの影響で休館していた時期もある。
- ・利用者は道外が半分弱。コロナ後は根釧管内の利用者が増加し、道外客は減少している。
- ・団体利用は、小中学校など教育関係が中心。
- ・コロナ当初は関東方面からの来館者が増えた。コロナ疎開の影響か？

【厚岸観光の課題】

- ・コンキリエ、エーウロコ、かき祭りなどのイベントが中心。民間で集客できる観光施設が足りない。体験観光はコンキリエだけになっている。民間が行うアザラシツアーがあったが、今はなくなっている。
- ・湿原の奥には見どころがあるが、一般の観光客が行ける場所ではない。
- ・湿原をめぐる木道を設置できるとよいが、このエリアは潮位差があることや冬期間凍結することもあり、木製の道路はすぐに破損してしまい設置は難しい。大雨が降ると、国道と線路以外は水没することもある。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・これまでは、ラムサール条約登録湿地の拠点施設と位置づけられていたが、国定公園に指定されたことで、ビジターセンター的な役割も担うことになった。提供する情報の質向上が求められている。
- ・厚岸の観光は食が中心で、自然環境は＋α的な存在。
- ・今あるものを、いかに利用できるかを考えることが必要。国定公園内は、大型施設の建設が難しいなど規制がある。
- ・知床や釧路湿原など含めた広域連携の視点も必要。

対象施設	町営牧場
日 時	令和4年9月28日 14:30

【受入体制】

- ・町営牧場は、町内外の酪農家の預託牛を管理・育成している。感染症予防のため部外者の入場には制限があり、放牧地に自由に立ち入ることはできない。
- ・町営牧場は総面積1,000ha（東京ドーム200個分）の敷地がある。広いだけに良い場所はたくさんある。活用しないのはもったいないが、クマが出没するエリアなので現状は受入れが難しい。
- ・町営牧場のホームページはないが、場長のFacebookで個人的に景色の良い場所を紹介している。

【町営牧場の活用について】

- ・立命館大学の学生が見学したことがあり、放牧地の中を案内したが、そうした事例はイレギュラー。農家から預託している牛なので、触ることは難しい。道路から見るだけなら受入れ可能。
- ・町営牧場の中を通っている道道沿いには景色の良い場所がない。少し奥地に入る必要がある。
- ・町営牧場の敷地を使ってサービスを実施したい事業者が現れたら協力は可能。活用方法としては、放牧地を見る、川で水遊び、フットパス、マウンテンバイク、星空観察などが可能ではないか。冬期間は放牧を行っていないので、一面の雪景色の中をスノーモービルも可能。歩くスキーやバードウォッチングも楽しめる。
- ・事務所前のスペースは集合場所に使うことができるが、駐車場やトイレ整備が課題になる。
- ・鹿がたくさんいるので、鹿撃ちのハンターを育成する場所にできるかもしれない。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸町のふるさと納税返礼品を見ると、乳製品など山のものが少ない。酪農は出荷した乳がまとめて出荷されるので生産者の顔がわかりづらい。海産物もその傾向が強い。
- ・町内の観光に対する意識がまだ低い。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・夏は涼しい場所で空き家もたくさんあるので、移住先に良いのではないかな。夏のスポーツ合宿にもなる。
- ・太田地区の豊受神社は、ミズナラなどの森が広がる隠れたスポット。
- ・温泉施設や新しいホテルができると活気が出てくる。
- ・厚岸と浜中を一体の地域として売り出すことも必要ではないか。

対象施設	厚岸町海事記念館
日 時	令和4年9月28日 10:00

【受入体制】

- ・コロナ前は、中国系・東南アジア系の利用が若干あった。英語対応の解説パネルがあるのでそれで対応。自転車で来る欧米系の方もいた。
- ・来館者からは、見る場所と食べる場所を聞かれることが多い。
- ・情報発信は、ホームページ、Facebook、Twitterを開設。
- ・バリアフリー対応は、身障者トイレ、スロープがある。
- ・駐車場は役場のものを利用。
- ・手指消毒、検温、換気、施設内消毒を実施。混雑緩和のためにプラネタリウムの定員を減らしている。
- ・館内にWi-Fiはない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・教育機関であり、団体利用は近隣の学校が多い。
- ・一般利用は道内外からある。プラネタリウム好きや歴史好きの利用。
- ・コロナの直前から道外客の利用が増加してきた印象がある。釧路市のお試し移住増加の影響か。
- ・令和2年度から入館料を無料化。町民の利用が増えた。無料化はコロナ前から決まっていた。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸は、歴史や自然など素材が多い。以前はその素材を見ることができなかったが、カヌーなど見る方法が徐々に増えてきた。
- ・他の地域と比べると、案内標識や窓口などの案内体制、バスやタクシーといった交通機関が弱い。厚岸の見どころは中心部から遠いところが多い。地元客はマイカーが当たり前。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・町内循環バス（難しいが）やレンタサイクルがあると良いのではないかな。
- ・今はカキが有名。コンキリエ以外の飲食店の周知が必要。
- ・観光の取組は行政が中心なので、町民の参加が増えると良い。町民のボランティアガイドなどあれば良いのではないかな。

対象施設	筑紫恋キャンプ場
日 時	令和4年9月15日 11:00、17日 9:40

【受入体制】

- ・インバウンド客は、コロナ前は年間に10～20人。中国や韓国が増えてきた印象があった。欧米からの利用客には自転車の人も多かった。コロナの後は、年間1～2名である。
- ・利用客からの質問で多いのは、周辺の温泉や温浴施設に関すること。観光施設については、事前にネット検索してくるので質問が少ない。
- ・トイレやスロープなどのバリアフリー対応はない。
- ・Wi-Fi設備はない。ドコモ以外の携帯電話の電波が悪いことが課題。

【集客状況、コロナの影響】

- ・利用客は道外客が半数以上を占める。地元客は少ない。
- ・一泊の利用客が多いが、中高年は予定を決めずに旅している人が多いため、天気が良ければ厚岸に複数泊していくこともある。10泊以上の長期滞在する常連客が5～6人いる。
- ・中高年は、キャンピングカー利用や車中泊が多い。こうした客はキャンプに慣れていないせいか、マナーが良くない傾向にある。口コミサイトを見ると、客層が悪いという口コミがある。
- ・若い人は自転車やオートバイの利用が多い。
- ・キャンプ場ではゴミを無料で引き受けているので、長期旅行者には好評である。
- ・コロナ後の変化としては、地元の人が平日の仕事終わりや週末にバーベキューで利用するなどが出てきた（宿泊なし）。女性が一人でバーベキューすることもある。

【キャンプ場の課題】

- ・キャンプ場は、設備が全般的に古くなっている。バンガローは基礎や壁はしっかりしているが、扉など付属品が腐食してきている。これらの改修は華美にする必要はなく、バンガローで電気を使えるようにするなど、現在の生活様式にあった最低限のアップグレードで良い。
- ・トイレがくみ取り式であることが最も大きな課題。一部簡易水洗のトイレを作ったが、臭いの問題が残っている。ネイパルに宿泊している学生が日中使用していて、トイレを利用できないので先生が車でコンビニまで連れていくことがあった。
- ・昔にできたキャンプ場なので、区画割りがきちんとされていない。
- ・携帯電話が通じるのがドコモだけなので、auやソフトバンクの電波の確保が課題。
- ・山が近いため鹿の糞の問題がある。毎朝清掃が必要。

【キャンプ場の今後について】

- ・昔は、愛冠岬に通じる散策路があったが今は使えなくなっている。熊対策等を行う必要があるが、これを再開できないか。

- ・駐車場の横の空き地を利用していないので、この場所を使ってフィールドアスレチック（小学校高学年向け）やパークゴルフができないか。キャンプ場に泊まりながら、町内のパークゴルフを楽しんでいる利用客もいるようだ。
- ・現在の利用料は安すぎるので、施設整備を行って適正な料金に上げたとしても、利用者は減らないのではないか。
- ・他の地域のキャンプ場でどういう取り組みを行っているのか、役場が視察してはどうか。

【厚岸観光の課題・期待】

- ・国定公園になったが、厚岸町内では見る場所が少ない。
- ・これからは、見る観光から体験する観光に変わっていく必要がある。厚岸湖を一周するサイクリングロードなどできないか。海を使ったプログラム（シーカヤック、カヌー、アサリ掘りなど）、もっと利用できるのではないか。
- ・冬の観光メニューも必要である。凍結した湖でスノーモービルなど、アクティビティを検討してはどうか。冬はカキが一番おいしい季節なので、冬の観光に力を入れるのもあり。

対象施設	厚岸蒸溜所（堅展実業株式会社）
日 時	令和4年9月28日 11:00

【受入体制】

- ・厚岸蒸溜所では見学者は受け付けていない。少数精鋭の体制で運営しているため、説明するスタッフがいらないのがそもそもの理由であったが、さらにHACCP認証を受けたことにより、蒸溜所内部に部外者が入ることは難しい状況にある。

【集客状況、コロナの影響】

- ・現在は、コンキリエとホテル五味が蒸溜所を外から見学できるツアーを実施。見学用のテラスを蒸溜所の外に設置している。今以上の対応は難しい。
- ・テラスに登れる人数は限られているので、ツアーが来ると上限を超えていないか確認することはあるが、見学客についてそれ以上の情報はない。
- ・ゴールデンウィークなどは、外部から写真を撮るために訪問する人はある。公道からの撮影なので制限はできないが、周辺は作業車両が通るので安全上の問題はある。
- ・見学者を受け入れることができないので、ホームページ上でバーチャル見学ページを開設した。ファンに向けてせめてものサービス。
- ・モンベルクラブの会員が、事前予約の上で訪問すると記念品をプレゼントしている。
- ・自分たちがお客様にできることは、第一に製品をきちんと作って、商品を提供すること。それが一番のサービスだと考えている。
- ・ウイスキーフェスティバルなど外部のイベントに参加しPRしている。ウイスキーファンには喜ばれている。一般的な食のイベントにも参加。今年7月に札幌で行われたイベントの際には、厚岸町の観光パンフレットを持参し、町のPRを行った。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸町は、観光資源はいろいろとあるので現状は残念に感じる。海岸線や厚岸大橋など景色だけでも絵になる場所がある。
- ・厚岸から浜中にかけての海岸線は、アイラ島の景観によく似ている。しかし、地元の住民にとっては当たり前の景色。外部目線を持った自分たちが厚岸の良いところを発見して、外部に発信できればと考えている。
- ・課題は宿泊施設。同じような施設が多く選択肢がない。もう少し洗練された宿があると良い。お酒を造っている会社なので、泊まるところがないと飲んでもらえない。
- ・タクシーの営業が20時で終わるので飲みに行けない。町内飲食店向けに「牡蠣の子守歌」という銘柄を出しているので影響がある。スタッフが町内の飲食店に飲みに行くのも学びの場と考えているが、タクシーがないので難しい。
- ・子野日公園に、昔アスレチック施設があったがなくなってしまった。子どもが楽しめる場所が必要ではないか。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・厚岸蒸溜所は、厚岸の自然のサイクルの中にある。ミズナラの森に降った雨がピート層を通り、その水はウイスキーの仕込み水になるだけでなく、海に流れてカキを育てている。間伐されたミズナラは樽に加工されている。厚岸蒸溜所のウイスキーづくりは、ここでしかできない取組である。
- ・このシステムを観光客に知ってもらうエコツアーができないか。厚岸蒸溜所のウイスキーが生まれる環境を体感するツアー。熱心な取引先は作り手の思いを含めて知りたがるので、大事なお客様を山に連れていくことはある。ただし、クマが出るので安全性の問題はある。
- ・厚岸は町並みが寂しいが、住んでみると活気がある。見た目とのギャップがあるので、寂れた印象をなくすことも重要ではないか。

対象施設	愛冠自然史博物館 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター 厚岸臨海実験所)
日 時	令和4年10月17日 11:00

【受入体制】

- ・愛冠自然史博物館の入館者は、年間3,000人程度（コロナ前）。そのうち7～8割が観光客。
- ・インバウンドは、クルーズ船の乗客または個人観光客。中国、韓国、台湾、東南アジア系が多かった。語学対応はしておらず、厚岸町が作成した外国語の観光パンフレットを渡している。
- ・情報発信は、臨海実験所のFacebookが中心。
- ・バリアフリー対応は入口のスロープのみ。トイレは身障者対応になっておらず、現在は下水道トラブルで一般客も使えない。
- ・感染症対策は、検温、手指消毒、換気。コロナ後は、一度に入館できる人数を10人に制限し、密を避けている。
- ・駐車場は、愛冠岬サービスセンターの駐車場を利用。事前に連絡があった時は、車椅子対応のために施設前に駐車可能としている。
- ・来館者用のWi-Fi設備はナシ（北大の研究者用のみ）。

【集客状況、コロナの影響】

- ・令和2年～3年は事前予約制にしていたので、ネイパル厚岸の利用者か近隣に学校の生徒に限られていた。
- ・今年は予約なし、一度に入れる人数を制限して対応している。
- ・今年の傾向は道外客が増加し、年齢層の中心は高齢者から中年層に変化している。若者の来館も増えている。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸は、資源があるけど活かしきれておらず、もったいない。ただし、観光客が増えれば良いという訳ではなく、観光客の質を上げることが必要ではないか。
- ・宿泊施設の質も課題。今のニーズに合っていない。臨海実験所に来る人も、最初は町内に泊まるが、2回目以降は釧路市に泊まる人が多い。
- ・ある程度意識の高い観光客を集めたいが、ビジネス的なことを考えるとそれだけでは難しい。インバウンドが回復すると、富裕層を中心に意識が高い層を集客できる可能性があるかもしれない。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・これから観光客は二極化すると言われている。安いものを求める人と、良いものにはお金を払う人。石垣島ではLCCが就航したことで観光客の質が落ちたという。厚岸の価値をわかってくれる人に来て欲しい。

- ・阿寒湖や知床のような大規模な観光地になるのは好ましくない。適切な規模で考える。
- ・厚岸だけでなく、浜中など周辺自治体と協力することが重要。エコツアーの専門家も招いて、道東全体で取り組んではどうか。釧路から根室の生態系は世界的に見ても貴重で、世界遺産の価値があると言われている。
- ・最近、沿岸にラッコの生息数が増えてきた。観光資源にして売り出すという声もあるが、増えすぎると漁業被害が出る恐れがあるので難しい。
- ・愛冠岬サービスセンターにレンジャーがいる体制になると望ましい。

【愛冠自然史博物館について】

- ・愛冠自然史博物館の独自予算はなく、博物館の運営は臨海実験所の予算を充当している。今後、愛冠自然史博物館を厚岸町の観光資源として活用するなら、町とタイアップした事業を考える必要がある。
- ・本来であれば学芸員を置きたいが、大学の予算の都合もあり難しい。北大総合博物館のランチという話もあるが、進んでいない。
- ・臨海実験所の学生の伝手を使って、博物館で芸術家とのコラボイベントを開催したことがあるが、今の体制では今後のイベント開催は難しい。
- ・サービスセンターから愛冠岬までは北大の敷地。駐車場から博物館までの道路は今の状態を維持したい。愛冠岬まで車道をとという声もあるが、自然環境を守るためにそれは避けたい。

対象施設	ネイパル厚岸
日 時	令和4年9月16日 13:00

【受入体制】

- ・ネイパル厚岸は、4月からオカモトグループが指定管理者となり運営している。
- ・情報発信はホームページ、Facebook、Instagram、YouTube。
- ・バリアフリールームがあり、身障者用トイレ・駐車場、スロープもある。
- ・感染症対策は、入口で検温と手指消毒を実施。コテージの定員を、3月までは半分にしていた。
- ・駐車場は全体で30台分。バスの駐車がある場合は、隣接施設の町管理駐車場を利用する。
- ・館内はWi-Fi整備済み。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナ前は、年間1.5万人程度の利用があった。小中学生の数が減っている影響もあり、利用者は全体的に減少傾向にある。
- ・利用する学校は、釧路・根室管内が中心で、標茶町・中標津町・別海町・白糠町などの利用が多い。
- ・利用者は基本的に学校等の団体利用だが、個人利用も可能。外国人でも利用できるが、外国語対応の体制はない。なお、4月からの5か月間で利用した一般客は4組のみ。
- ・厚岸町は歴史文化含めて資源が多い。教育団体の活用可能性は高い。
- ・施設の提供するアクティビティとしては、工作物を作る（カキやアサリの殻でキャンドルを作る、殻はコンキリエからもらってくる）、まちなみフォトラリー、森林散策ラリー、屋内メニューではフロアカーリングなどのニュースポーツを提案している。
- ・ネイパルの主催事業では、津波などの防災をテーマにしたキャンプ、海のSDGsなどをテーマにしている。

【厚岸観光の課題】

- ・カキの町であるが、コロナ対策で漁協直売店のイートインコーナーが休止しており、購入してもその場で食べることができない。ネイパルに持ってくると、屋外で焼いて食べることができる。
- ・タクシーが20時に営業を終了することは、市街地から離れているネイパルには影響がある。特に、一般客の利用や大学生などの団体を誘致する際には影響がある。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・ほかの町から見ると、厚岸は魅力的。だから、子どもたちもやってくる。
- ・厚岸の良いもの、カキ・アサリ、ウイスキー、道の駅などを活用する。
- ・地域の資源を活用したコンテンツ作りが得意なので、そういった面で貢献できれば。

対象施設	厚岸味覚ターミナル・コンキリエ
日 時	令和4年9月15日 13:30

【受入体制】

- ・観光案内所は英語対応が可能。売店やレストランには翻訳機を設置し対応している。
- ・館内はフリーWi-Fiを完備。
- ・感染症対策は、入口に検温・手指消毒を設置し、館内換気をコントロールしている。
- ・SNSは、Facebook、Instagram、LINE。テレビコマーシャルの外国人ダンサーが人気で、関連グッズも作成している。

【集客状況、コロナの影響】

- ・新型コロナが発生する前（ノロウイルスの頃）から感染症対策には力を入れてきたので、コロナ対策にもスムーズに対応できた。保健所の担当者呼んで、予防対策を受講している。
- ・道の駅の利用客数は、ピーク時の96%まで回復している。団体客は年間3万人から3千人に大きく減少したが、道内客のリピーターでカバーしている。今年5月～7月の売上は、コロナ前を上回る水準になった。
- ・新型コロナの影響で旅行を控えていた反動が出ており、道内客の利用が増え、客単価も上昇していると考えている。
- ・道内のリピーター客を中心に「厚岸ファン」は確実に増えていると感じている。「二度目」「コア」「ディープ」な厚岸体験が必要。
- ・インバウンド客を誘致しておらず、営業活動もしてこなかった。その理由としては、外国人観光客は時間にルーズなため他の利用客に影響が出る（回転率が悪くなる）、コロナや地震など外的要因の影響を受けやすいことがある。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸周辺は2次交通の利便性が悪いので、レンタカーを利用できない外国人観光客（個人）の利用は難しい。今後もインバウンド客（個人）の集客は難しいのではないかな。
- ・厚岸の新しい観光資源となっているウイスキーについては、宿泊施設が少ないことが課題（飲んだら泊まる必要がある）。町内の宿泊事業者は後継者不足もあり新規の投資には消極的。町外事業者を含めた宿泊施設誘致を検討する必要があるのではないかな。道内には、道の駅に外資系ホテルを併設する事例がある。
- ・新しいホテルができると、観光客の動きが変わるのではないかな。キャンプ場や車中泊対応などを含めて、宿泊客受け入れ方法を検討する必要がある。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・新型コロナの影響で客層が変わってきた。転換期だと捉えている。これまでは安い価格設定でも団体観光客を受け入れてきたが、今後は、しっかりとした料金設定で地元の食を売っていく方向になる。これから小グループの観光客が動き出す。
- ・JRを途中下車して道の駅を利用するケースもある。道の駅が開催する厚岸蒸溜所見

学ツアーは、J R利用者を考慮した時間設定になっている。

- 厚岸霧多布昆布森国定公園の活用に向けて、自然にやさしい散策路として木道を整備できないか。定期的にフォーラムを開催し保全と活用に向けた意識づけを行うことも必要。活動が続けていくことで環境省の補助事業なども活用できる。別寒辺牛川を眺めることができるテラスを設置してはどうか。
- これまでの道東観光では、知床に泊まった後に、厚岸で昼食をとり、釧路湿原を観光して、釧路泊まるという流れ。これが最近では、知床に泊まった後に根室観光をして厚岸で夕食をとり釧路のホテルに行くようになってきた。
- コロナ後の観光は、バスの定員が減る、客単価が上がる、宿泊と食事の場所が別になる、などの流れが出来てくるのではないかと。
- 厚岸町にお金落ちる仕組みを考えると、やはり宿泊施設の充実が必要。町内事業者が投資に踏み切れるようなバックアップを町が行う必要がある。無利子融資や後継者確保など、思い切った施策も必要ではないかと。
- 観光事業者への刺激も必要。外部から人を招いて勉強会を開く、新しい取組に向けた協議会を結成する、オートキャンプ場を作るなど。

対象施設	厚岸町総合観光案内所（道の駅内）
日 時	令和4年9月28日 16:00

【受入体制】

- ・観光案内所の窓口は英語対応可能。他の言語は、翻訳機で対応している。
- ・その他受入体制は、道の駅と同様。

【集客状況、コロナの影響】

- ・案内所の窓口で多い質問は、カキを食べることのできる飲食店の場所と、海産物を購入・発送できる場所。飲食店は相手の年代や要望を聞いて紹介している。
- ・町内の観光スポットを聞かれたときは、愛冠岬や国泰寺跡を紹介することが多い。季節が良ければあやめヶ原を紹介する。
- ・霧多布湿原に関する質問も非常に多い。
- ・観光客から名指しで聞かれるスポットは、イベント会場（子野日公園）、国泰寺跡、御朱印を提供している神社。

【厚岸観光の課題】

- ・今年8月にカキの貝毒が出たときに、そのことを案内所で説明するとカキ目当ての観光客にがっかりされた。他の目玉を見つけることが必要ではないか。
- ・町内の観光地に行けるバス路線がないため、車がない人は行くことができない。中には国泰寺跡や愛冠岬まで歩いていく人もいる。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・レンタサイクルがあれば観光客の行動範囲が広がる。
- ・季節限定でも良いので、ガイドブックに掲載している観光地を巡る循環バスがあると、足が確保できる。
- ・子ども連れ用に子どもが楽しめる場所があるとよい。町内の子どもも楽しめる。厚岸は雪遊びができるほど積雪がないので、屋内遊園的なものがあると良い。
- ・宿泊施設の予約がすぐに埋まってしまうので、町内にウイスキーがあるのに泊まることのできないケースが多い。新しい宿泊施設があると良い。
- ・カキ養殖の様子を見たいというニーズもあるので、カキの展示施設があっても良いのではないか。

対象施設	厚岸漁業協同組合（直売店エーウロコ）
日 時	令和4年9月15日 15:00

【受入体制】

- ・コロナ前の外国人利用は欧米系が多かった。外国語を話す店員はいないので、英語の会話集などを参考に、コミュニケーションをとっていた。
- ・日本人客の質問は、食事場所（特にカキを食べられる場所）に関することが多い。
- ・情報発信は、ホームページ、Facebook、YouTube、従業員のブログ。Twitterは、従業員が個人的に開設したTwitterに「送料無料キャンペーン」を紹介したところ大きな反響があったことから、現在は、従業員のTwitterが情報発信の役割を果たしている。
- ・店内は、身障者用トイレを設置、身障者用駐車場2台、スロープを設置している。
- ・感染症対策として、検温、手指消毒、ビニールカーテンを設置。コロナ後は店内のイートインコーナーは休止している。
- ・店内にフリーWi-Fiを設置している。

【集客状況、コロナの影響】

- ・新型コロナの影響で入店者数が大きく減少。売り上げが対前年比50%を下回る月もあった。今年に入ってから回復傾向にあり、6～7割まで回復してきている。
- ・昨年はネット販売に力を入れて、対前年比200%になる月もあった。お取り寄せ需要が高まったことや、送料無料キャンペーン（補助金活用）などの効果もあった。
- ・客層は40歳代以上が中心で、これはコロナ前と変わらず。団体観光客は、月に2～3件あったのが、今は年に1件ある程度。
- ・地元のお客が増えた印象。物価高の影響で直売店利用が増えたことや、釧路等に行く機会が減り、地元で買い物するようになった影響ではないか。
- ・感染症対策として店内イートインコーナーを休止したので、カキを買ってすぐに食べることができなくなった。その影響で生カキの売上は減っている。

【厚岸観光の課題】

- ・カキを気軽に食べることができる飲食店がない。コンキリエを紹介しても、休日は1時間待ちになる。テイクアウトなどで気軽に食べることのできるスポットが増えてほしい。
- ・地元の人が遊ぶ場所がない。仲間とスケートボードパークを作っている。こうした対策を行わないと、若者離れを止めることができない。
- ・厚岸町や観光協会などがもっと情報発信を行ったほうが良い。8月にカキの出荷を停止したことを知らないで直売店を訪れる観光客がいた。SNSなどをもっと活用すべき。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・「厚岸」の名前を広めることが必要。SNSなど積極的な活用をしてほしい。
- ・お客様が待たなくてもカキなどを楽しめる飲食店が必要。
- ・厚岸の特産品であるカキを学び、生態を知ることができる施設があっても面白い。厚岸のカキには3種類あること、見分け方、育て方など学ぶと面白いのではないかな。
- ・「〇〇に行くために厚岸に泊まろう！」と思える施設が必要なのではないかな。

対象施設	森高牧場
日 時	令和4年9月29日 13:00

【受入体制】

- ・コロナ前はインバウンド客の利用があったが、日本語でチャレンジしてくる方が多かった。ポケトークの導入も検討していたが、コロナになって止まっている。
- ・ホームページやSNSは開設していない。
- ・滞在時間の短い店なので、トイレ等のバリアフリー対応はしていない。木製スロープを付ける検討はしている。
- ・感染症対策は、手指消毒、換気、ビニールカーテンを設置。店内の椅子は1／3に減らした。
- ・駐車場は普通車12台、身障者用1台。工場に来る大型車は別経路になるように設計している。
- ・店内にWi-Fiはない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・売上や客数はそれほど変化ない。
- ・客層の変化としては、高級車に乗るようなお金持ちとファミリー層が減ったように感じる。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸町が北海道など各機関ときちんと連携を取って観光振興を進めることが必要。バラバラでは意味がない。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・お試し移住などを進めて厚岸町に新しい人が入ってくるようにして欲しい。人が来ると町が変わり、町が透明になる。町のシステムが透明になることで、誰かが得をするという状況がなくなる。
- ・子ども達の教育も変えていく必要がある。今のままでは教育が負債になっている。教育を町の資産にしていくことが必要。教える教育から体験する教育に変えていく。例えば、豆腐工場を見学すると、ある子どもは「原料の大豆はどうやって作っているのか」という興味を持ち、ある子どもは「にがりを入れるとなぜ固まるのか」という興味を持つ。そこから理科の勉強に興味を持つようになる。そうした教育に取り組んで欲しい。

対象施設	厚岸海産
日 時	令和4年9月16日 15:00

【受入体制】

- ・コロナ前は東アジア系の観光客がレンタカーで訪問してくることがまれにあった。語学対応はなし。
- ・ホームページはなく、T w i t t e r で情報を発信している。
- ・バリアフリー対応の店舗になっていないので、車いすのお客様がトイレ利用するときは、隣接する子野日公園のトイレを使ってもらっている。
- ・感染症対策は、手指消毒、テーブル間のパーテーションを設置。椅子、テーブル、メニューをこまめに消毒している。
- ・駐車場は新設する子野日公園の駐車場を利用。およそ60台。
- ・W i - F i 設備はない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・もともとは、カキとアサリの販売がメインだったが、今は食堂の売上の割合も大きい。
- ・利用客の7割が観光客。子野日公園でイベントがある時は食堂だけで80人/日の利用がある。
- ・利用者数はコロナ前の水準に戻っている。グーグルでの検索数が最近増えてきている。
- ・道内客が8割程度で、釧路に加えて札幌・帯広・北見あたりも多い。道外客は1～2割。コロナ前は道外客の割合がもう少し多かった。
- ・コロナ後は、若い人の利用が増えてきたように感じる。
- ・厚岸町をPRする意味もあり、札幌の百貨店の催事や、旅行情報誌に記事を掲載している。

【厚岸観光の課題】

- ・利用客におすすめを聞かれるが、町民は町内の観光地にあまり行かないのが実態。観光客と認識の違いはあるかもしれない。
- ・漁業と農業の町であるが、ほとんどの観光客は海産物が目当て。
- ・漁船に乗って厚岸湖に出るなどのアクティビティがあっても良いのではないかな。
- ・自動車専用道が厚岸まで延伸すると、人の往来は確実に増える。その時、今のままでいいのか。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・最近のカキの数が少なく値段が高い。8月には貝毒も出た。こうした情報をもっとタイムリーに発信する必要がある。最近ではI n s t a g r a mの利用者が多いので、公式のインスタグラムを開設して、タイムリーな情報発信が必要ではないか。
- ・観光振興策をあれもこれもやるのではなく、できることから着実に始める方がよい。
- ・店で厚岸ウイスキーを提供しているが、車の人が多いので難しい。町民が気軽に購入できる価格になってほしい。

対象施設	桜亭
日 時	令和4年9月29日 16:00

【受入体制】

- ・インバウンド客の利用はほとんどない。
- ・バリアフリー対策は行っていない。
- ・感染症対策は、手指消毒、ビニールカーテン、座席間のパーテーションを設置している。
- ・駐車場は20台。
- ・店内にWi-Fiはない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナで地元客の宴会需要がなくなった影響は大きい。多い時は月に700～1,000人の利用があったが、今は10～20人程度。
- ・観光客の利用者数は少ない。ランチが中心。コロナ後もそれほど変わらない。

【厚岸観光の課題】

- ・ここ数年カキの水揚量が減っており、店の仕入れを確保するのが大変な状態。生産数が少ない状態なので、牡蠣まつりをやらなくても良かったのでは。
- ・飲食店は家族経営の店がほとんどなので、イベント等を実施しようとしても協力できるところが少ない。
- ・ここ数年はサンマ漁も不漁。漁を終えてから飲みに出る漁師が減った。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・人口がどんどん減り、車の通行量も少なくなっている。観光によりにぎやかになることを期待している。

対象施設	馬場商店
日 時	令和4年9月29日 15:00

【受入体制】

- ・インバウンド客は年に数組。メニューの指差しや片言の日本語、スマホ翻訳機能を使うと、ほとんど困ることはない。
- ・SNSでFacebookとInstagramを開設しているが、あまり更新していない。
- ・バリアフリー対応は行っていない。
- ・感染症対策は、手指消毒、換気、パーティションを設置。席数を減らして間隔を確保している。
- ・駐車場は普通車で20台。
- ・Wi-Fiはない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナで利用客は減ったが、今は7割程度まで戻っている。
- ・カキを食べにくる客が増えてきた。道外客は2割くらいで、若い人の割合が増えてきた。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸には子どもが遊べる施設がない。
- ・目玉になる観光資源がない。カキを食べるだけ。
- ・友人が遊びに来て、コンキリエに連れていく。お土産が充実しているので。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・子どもが遊べる施設が欲しい。公園はあるが手入れがきちんとされていない。
- ・浜中町はルパンで宣伝している。厚岸にも何かないか。

対象施設	氏家
日 時	令和4年9月16日 14:00

【受入体制】

- ・インバウンド客は、東アジアからの観光客の利用が少しあった。語学対応はない。
- ・バリアフリー対応、Wi-Fiはなし。
- ・駐車場は厚岸駅の駐車場を利用。
- ・感染症対策は、手指消毒、換気を実施。

【集客状況、コロナの影響】

- ・現在は「かきめし」のテイクアウト販売のみの営業。
- ・コロナで観光客が激減し売上が大幅減。一番ひどいときは1/10になった。現在は75%程度まで回復している。
- ・道内客はそれほど増えずに、道外客が増えているように感じる。50歳以上の中高年の利用が多い。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸にはカキしか魅力がない。もう少し、お客様に魅力のある資源が欲しい。
- ・カキやウイスキーなど男性目線の資源が多いので、女性や子どもが楽しめるものが欲しい。ソフトクリームなど乳製品も美味しい。
- ・人口減少が激しい。子育て支援などにも力を入れないと、人口減少が止まらない。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・観光を振興することで、町民が働く場所が増えてくれたらうれしい。
- ・若い人向けの飲食店が増えたり、名物が増えたりすると、若い人にも人気が出るのではないかな。

対象施設	一福
日 時	令和4年9月28日 15:30

【受入体制】

- ・コロナ前はインバウンド客の利用もあった。メニューの指差しやスマホの翻訳機能で対応。
- ・情報発信は特に実施していない。
- ・バリアフリー対応はないが、車いす客は利用している。
- ・感染症対策は、手指消毒、検温、換気機能付きエアコン、空気清浄機、テーブルの消毒で対応。
- ・駐車場は普通車5台。
- ・Wi-Fi設備はない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナ前と比べて客数が大きく変化していないが、ゴールデンウィークなどは減少している。
- ・利用客は観光客が半分ぐらい。年配者が多い印象。コロナ前と大きな変化はない。
- ・利用客におすすめを聞かれると、愛冠岬やコンキリエをお勧めしている。高齢者には国泰寺跡を紹介している。

【厚岸観光の課題】

- ・道の駅ができたことで、厚岸に立ち寄る観光客が増えたのではないかな。
- ・バスなど公共交通機関が不便で、岬など観光地に立ち寄れない。
- ・町内の飲食店が減っており、食べる所がない。
- ・観光客は駅を目指してくることが多いが、厚岸駅の中には売店も案内所もなく寂しい。
- ・町民が町内の観光地に行くことは少なく、親戚が帰省しても自宅でBBQなどを楽しむ。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・子どもが遊べる場所が欲しいという意見は聞く。
- ・今後は、温泉施設もあるとよい。
- ・厚岸の魅力はカキやアサリの海産物に加えて、国定公園など自然環境もある。
- ・若い人が遊ぶ施設もない。釧路の映画館やカラオケに行っている。

対象施設	スナック舞
日 時	令和4年9月15日 17:30

【受入体制】

- ・外国人客はほとんど来ない。
- ・ホームページ、バリアフリー対応、W i - F i はない。
- ・感染症対策は、手指消毒とパーテーション。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナ前は地元客が取引先を連れて飲みに来ることもあったが、今はほとんどない。従業員を何人か使っていたが、今はママが一人で接客している。
- ・タクシーが20時に終わる影響は大きい。徒歩圏内の町民しか飲みに来られない。ほかの店では、従業員の車で送っているところもあるようだが、事故のリスクを考えるとできない。
- ・開店を18時にして、20時に飲み終わるお客に対応している。そうしたお客は、店に飲みに来た時点で帰りのタクシーを予約している。

【厚岸観光の課題】

- ・ホテルや飲食店も少ない。地元の人が子ども連れで食べに行くお店もない。
- ・若い人が商売を始めようと思う町になればよいが、町内は店舗兼住宅が多いので借りられる物件が少ない。火を使う飲食店は、火事等のリスクを考えると貸さない人が多い。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・観光客が増えて、厚岸がにぎやかになればよい。表通りの明かりが消えて寂しいと言われる。
- ・観光の取組が、過疎化を止める一助になることを望んでいる。

対象施設	スナック暖手巢
日 時	令和4年9月15日 18:15

【受入体制】

- ・コロナ前も外国人客は来ていなかった。
- ・ホームページなし。
- ・店の入口はスロープになっている。
- ・感染症対策は、手指消毒とパーテーション。トイレの手洗い設備改良（自動で水が出る）は、町の補助金で実施した。
- ・店内はW i - F i あり。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナの影響で集客は大きく減少した。元の状況に戻るとも思えない。
- ・出張自体が減り、接待でスナックを使うことが減った。

【厚岸観光の課題】

- ・タクシーの営業が20時までになったことは、スナックへの影響が大きい。お客の送迎をしている店にお客が流れている。
- ・スナックだけでなく、商店街のすべての業種で店舗数が減っている。どの店も後継者が作れない。空き店舗があっても、簡単に借りることができない。
- ・観光客も通過型が多く宿泊しない。町内に宿泊施設が少ないこともあり、釧路に泊まる客が多い。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・厚岸を訪れる出張客が回復し、厚岸町内に宿泊施設が増えたら、自分たちの店にもお客が増える。そうなることを期待したい。

対象施設	ホテル五味
日 時	令和4年9月16日 10:00

【受入体制】

- ・フロント（支配人）は英語で対応可能。ただし、インバウンドはほとんど来ない。まれに香港からの宿泊がある程度。
- ・情報発信は、ホームページ、Instagram、Facebook、Twitter。Instagramをベースにしている。
- ・ホテル内は段差の少ない設計にしているが、ユニットバスの入口に段差がある。玄関のスロープや洋式トイレへの改修は、バリアフリー補助金を活用している。
- ・感染対策は、手指消毒、換気、パーティションの設置。レストランは、席数を半減して距離を確保している。
- ・駐車場は、普通車で20台ほど。
- ・館内のWi-Fiは、洋室は部屋ごとに設置し、木造の和室はフロアごとに設置している。洋室の下りスピードは50MB程度を確保。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナで緊急事態が出たときは、宿泊客はほぼ0になった。今は戻ってきている。
- ・コロナ後は関西方面からの増加が目立つ。中部圏や九州からの宿泊客も増えている。釧路空港に就航しているLCC路線の影響と感じている。西日本からの宿泊客が増えているのは、コロナで旅行が出来なかった反動ではないか。
- ・客室数は28部屋。宿泊客は7割以上がビジネス客で、長期間の滞在も多い。
- ・厚岸蒸溜所との関係が深いので、蒸溜所を訪問する業者の利用がある（紹介がある）。その中には外国人もいる。
- ・ホテル五味は、建設から40年が経ち施設が老朽化。特に防音性能に問題があり、現在は小さな子ども連れの宿泊は断っている。

【厚岸蒸溜所について】

- ・今年から宿泊者だけが参加できる蒸溜所見学ツアーを開催している。最大4名まで。大々的に宣伝していないので、ウイスキー愛好家やバー経営者などが参加している。一般客向けのツアーはコンキリエで実施している。
- ・厚岸蒸溜所に関しては、大麦の栽培、道産ミズナラを使った樽づくりの話など、ネタはたくさんある。厚岸に樽を作っている工場もあり、そこに行くと古くなった樽が転がっている。
- ・厚岸町は人口減少が続いており、人を採用する事業所も減っている。そうした中、毎年採用を行っている厚岸蒸溜所は貴重な存在。

【厚岸観光の課題】

- ・観光協会をはじめとする、町としての観光客受入体制が弱い。
- ・外部の観光関係者からは「厚岸にはネタにできる観光資源がたくさんある」と評価されている。海産物や自然環境など。しかし、厚岸はその観光資源の売り出し方を知らない。
- ・水揚げ量が少ないため流通にはのっていないが、自分たちで消費している美味しい魚がある。そうしたものをメニュー化して提供するのもありではないか。
- ・昔、東京の旅行会社の人間と話しているときに、厚岸のカキを提供すると話すと「スーパーで売っているやつでしょ。ダメですよ。」と言われた経験がある。厚岸のカキの良さが全く知られていなかった。東京ではまだ知名度がない。
- ・カキの種類や品質を強調して売り出していない。当たり前のように提供している厚岸のカキが、当たり前ではない価値を持っていることに気が付くべき。
- ・旅行会社の団体旅行の昼食を受け入れていたことがあったが、ホテル周辺には食事が終わった後に時間を消費する場所がない。今は、そうした需要は道の駅が受け入れている。周辺の飲食店も同じような状況ではないか。
- ・道の駅が町内の飲食店などを案内する機能を果たすとよいが、道の駅のレストランと町内の飲食店がライバル関係になってしまうため、難しい部分がある。協力関係がない。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・目的をもって厚岸を訪れる観光客が増えてきた。これからコアな旅行者が増えてくるのではないかな。例えば、ジャパニーズウイスキーの一つの聖地になる可能性がある。受け入れを担う一員として、ツアー内容などブラッシュアップする必要がある。
- ・乳製品も良いので農協がもっと頑張ってもらいたい。浜中町はハーゲンダッツの原材料として上手にPRしているが、厚岸の牛乳も使われているのでは？
- ・観光協会は、町の名誉職ではなく、観光を生業にしている人間で本気で動かさないとダメ。弟子屈町では観光協会の在り方を見直して、活動を活発化している。
- ・ほかの地域でどのような取組で効果を上げているのか、役場担当者が訪問してみるのも良いのではないかな。
- ・ウイスキーツーリズムでは、鹿児島県のマルス津貫蒸溜所（南さつま市）、嘉之助蒸溜所（日置市）が参考になる。

対象施設	シーサイドインホテルあつけし
日 時	令和4年9月16日 11:15

【受入体制】

- ・インバウンド客はほとんどいないが、利用があった場合はスマホの翻訳機能で対応する。
- ・情報発信はホームページ。SNSは開設していない。
- ・入口にスロープはあるが、客室がある2階には階段で登る必要があるため車いすや足の悪い方は利用が難しい。以前、1階の宴会場を客室に作り直して対応した経験はある。
- ・感染症対策としては、手指消毒を実施。食事会場の混雑緩和のために、団体客が来た場合は宴会場で対応する。
- ・駐車場は30台以上駐車可能で、大型車が来た場合は少し離れた駐車場に対応している。
- ・館内にはWi-Fi設備あり。

【集客状況、コロナの影響】

- ・宿泊客はビジネス客の割合としては高い。
- ・コロナ後は60代以上の夫婦利用が増加してきた。
- ・高速道路が釧路方面に延びてきたことで便利になった反面、厚岸に泊まる人が減ったように感じている。
- ・本州客の割合は通常3～4割。今年の7月は本州客の方が多かった。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸10景など風光明媚なところがあるのでうまく活用できるかどうか。
- ・ホテルから厚岸大橋が近いので写真を撮りに行く人が多いが、厚岸大橋越しの夕日など知られていない写真スポットがある。
- ・水産物が厚岸の魅力の一つであるが、だんだんと水揚げが減少してきている。
- ・厚岸町も高齢化が進んでおり、後継者のいない事業者が多い。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・町内の有志グループ「六成会」が、冬の厚岸湖の上でテントサウナを楽しむ動画など、厚岸の楽しみ方を公開している。
- ・ウイスキーの搾りかすを食べさせた黒毛和牛「オータイト」という新しい魅力が出てきている。この牛肉とカキ・ウイスキーを合わせて売り出していくと良いのではないかな。

対象施設	鈴木旅館
日 時	令和4年9月29日 11:00

【受入体制】

- ・コロナ前は、ロシアやフィリピンからのインバウンド客があった。フィリピンは町内の水産加工場にいる実習生の友人。スマホの翻訳機能で対応していた。
- ・ホームページはある。SNSはナシ。
- ・バリアフリー対応は行っていない。
- ・感染症対策は、検温、手指消毒、食堂は席数を減らして全員同じ向きで食べるようにしている。
- ・駐車場は8台確保。身障者は旅館目の前の駐車スペースを利用する。
- ・館内Wi-Fiあり。

【集客状況、コロナの影響】

- ・秋から春にかけては工事関係者の長期利用が多い。今は一人部屋希望なので、部屋がすぐに埋まる。現在は工事関係者で一杯。
- ・今年の夏は道外客が増えてきた。あつけし割の利用も多い。カキ目当てのお客さんが多い。

【厚岸観光の課題】

- ・宿泊客からエーウロコの営業時間が短いという話はある。遊んでから宿に来るので、16時の閉店時間に間に合わない。代わりに購入して送ることもある。
- ・昔は駅前にレンタサイクルがあったように思うが、今はなくなった。観光客の足がないのは課題。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・コンキリエが実施している体験ツアーは好評。特にカヌー。
- ・コロナ前は漁師の販売会が冬に実施されていた。町民も楽しめるイベントだったので、復活して欲しい。

対象施設	遠藤旅館（愛冠ユースホステル）
日 時	令和4年9月30日 9：30

【受入体制】

- ・ユースホステルの利用で個人の外国人客はいた。英語対応は可能。そのほかの言語は、スマホの翻訳機能で対応可能。
- ・ホームページはこれから新しくしたいと考えている。SNSはやっていない。
- ・バリアフリー対応にはなっていない。階段やお風呂に手すりがある程度。
- ・感染症対策は、検温、手指消毒、食堂にビニールカーテンを設置。食堂の利用は1回の人数を減らしている。
- ・駐車場は普通車で40台、バスで6台は駐車可能。
- ・Wi-Fi設備は設置済み。

【集客状況、コロナの影響】

- ・コロナ前は、仕事客と観光客が半々だったが、コロナ後は9割が仕事客になった。冬は観光客がほとんどいなくなるので、仕事客をベースに運営せざるを得ない。
- ・コロナ後は仕事でも1人1部屋なので、仕事客で客室が埋まっている。（仕事客が9割の要因の一つ）今は高速道路工事前の調査や測量がメインなので、東京など遠方からの業者が多く、泊りが多い。工事が始まると、地元業者の担当になるので、宿泊客は増えないかもしれない。
- ・今年は観光客が少し増えた。観光は道外客が多い（コロナ前から同じ傾向）。関西からの観光客も多い。昔からの常連も多い。
- ・宿泊客の楽しみは食事。食材に原価をかけているので収益は厳しいが、満足できる食事を提供するように心がけている。仕事で連泊の人が多いため、メニューが被らないように気を付けている。

【厚岸観光の課題】

- ・高速道路が阿寒まで延びて便利になったが、厚岸に泊まる人が減った。昔は泊まらないうと来られなかった。
- ・日本全国を旅している人の中には、厚岸の海岸線に似た場所は他にもあり、特に珍しいものではないという人もいる。
- ・北大の愛冠自然史博物館は、展示内容がアカデミックすぎて一般客には難しい。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・厚岸観光は通過型がほとんどで、どうやったら宿泊してもらえるのか考えているが、決定的な解決策が見つからない。町内に集客に向けた投資が行われて、通年の集客ができるようになるのが望ましい。
- ・冬期間を乗り切る観光資源があればと考えている。

対象施設	民宿喜多崎
日 時	令和4年9月28日 13:00

【受入体制】

- ・インバウンド客の利用はない。
- ・情報発信はホームページのみ。
- ・バリアフリー対応の施設はない。
- ・感染症対策は、手指消毒、換気、パーティションの設置。
- ・駐車場は普通車6台。
- ・館内W i - F i あり。

【集客状況、コロナの影響】

- ・宿泊客は8割が仕事関係。長期の宿泊が多いので、部屋があまり空いていない。
- ・観光客と仕事の宿泊客は食事が違うので、現在は対応が難しい（コロナ後は1人で対応）。観光のお客様は1～2人の予約は断らざるを得ない。
- ・コロナ後は仕事でも1人部屋にしている。そのため部屋に空きがなくなっている。宿泊人数の割に、掃除の手間がかかる。
- ・コロナ前は観光客も受け入れていた。道内客が多く、ほとんどが60歳以上。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸は観光地が少なく、観光する雰囲気ではないイメージ。宿泊客に見どころを聞かれても、紹介できる場所が少ない。
- ・厚岸町は観光に携わる人が少なく、宿泊施設の人間以外は関心がないのでは。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・観光客に接する仕事以外の人も、観光に意識を持つようになってほしい。

対象施設	民宿あつけし
日 時	令和4年9月29日 14:00

【受入体制】

- ・インバウンド客の利用はほとんどない。
- ・情報発信としてF a c e b o o kをやっていたが、コロナ以降は更新していない。
- ・バリアフリー対応は行っていない。玄関は段差が大きい。
- ・感染症対策は、検温、手指消毒、換気機能付エアコンを導入。道の第三者認証も受けている。
- ・駐車場は30台以上可能。大型車も駐車可能。
- ・館内W i - F i設置済み。

【集客状況、コロナの影響】

- ・宿泊客は仕事関係が8割以上。長期の客になると半年～1年の人もいる。
- ・今は仕事でも1人部屋を希望するケースが多い。
- ・観光客は2割程度で、道外客も多い。観光客は年齢層高め。バイクや自転車の客も増えた。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸独自の特別なものはない。体験観光もカヌーに乗って終わり。そのあとがない。
- ・情報発信が下手。厚岸に何があるか、誰に頼めば良いのかわからない。
- ・町と住民に観光に関する温度差がある。住民はアイデアがあっても資金がない、町にはアイデアがない。官民が一体となって取り組むことが必要。必要なら条例を変えるくらいの気持ちで取り組んで欲しい。
- ・厚岸町は考え方が固い。ふるさと納税のルール解釈など柔軟に対応すると、もっとチャンスがあるのではないか。
- ・厚岸の課題をきちんと洗い出して解決すべき。自分たちが気づいていないもので、観光客に喜ばれるものはある。宿泊客の声だと、波の音や昆布干し風景など。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・最近写真を取りに来る人も多い。野鳥、夕焼けなど。宿泊客が昆布干しの風景が珍しいと言っていた、どこかで体験できないか。
- ・町内のどこでも自由に写真を撮って良いわけではない。立ち入りを制限している場所や、仕事の邪魔になることもある。例えば、町や観光協会が写真撮影をしたい人に帽子を販売し、その帽子をかぶっている人には、町民が写真撮影に配慮した対応をしてくれる、といった取組はできないか。町民が観光客を受け入れる手法を検討し、歓迎することが必要。
- ・NPO法人の団体で観光案内の達人検定を検討している。この認定をタクシー運転手取得して観光タクシーにできないか。タクシーの稼働が少ない時間を調べて、その時間に観光タクシーサービスができないかと考えている。

対象施設	J R 北海道厚岸駅
日 時	令和4年9月29日 10:00

【受入体制】

- ・コロナ前は、中国・韓国・台湾などの利用があった。駅窓口で外国語対応する場合は翻訳機を使う（J R 北海道の全駅に設置）。
- ・厚岸駅独自のホームページやSNSは開設していない。
- ・駅はバリアフリー対応になっておらず、跨線橋を超えるホームの列車利用は課題となっている。ただし、跨線橋を渡る必要があるのは1日に2本のみ。
- ・感染症対策は、手指消毒と換気を実施。待合室は間隔をあけて利用する。
- ・駐車場は普通車10台。大型車だと2台利用可能。
- ・駅のWi-Fi設備あり。

【集客状況、コロナの影響】

- ・J R 花咲線の利用客は地元の高校生と観光客がメイン。コロナによる観光客の減少は大きな影響があった。今はコロナ前の70%程度まで回復している（インバウンドが戻っていない分減少している感じ）。
- ・コロナで密なところに行きたがらない旅が増えた。一人旅が増えている印象はある。
- ・高齢夫婦の利用が増えたように思う。釧路を拠点に、海産物とウイスキー目的が多い模様。
- ・関西からの団体客の中には、別寒辺牛湿原をJ R 車窓から眺めるために「茶内～厚岸」の一駅だけJ R に乗車し、厚岸駅から団体バスに乗車するという利用がある。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸駅を降りる観光客の行先は、ほとんどがコンキリエ。徒歩圏内で行ける観光スポットがほかにはない。窓口でお客様に おすすめ を聞かれても、厚岸駅を降りた後の交通機関が課題となる。国泰寺跡などお勧めしたいが遠い。歩くことが趣味の人でなければ難しい。
- ・厚岸にはカキやウイスキーなど魅力のある素材はある。そのPR方法が課題。
- ・J R 利用を前提とした集客などもあるようだが、厚岸駅に連絡はない。町内各機関の連携を円滑にすることも必要。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・ウイスキーを楽しむ臨時列車の運行など可能性はある。
- ・厚岸は海産物がおいしく、通年でカキを食べることができる。漁業体験ができると面白い。
- ・厚岸の海岸線は他地域ではなかなかない地形、船から見ることはできないか。

対象施設	桜ハイヤー株式会社
日 時	令和4年9月16日 9:00

【受入体制】

- ・コロナの前は外国人観光客の利用が年に数回にあった。窓口で対応するときは、翻訳機を見ながら対応。カタコトでも日本語を話せる人が多い。
- ・感染症対策は、手指消毒、車内換気、パーテーションを設置している。
- ・車いす対応の車両は導入していない。
- ・ホームページやSNSはなし。
- ・ハイヤー事業は、車両4台・ドライバー6人体制で運行。常時稼働している車両は3台。ドライバー不足と高齢化の影響で、営業時間は8:00~20:00となっている。ドライバーの補充は町内の募集だけでは難しいので、釧路からも行っている。

【集客状況、コロナの影響】

- ・春と秋のイベント開催時期になると、観光客が観光タクシー的に利用することがあった（台数が少ないので事前予約が望ましい）。こうした利用はコロナで減少した。今年に入って回復基調にある。
- ・観光客は事前に調べてくるので、「〇〇と〇〇に行ってください」というようなオーダーが多い。行先として多いのは、愛冠岬、子野日公園、原生花園あやめヶ原、国泰寺跡、海岸線のドライブなど。
- ・町民の利用は少し回復してきた。

【厚岸観光の課題】

- ・冬に見る所がない。岬などは行けないので、冬に頼まれても連れていく所がない。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・厚岸の魅力は、景色と食。
- ・観光の目的となる施設が欲しい。温泉など通年で集客できる施設があるとよい。

対象施設	くしろバス株式会社 厚岸営業所
日 時	令和4年9月17日 9:00

【受入体制】

- ・インバウンド客が窓口を訪ねてくることが稀にあるが、バスを利用する外国人客は日本語をある程度理解できることが多く、指差しやジェスチャーで対応可能。
- ・厚岸営業所のホームページやSNSはない。
- ・厚岸～釧路間の路線バスはバリアフリー車両を導入。車椅子で乗降できるスロープも設置している。営業所はバリアフリー対応はなし。
- ・感染症対策として、営業所は手指消毒を実施、バスは手指消毒と換気を実施している。
- ・路線バス車内はWi-Fi設備はない。

【集客状況、コロナの影響】

- ・外国人の利用は、月に1回程度、それも夏のみ。
- ・路線バスを利用する観光客は少ない。釧路からの移動はJRの方が多い。以前は霧多布湿原までの路線があったが、観光客の利用はほとんどなかった。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸に景観の良いところがあるが、路線バスで行ける所はない。タクシーやレンタカーの利用が必要になり、路線バスのみの観光は難しい。
- ・カキを食べられる施設がコンキリエに偏っている（ほかの飲食店が知られていない）。コンキリエ以外の飲食店のPRが必要ではないか。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・カキ目当ての観光客が春と秋のイベントに来るが、これ以外の季節にもイベントを行ってはどうか。
- ・牧草地で景観の良いところがある。農業者の迷惑にならない範囲で、写真映えするスポットを紹介してはどうか。
- ・弟子屈町はYouTubeを使った情報発信に積極的。そういう活動も必要。
- ・北見市では真冬に焼き肉を食べるイベントがある。冬のカキが一番おいしいので、冬にカキを食べるイベントを開催してはどうか。

(2) 有識者調査

町内の次の団体を対象にヒアリング調査を実施。

対象団体：厚岸町、厚岸観光協会、厚岸町商工会、厚岸漁業協同組合、
釧路太田農業協同組合

対象施設	厚岸町
日 時	令和5年1月31日 10:00

- ・調査結果でも要望があるように、魅力あるホテルが欲しいという声はある。国定公園に指定されたが、日帰り客だけでは経済効果が小さい。宿泊客が増えることが経済活性化につながっていく。
- ・かつて宿泊施設進出の話があり、町に対して協力要請があったが、町内事業者を守るために協力を断った経験がある。結局、その事業者は進出してこなかった。
- ・現在は公共事業が多く、厚岸町内に宿泊している作業員も多い。この宿泊者は観光客とカウントしてよいのか。また、旅館等の部屋が作業員の宿泊で埋まっているので、観光客が予約したくても部屋が取れない弊害も出ている。
- ・観光資源は良いものがある。評価は高い。今後、どのように活用していくのが課題。
- ・これまでは1泊のみの旅行が多く、そうすると観光地（宿泊先）には「温泉」があることが重視されていた。その点で厚岸は弱い。今後、周遊型の複数泊の観光が増えてくると、厚岸も選択肢に入る可能性が高くなるのではないかと。厚岸の食と景色は他の観光地に負けていない。
- ・厚岸観光には車が必要な場所が多い。町内にレンタカーを貸し出している事業者はあるが、PRされていない。
- ・厚岸に観光客を呼ぶポイントは、やはりカキ。カキの種類が複数あることや、品質の良さなど伝えていく努力が必要。

対象施設	厚岸観光協会
日 時	令和4年11月14日 13:30

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸町に滞在してもらうための弱点が宿泊施設であることは、観光施設ヒアリング調査で指摘されているとおり。観光目的で宿泊する人は、地元食材を楽しんでくれる人が多いので、飲食店への波及効果が見込める。
- ・厚岸は観光で生計を立てている人が少ないので、観光に力を入れなくても良いという町民感情が出やすいのではないかな。
- ・交通機関や宿泊施設が足りないことは厚岸観光のネックになっている。しかし、これらの業種は、ある程度の客数がないと成り立たない。とは言っても、やはり宿泊施設は必要だろう。
- ・体験観光はまだ限定的な実施。体験した人にSNSで発信してもらいながら、徐々に広めていく段階。
- ・10月に牡蠣まつりを開催したが、3年ぶりの開催ということもあり非常に混雑し、入場を制限せざるを得なかった。駐車場の出入りも困難でクレームが出た。イベントに来た観光客を、いかにして町内の飲食店や商店に引き込むかが課題として残っている。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・厚岸には良い観光資源がある。来訪者アンケートの結果で「また来たい」という意見が多いのは厚岸に魅力がある証拠。これをリピーターに結び付けることが重要。問題は、誰がその資源を利用して観光サービスを提供するのか。
- ・現状は、厚岸蒸溜所のように外部の人間が厚岸に入ってきて魅力アップにつながる取組を行っている。町内の人材だけに頼っていては厳しい。
- ・漁協で取り組んでいる「牡蠣ブランド化」を活かして、カキの種類による違いを伝えることは必要だろう。
- ・町内に宿泊施設や交通機関（タクシー）があれば、飲食店に飲みに出る人も増えて、町民との交流が生まれる。
- ・遊漁船などあれば、海上からの景観、大黒島や小島の風景も楽しむことができる。
- ・町内の飲食店にも参加してもらって、牡蠣まつりを通年で楽しめるような体制になると良い。
- ・こうした様々な取組を重ねることで、相乗効果が生まれて観光客が増えてくれば、宿泊施設の新設にもつながっていく。
- ・海産物の特徴の一つに厚岸港で水揚げされる魚種の多様性がある。多様な魚種が捕れる特徴を活かすことはできないか。
- ・あさり掘りは誰でも楽しめる体験メニュー。受け入れの人数が限られているが、参加してくれた人には楽しんでもらっており常連も多い。体験後は、町内で食事や買い物はしてくれているようだ。

【町民の参加】

- ・厚岸町は、観光客と地元住民との接点が少ない。ボランティアガイドの組織がない。
- ・町民が厚岸観光に関する知識を得て、町外から来た人に厚岸のことを聞かれたときに答えられるようになってほしい。住民が観光に対する意識を持って、SNSなど情報発信や各種活動に参加してくれるようになれば良い。
- ・町内の子どもたちに厚岸のことを知ってもらう「郷土教育」も実施している。

対象施設	厚岸町商工会
日 時	令和4年10月18日 13:00

【宿泊施設の充実】

- ・厚岸観光の課題は、宿泊施設につける。宿泊施設が充実しないと、次のステップに進めない。日帰り観光では、楽しめることが限られてしまう。
- ・標津町で観光ガイドに関する話を聞いたが、ボランティアガイドではなく、有償のガイドが必要ということであった。そこで、旅行会社と交渉し、高額でも観光客に満足してもらえる内容にすべく、ガイドをツアー料金に組み込んだプランを検討していた。そこでコロナが流行し、ツアーの実施が出来なくなった。きちんとしたホテルがないと、こうした高額ツアーに組み込めない。
- ・ホテルは集客力のある大手の方が良い。観光客が安心して泊まることができる。ビジネスホテル系でも構わない。このホテルと清掃などで取引できると、町内の産業にも波及効果が出る。
- ・温泉もあるに越したことはないが、日帰り温泉では街づくりにつながらない。宿泊してもらうことが重要。
- ・人間は欲張りなので、カキを食べる以外にも色々楽しみたいはず。厚岸に泊まると、カキ以外にも色々なことを楽しむことができるようになる。
- ・きちんとしたホテルが出来て、観光でお金が落ちるようにならないと、観光に関する活動を持続することができない。観光は活動を継続することと、事業者に利益を生み出すことが重要。
- ・東京と同じようなホテルは厚岸に求められていない。厚岸らしいサービスを提供するホテル、泊まる人の心を揺さぶるホテルが欲しい。
- ・コンキリエは施設が古く狭く感じる。そろそろ建て替えを検討する時期。そこにホテル併設できないか。

【道東観光の形】

- ・現状では、釧路市を拠点に道東観光している人が多いが、釧路からの移動時間が長くなりもったいない。厚岸に新しい宿泊施設ができると、道東の新たな観光拠点になりうるのでは。
- ・中標津空港が充実すると、新たな道東観光のルートや流通が生まれてくる。
- ・厚岸霧多布昆布森国定公園が指定された時に、環境省の担当者から「国定公園を利用して儲けてください」という話が合った。従来の環境省の考え方からは出てこない言葉。国の考え方も変化してきている。儲けるためには、関連する自治体の合意が必要。
- ・厚岸から根室にバーベキュー列車を走らせたことがある。そうした臨時列車であれば運行可能。
- ・厚岸から根室にかけては、海岸線の風景など魅力があり、可能性が広がる。

対象施設	厚岸漁業協同組合
日 時	令和4年11月14日 10:30

【厚岸観光の課題】

- ・調査結果に出ているように、宿泊や飲食に不便を感じているのは町民も同じ。よそからお客さんを呼ぶには、食べる場所、タクシー、宿泊施設が足りない。漁協に来るお客さんも、釧路に泊まってもらうことが多い。
- ・厚岸港には、他地域の漁船がサンマやイカ漁で入港してくるが、その船員が厚岸に上陸しても、温浴施設・食事場所・タクシーがなく困っている。漁協で車を手配することがある。
- ・現状では、観光PRを行っても受け入れ体制ができておらず、観光客の期待に応えることができない。
- ・昔は商店街がしっかりしており、観光客が来ると商店街等にも波及効果が見込めたが、商店街が衰退している今となっては、なぜ観光振興なのかという疑問はある。
- ・昔から厚岸にいる人は現状を変えようと動かない。変化がない。厚岸蒸溜所など、よそから来た人が変化を与えている。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・観光客ばかりじゃなく、町民や事業者のことも考えて計画を作る必要がある。
- ・観光施設ヒアリングや来訪者調査で指摘されている点を整備すると、町内に活気が出る。
- ・漁協直売店「エーウロコ」は、日帰り客ばかりでも問題はないが、町としては滞在してもらう方が良い。行政が町内の宿泊施設や飲食店への支援を行うなどして、活気や税収を上げることが必要。町内事業者が支払っている税金分だけでも、支援に回してはどうか。
- ・厚岸町には、色々な街を見てアイデアが豊富な人もいる。漁協も商品開発などを一緒にやっている。テレビCMも印象に残る。こういう発想が役場にも欲しい。
- ・松葉町などは車通りが少なく寂しい。車が通らないならそれを逆手にとって、道路で朝市を開催してはどうか。輪島のように。人が増えて賑わいが出るのではないかな。
- ・厚岸には良い観光地はあるが、車がないと行けないのが難点。駅に案内所があって、タクシー、宿泊施設、食事場所など手配してくれる体制があると良い。
- ・温泉施設の設置は、排水処理の関係があるので漁業への影響が懸念される。

【厚岸町のまちづくりについて】

- ・厚岸町として何か取り組まないといけない。来年開催される全国豊かな海づくり大会は、良い機会だったのにもったいない。厚岸町役場として、何をどうしていきたいのか目的が見えない。
- ・これから厚岸を支える若い人の考えを取り入れる必要がある。なぜ彼らは厚岸から離れていくのか。どうすれば厚岸にとどまるのか。やはり働く場所が必要ということであれば、産業の活性化が必要になる。

- ・厚岸町では後継者問題も深刻。漁協では、後継者を見つけるために組合員になる条件などを見直している。一方、商店街を見ていると自分たちの代で終わりだからと何も対策を講じていないようだ。
- ・漁師が残っても、町や生活基盤が残ってくれないと困る。今後の厚岸の医療環境や買い物環境を考えると、釧路移住を考える人が出るのはしょうがない。厚岸町をこれからも住み続けたいと思える町にすることが必要。子どもの医療費無料化、町民のバス乗車無料など、住みやすい町にする方法はある。Uターンで戻ってくる人もいるのではないか。
- ・湖北地区、湖南地区を作り直すのは、現在の状況で難しい。高台に新しい発想の町を作ってはどうか。
- ・音更町の木野地区では、町の中心部に高齢者施設や医療施設があり、町の中で一貫して高齢者の面倒を見てくれる。高齢者は自分の町に住み続けることができ、かつ若い人の雇用の場にもなっている。厚岸町の高台には土地がまだまだあるので、そうした場所を作れないか。
- ・若い人が減るのは雇用の場がないから、高齢者が減るのは福祉や医療が足りていないから。病院や福祉施設は雇用の場になる。共働きが増える中、女性の働く場づくり、働く環境づくりも必要。

対象施設	釧路太田農業協同組合
日 時	令和4年10月18日 10:00

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸には、カキやウイスキーなどの食、国定公園に指定されている景色など、恵まれた資源があるが、観光に上手に活かされていない。子野日公園の桜も、桜の時期に咲くだけでおしまい。町内各地に桜を植えるなどの活動ができるのではないかな。
- ・海岸線には景色の良い場所が多いが、車を止めて見る場所がない。観光客を受け入れるためにやるべき施設整備はまだある。
- ・厚岸町は岩盤が厚く、温泉を掘るには2,000m級のボーリングが必要だという。そこまで深く掘ると、温泉経営は採算が合わないようだ。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・大黒島で釣りやキャンプができればすごい。注目を浴びる。
- ・これからの厚岸観光をどうしていきたいのか、町内の若い人間が話し合うことが必要ではないかな。町内に若い人の意見を吸い上げる場がない。熱い思いを持った人間が3～4人いると、活動が進み地域が変わる。各団体の青年部の年代が、常時集まる場が必要ではないかな。
- ・子どもを遊ばせる場所が3箇所くらいは必要。厚岸蒸溜所の近くに、水辺で遊べる公園なども設置可能ではないかな。
- ・コロナ後は、高齢の夫婦が観光で動いている。経済的な余裕のある人が多いので、1泊数万円する宿も予約が一杯。厚岸でもこうした価格帯の宿ができれば、新しい宿泊施設の可能性があるのではないかな。
- ・漁協の直売所に加えて、早朝から営業する朝市などがあると面白いのではないかな。
- ・観光は、町内の各産業が一体となって取り組むことが重要。一つの産業だけが頑張ってもうまくいかない。
- ・農協では、新しいふるさと納税品として、ジャーキーの開発を行っている。今後は、ハンバーグやアイスクリームなども考えている。

(再掲) 観光施設ヒアリング調査と併せて実施

対象施設	株式会社厚岸味覚ターミナル
日 時	令和4年9月15日 13:30

【受入体制】

- ・観光案内所は英語対応が可能。売店やレストランには翻訳機を設置し対応している。
- ・館内はフリーWi-Fiを完備。
- ・感染症対策は、入口に検温・手指消毒を設置し、館内換気をコントロールしている。
- ・SNSは、Facebook、Instagram、LINE。テレビコマーシャルの外国人ダンサーが人気で、関連グッズも作成している。

【集客状況、コロナの影響】

- ・新型コロナが発生する前（ノロウイルスの頃）から感染症対策には力を入れてきたので、コロナ対策にもスムーズに対応できた。保健所の担当者呼んで、予防対策を受講している。
- ・道の駅の利用客数は、ピーク時の96%まで回復している。団体客は年間3万人から3千人に大きく減少したが、道内客のリピーターでカバーしている。今年5月～7月の売上は、コロナ前を上回る水準になった。
- ・新型コロナの影響で旅行を控えていた反動が出ており、道内客の利用が増え、客単価も上昇していると考えている。
- ・道内のリピーター客を中心に「厚岸ファン」は確実に増えていると感じている。「二度目」「コア」「ディープ」な厚岸体験が必要。
- ・インバウンド客を誘致しておらず、営業活動もしてこなかった。その理由としては、外国人観光客は時間にルーズなため他の利用客に影響が出る（回転率が悪くなる）、コロナや地震など外的要因の影響を受けやすいことがある。

【厚岸観光の課題】

- ・厚岸周辺は2次交通の利便性が悪いので、レンタカーを利用できない外国人観光客（個人）の利用は難しい。今後もインバウンド客（個人）の集客は難しいのではないかな。
- ・厚岸の新しい観光資源となっているウイスキーについては、宿泊施設が少ないことが課題（飲んだら泊まる必要がある）。町内の宿泊事業者は後継者不足もあり新規の投資には消極的。町外事業者を含めた宿泊施設誘致を検討する必要があるのではないかな。道内には、道の駅に外資系ホテルを併設する事例がある。
- ・新しいホテルができると、観光客の動きが変わるのではないかな。キャンプ場や車中泊対応などを含めて、宿泊客受け入れ方法を検討する必要がある。

【これからの厚岸に期待すること】

- ・新型コロナの影響で客層が変わってきた。転換期だと捉えている。これまでは安い価格設定でも団体観光客を受け入れてきたが、今後は、しっかりとした料金設定で地元の食を売っていく方向になる。これから小グループの観光客が動き出す。
- ・JRを途中下車して道の駅を利用するケースもある。道の駅が開催する厚岸蒸溜所見

学ツアーは、J R利用者を考慮した時間設定になっている。

- 厚岸霧多布昆布森国定公園の活用に向けて、自然にやさしい散策路として木道を整備できないか。定期的にフォーラムを開催し保全と活用に向けた意識づけを行うことも必要。活動が続けていくことで環境省の補助事業なども活用できる。別寒辺牛川を眺めることができるテラスを設置してはどうか。
- これまでの道東観光では、知床に泊まった後に、厚岸で昼食をとり、釧路湿原を観光して、釧路泊まるという流れ。これが最近では、知床に泊まった後に根室観光をして厚岸で夕食をとり釧路のホテルに行くようになってきた。
- コロナ後の観光は、バスの定員が減る、客単価が上がる、宿泊と食事の場所が別になる、などの流れが出来てくるのではないかな。
- 厚岸町にお金が落ちる仕組みを考えると、やはり宿泊施設の充実が必要。町内事業者が投資に踏み切れるようなバックアップを町が行う必要がある。無利子融資や後継者確保など、思い切った施策も必要ではないかな。
- 観光事業者への刺激も必要。外部から人を招いて勉強会を開く、新しい取組に向けた協議会を結成する、オートキャンプ場を作るなど。

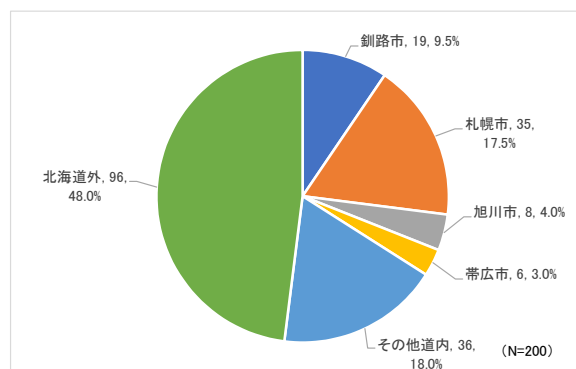
(3) 来訪者調査

調査目的	厚岸町を訪れた来訪者の動態や消費動向の現状を把握、分析することにより、観光を取り巻く状況やニーズに対応した施策を検討する基礎資料とする。
調査	①調査方法 ・観光ポイント調査：調査員が来訪者（町民を除く）に調査票を渡し記入を依頼 ・宿泊施設調査：宿泊施設協力のもと留め置きにより実施 ②調査期間 ・観光ポイント調査：令和4年9月3日（土）、9月17日（土）、9月30日（金） ・宿泊施設調査：令和4年9月3日（土）～9月30日（金）
調査地点と 回収数	観光ポイント（道の駅厚岸グルメパーク）：153票 宿泊施設（ホテル五味、シーサイドインホテルあつけし）：47票　合計200票
注意事項	回答の割合を小数点第1位で四捨五入しているため、内訳の計が100%と一致しない場合がある。

【回答者のプロフィール】

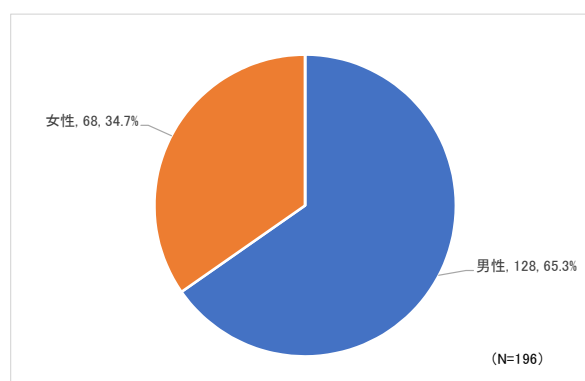
①居住地

- 回答者の居住地は、「北海道外」が96人（48.0%）で最も多く、続いて「札幌市」が35人（17.5%）、釧路市が19人（9.5%）の順になっています。
- 北海道外の具体的な都道府県は、「東京都」が26人で最も多く、「神奈川県」が14人、「静岡県」が12人、「埼玉県」と「愛知県」がそれぞれ8人となっています。



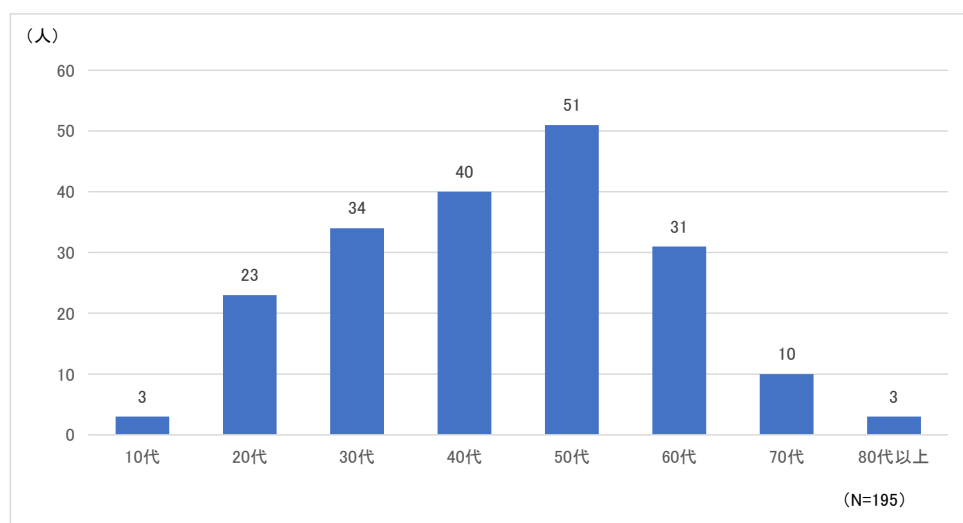
②性別

- 回答者の性別は、男性が128人（65.3%）、女性が68人（34.7%）と、男性が多くなっています。
- 道内客、道外客いずれも同じような割合で「男性」が多くなっています。



③年齢

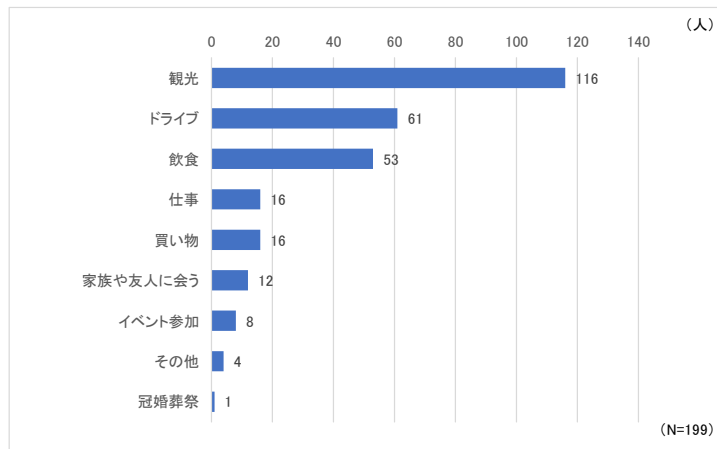
- 回答者の年齢は、「50代」が51人（26.2%）で最も多く、続いて「40代」が40人（20.5%）、「30代」が34人（17.4%）の順に多くなっています。
- 「10代」から「40代」で51.3%、「50代」から上の年代が48.7%となっています。



【今回の厚岸町訪問について】

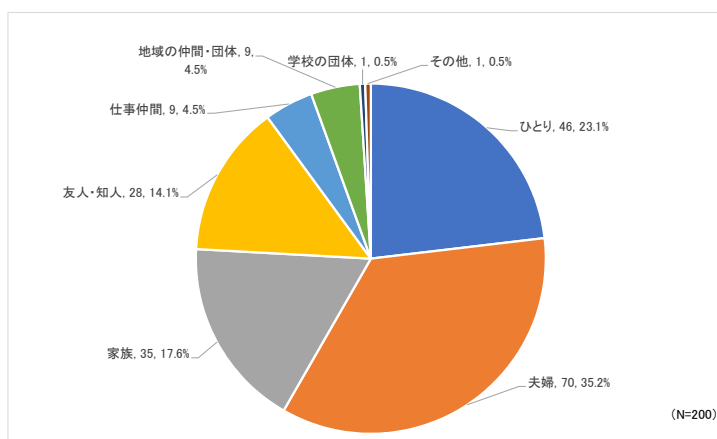
①厚岸町を来訪した目的（複数回答）

- ・ 厚岸町を訪問した理由は、「観光」が116人（58.3%）で最も多く、続いて「ドライブ」が61人（30.7%）、「飲食」が53人（28.6%）の順に多くなっています。
- ・ 居住地別に見ると、道外客では「観光」、道内客では、「ドライブ」「飲食」の割合が高くなっています。



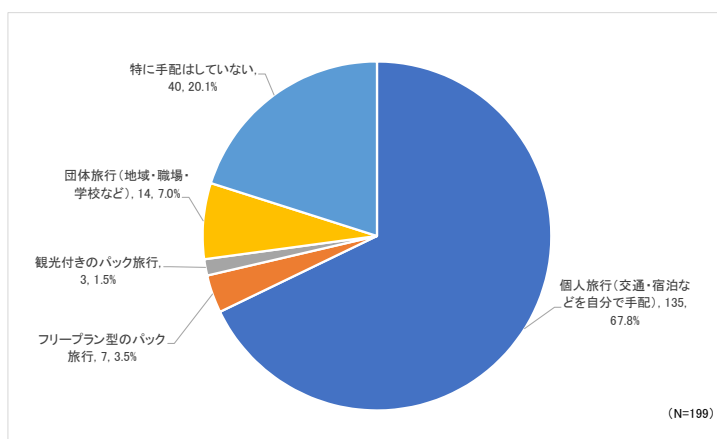
②誰と一緒に来たか

- ・ 厚岸町に誰と一緒に来たかについては、「夫婦」という回答が70人（35.2%）で最も多く、続いて「ひとり」が46人（23.1%）、「家族」が35人（17.6%）の順となっています。
- ・ 「ひとり」と回答した人の特徴としては、「鉄道」利用が多い（鉄道利用客13人のうち10人は「ひとり」）ことがあげられます。



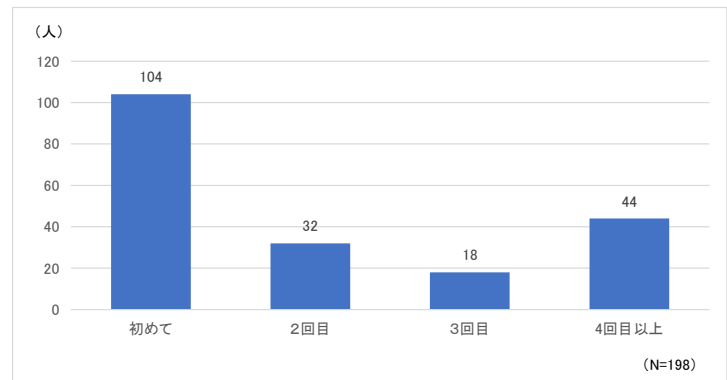
③旅行形態

- ・ 旅行形態は、「個人旅行（交通・宿泊などを自分で手配）」が135人（67.8%）で最も多く、続いて「特に手配はしていない」が40人（20.1%）となっています。



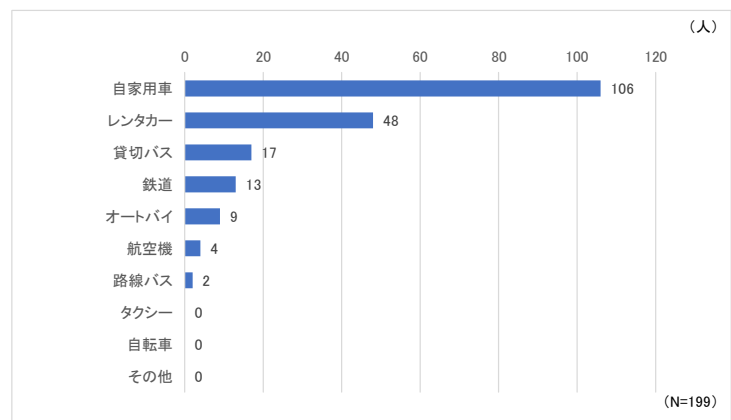
④厚岸町への訪問回数

- 厚岸町への訪問回数は、「初めて」が104人（52.5%）と多くなっています。特に、道外からの来訪者では68.8%が「初めて」と回答しており、全体の回答数を押し上げています。



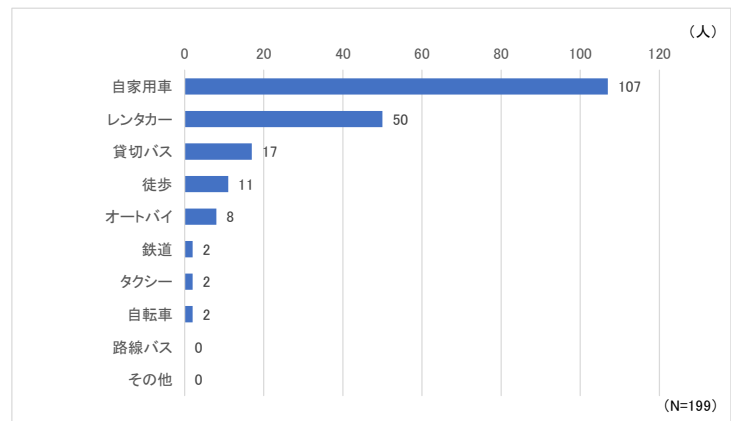
⑤来訪時の交通手段

- 厚岸町への来訪で利用した交通手段は、「自家用車」が106人（53.3%）で最も多く、続いて「レンタカー」が48人（24.1%）となっています。
- 居住地別に見ると、道内客では「自家用車」、道外客では「レンタカー」の利用が多くなっています。



⑥厚岸町内での交通手段

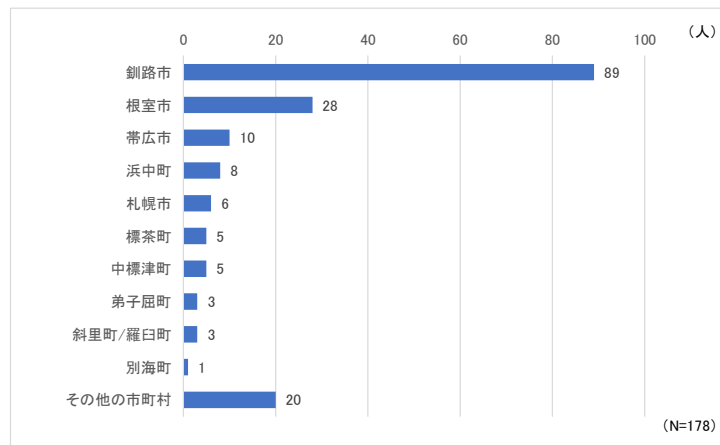
- 厚岸町内での利用交通手段は、「自家用車」が107人（53.8%）で最も多く、続いて「レンタカー」が50人（25.1%）となっています。
- 「徒歩」と回答した11人の内訳を見ると、「ひとり」旅で、厚岸町まで「鉄道」を利用した人が多くなっています。



⑦厚岸町の直前・直後の訪問地域

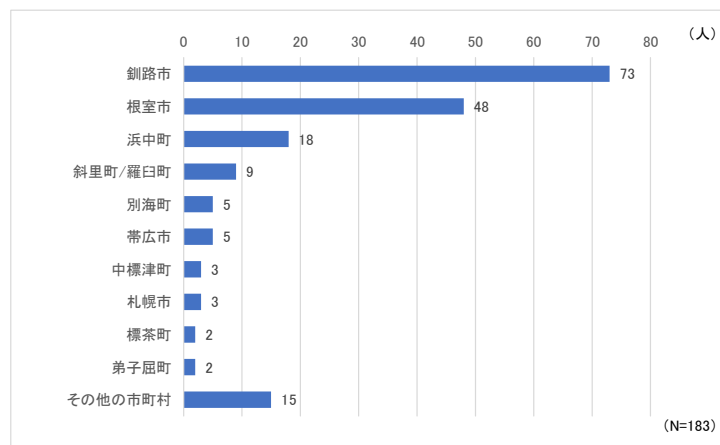
＜厚岸町の直前の訪問地＞

- 厚岸町の直前に立ち寄った訪問地は、「釧路市」が89人（50.0%）で最も多く、続いて「根室市」が28人（15.7%）で多くなっています。



＜厚岸町の直後の訪問地＞

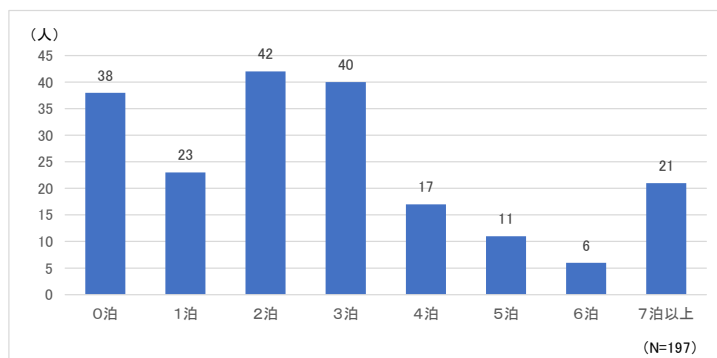
- 厚岸町の直後に立ち寄った（予定を含む）訪問地も、直前と同様に「釧路市」73人（39.9%）、「根室市」48人（26.2%）の順に多くなっています。
- 直前、直後の訪問地を見ると、「釧路市～厚岸町～根室市」と太平洋沿いに移動している来訪者が多いことがわかります。



⑧旅行日程

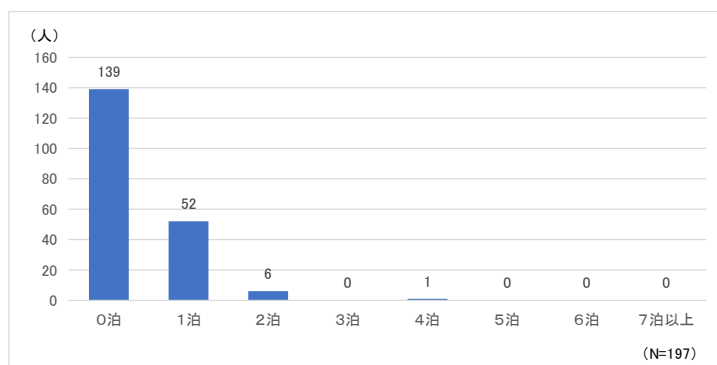
＜旅行全体の宿泊数＞

- ・ 旅行全体の宿泊数は、「2泊」42人（21.2%）、「3泊」40人（20.2%）の順に多くなっています。
- ・ 「7泊以上」の21人（10.6%）はすべて道外客で、キャンピングカー等を利用している人です。



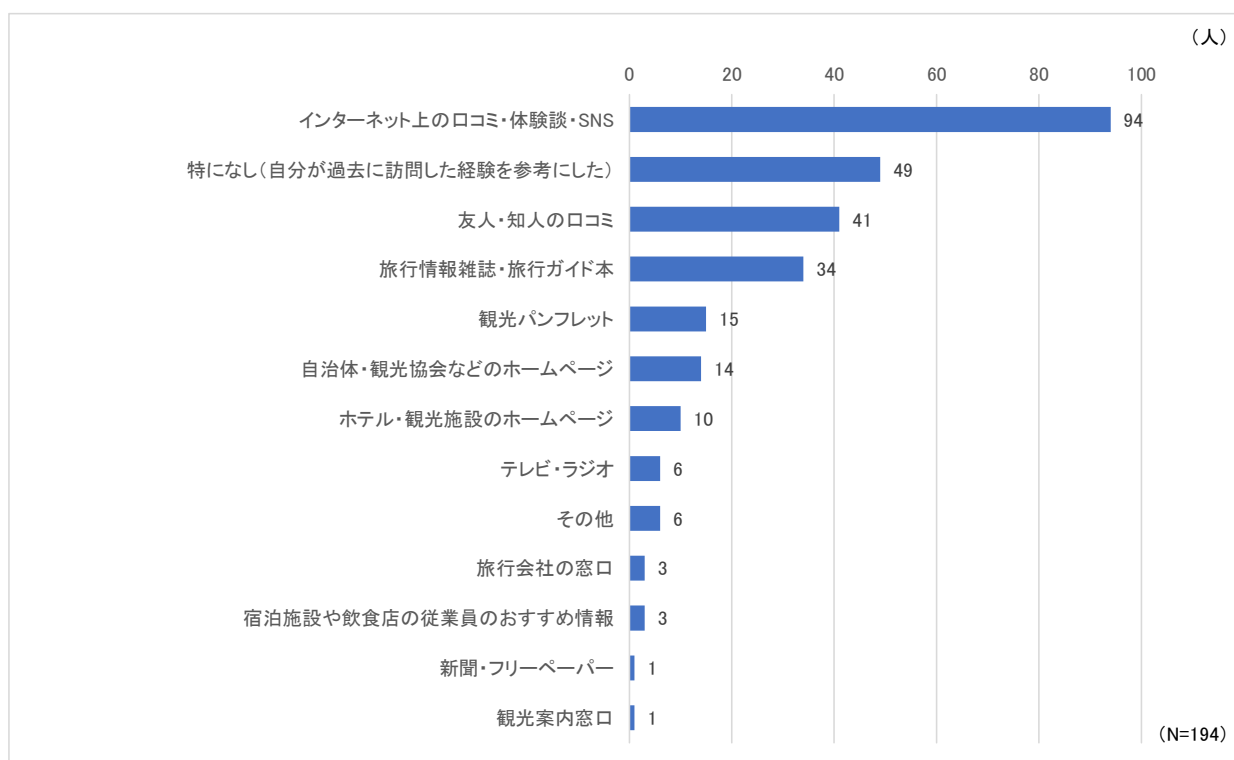
＜そのうち厚岸町内での宿泊数＞

- ・ 厚岸町内での宿泊数は、「0泊」が139人（70.2%）となっており、日帰り客の割合が高くなっています。



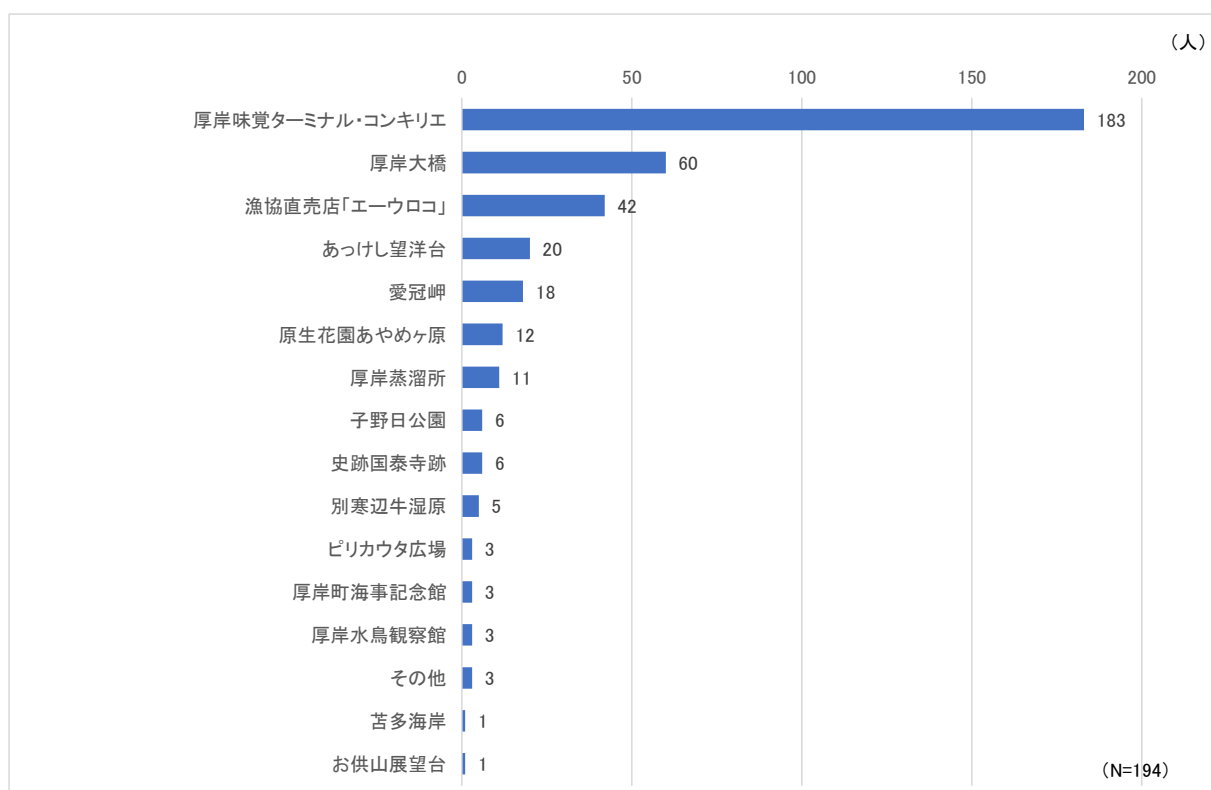
⑨旅行計画中に参考にした情報（複数回答）

- ・ 厚岸旅行を計画中に参考にした情報は、「インターネット上の口コミ・体験談・SNS」が94人（48.5%）で最も多く、続いて「特になし（自分が過去に訪問した経験を参考にした）」が49人（25.3%）、「友人・知人の口コミ」が41人（21.1%）の順に多くなっています。
- ・ 「インターネット上の口コミ・体験談・SNS」は、居住地（道内・道外）、年代、日帰り・宿泊、いずれにおいても最も多い情報収集手段となっています。
- ・ それ以外では、道内客では「特になし（自分が過去に訪問した経験を参考にした）」が35.0%と高く、道外客では「旅行情報雑誌・旅行ガイド本」が30.8%と高くなっています。



⑩今回の訪問で立ち寄った観光スポット（複数回答）

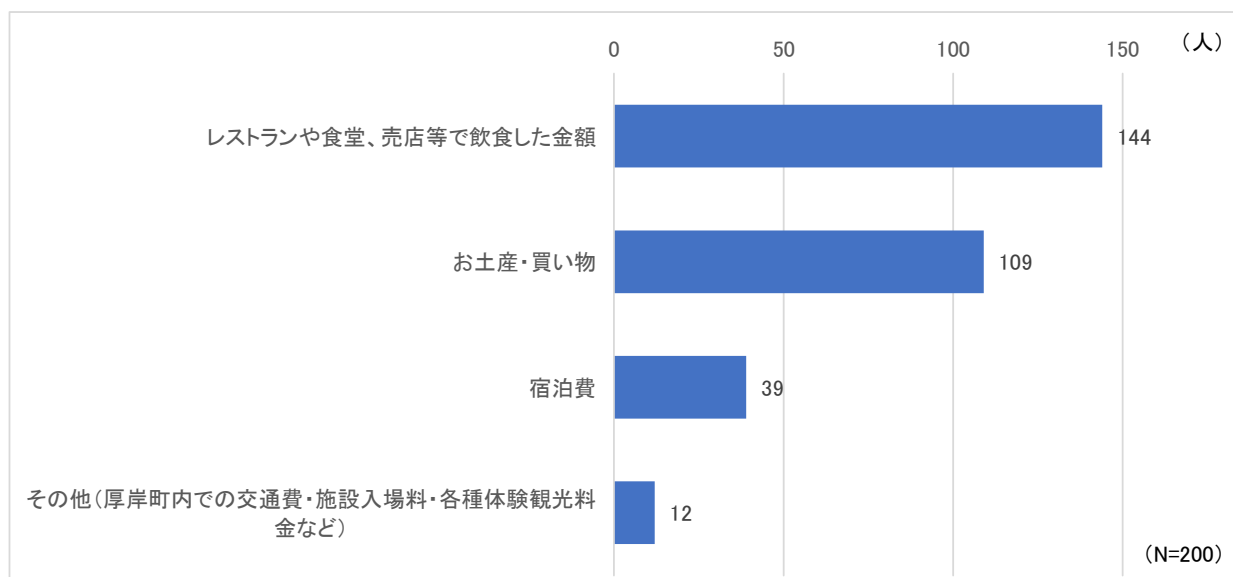
- ・ 今回の厚岸訪問で立ち寄った観光スポットは、「厚岸味覚ターミナル・コンキリエ」が183人（94.3%）と最も多くなっています。これは、「厚岸味覚ターミナル・コンキリエ」が調査地点となっていることが大きく関係しています。
- ・ 「厚岸味覚ターミナル・コンキリエ」以外では、「厚岸大橋」が60人（30.9%）、「漁協直売店「エーウロコ」」が42人（21.6%）の順に多くなっています。
- ・ 居住地別にみると、「漁協直売店「エーウロコ」」については、道内客が27.2%に対して道外客は15.4%となっており、道内客が11.8ポイント高くなっています。
- ・ 年代別に見ると、「愛冠岬」では50代以上が14.4%に対して、40代まで3.0%となっており、50代以上が11.4ポイント高くなっています。
- ・ 宿泊客の方が多く訪問している観光スポットとしては、「厚岸大橋」「愛冠岬」「厚岸蒸溜所」では、宿泊客の方が10ポイント以上高くなっています。



【厚岸町内での消費金額】

①厚岸町内で消費している人数

- 消費項目別に厚岸町内で消費している人数を比較すると、「レストランや食堂、売店等で飲食した金額」が144人（72.0%）で最も多く、続いて「お土産・買い物」が109人（54.5%）となっています。これは、道内客・道外客ともに同じ傾向です。



②厚岸町内の消費金額（一人あたり）

- ・ 厚岸町内の平均消費金額は、全回答者平均で6,913円となっています。
- ・ 道内客では7,140円、道外客では6,659円となっており、道内客の方が若干高くなっています。
- ・ 項目別の消費金額では、「宿泊費」「その他」では道外客の方が高く、「お土産・買い物」では道内客の方が高くなっています。

	全回答者	道内客	道外客
一人当たりの平均消費額	¥6,913 (N=180)	¥7,140 (N=95)	¥6,659 (N=85)

【各項目の平均消費金額（一人あたり）】

	全回答者	道内客	道外客
宿泊費	¥12,460 (N=39)	¥11,302 (N=23)	¥14,125 (N=16)
レストランや食堂、売店等で飲食した金額	¥2,656 (N=144)	¥2,519 (N=77)	¥2,812 (N=67)
お土産・買い物	¥3,128 (N=109)	¥3,712 (N=58)	¥2,463 (N=51)
その他（厚岸町内での交通費・施設入場料・各種体験観光料金など）	¥2,918 (N=12)	¥1,289 (N=7)	¥5,200 (N=5)

※各項目の平均消費金額は、該当する支出を行った回答者の平均金額であり、合計平均消費額と一致しません。（以下同様）

※無回答及び費用「0円」の回答は、母数（N）から除いています。（以下同様）

③来訪者の属性・行動別の消費金額

<年代別に見た消費金額>

- ・年代別に平均消費金額を見ると、40代までは5,848円、50代以上は7,944円で、50代以上の方が2,096円高くなっています。
- ・各項目の消費金額を見ると、50代以上の消費金額がいずれの項目も上回っています。

	全回答者	40代まで	50代以上
一人当たりの平均消費額	¥6,913 (N=180)	¥5,848 (N=88)	¥7,944 (N=87)

※全回答者には、年齢未回答者の回答を含んでいます。(以下同様)

【各項目の平均消費金額（一人当たり）】

	全回答者	40代まで	50代以上
宿泊費	¥12,460 (N=39)	¥11,130 (N=15)	¥13,864 (N=22)
レストランや食堂、売店等で飲食した金額	¥2,656 (N=144)	¥2,578 (N=71)	¥2,628 (N=69)
お土産・買い物	¥3,128 (N=109)	¥2,702 (N=55)	¥3,663 (N=51)
その他（厚岸町内での交通費・施設入場料・各種体験観光料金など）	¥2,918 (N=12)	¥1,780 (N=9)	¥9,000 (N=2)

＜宿泊の有無で見た消費金額＞

- ・ 厚岸町への宿泊有無で消費金額を見ると、日帰り客3,210円に対して、宿泊客16,170円となっており、宿泊客の方が12,960円高くなっています。
- ・ 各項目の消費金額を見ると、宿泊客の消費金額がいずれの項目も上回っています。

	全回答者	日帰り客	宿泊客
一人当たりの平均消費額	¥6,913 (N=180)	¥3,210 (N=127)	¥16,170 (N=51)

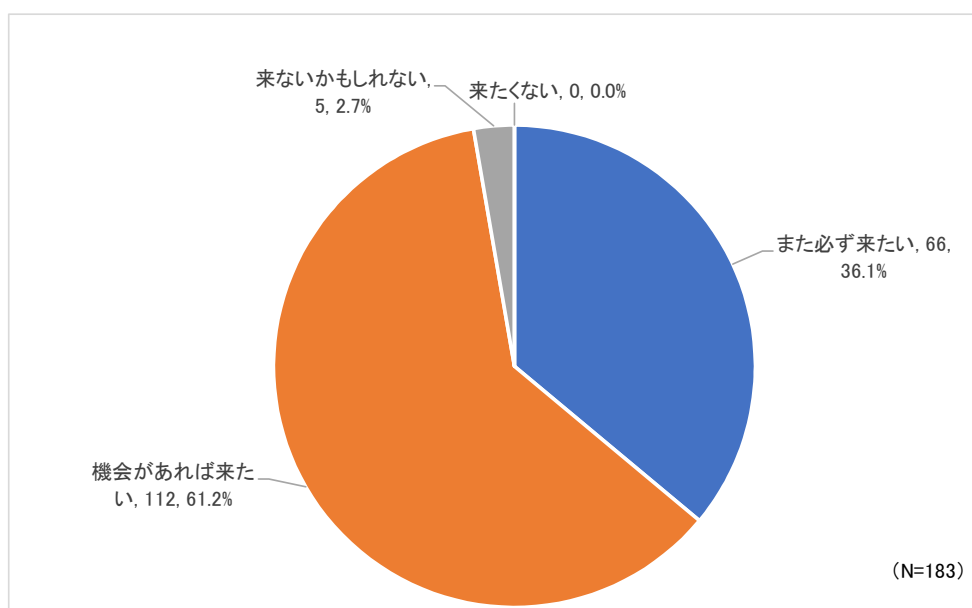
※全回答者には、旅行日程未回答者の回答を含んでいます。(以下同様)

【各項目の平均消費金額（一人当たり）】

	全回答者	日帰り客	宿泊客
宿泊費	¥12,460 (N=39)	－ (N=0)	¥12,460 (N=39)
レストランや食堂、売店等で飲食した金額	¥2,656 (N=144)	¥1,981 (N=110)	¥4,924 (N=33)
お土産・買い物	¥3,128 (N=109)	¥2,531 (N=71)	¥4,086 (N=37)
その他（厚岸町内での交通費・施設入場料・各種体験観光料金など）	¥2,918 (N=12)	¥1,431 (N=7)	¥5,000 (N=5)

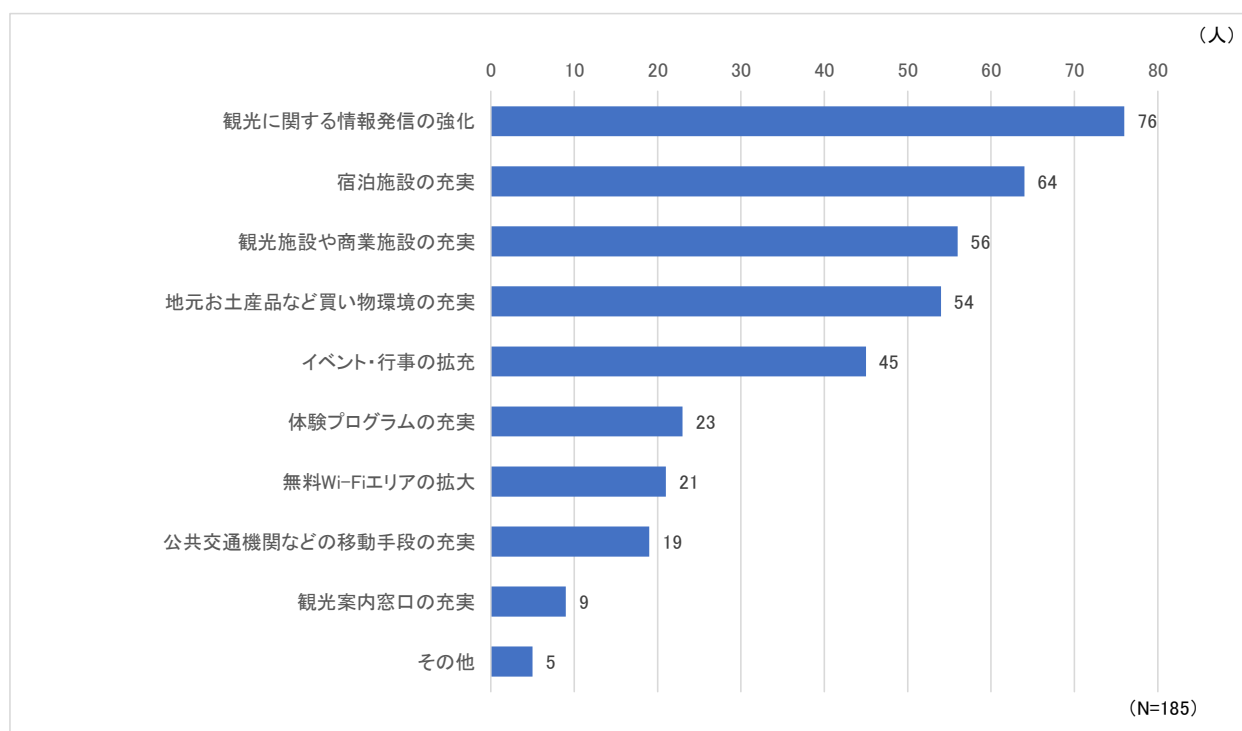
【厚岸町への再来訪意向】

- ・ 厚岸町への観光目的での再来訪意向については、「また必ず来たい」が66人（36.1%）、「機会があれば来たい」が112人（61.2%）となっており、ほとんどの回答者が厚岸町への再来訪に前向きな回答をしています。
- ・ 居住地別にみると、46.5%の道内客が「また必ず来たい」と回答しています。
- ・ 年代別に「また必ず来たい」という回答の割合をみると、40代までが40.2%、50代以上が32.2%となっており、若い年代の方が再来訪に前向きな回答となっています。



【今後の必要な観光振興策（複数回答）】

- ・ 厚岸町で今後必要な観光振興策としては、「観光に関する情報発信の強化」が76人（41.1%）で最も多く、続いて「宿泊施設の充実」が64人（34.6%）、「観光施設や商業施設の充実」が56人（30.3%）の順に多くなっています。
- ・ 「観光に関する情報発信の強化」は、居住地（道内・道外）、年代に関係なく最も多くの回答を集めています。
- ・ 宿泊客の回答では「宿泊施設の充実」が最も多くなっており、宿泊先を探した経験や実際に宿泊した経験から宿泊施設の充実が必要という回答が多くなっています。



【厚岸町の観光について、良かった点、悪かった点、要望等】

良かった点、悪かった点、要望等	居住地	性別	年齢
外国人の踊るCMが面白くて印象的	帯広市	女性	20代
年に数回カキや魚を買いに来る。家族や友人に好評。しかし毎回昼食に困る。情報がなく、道の駅はいつも混んでいる。釧路まで戻って食べることが多い。ランチや宿泊に関する情報をもっと発信してほしい。	上士幌町	女性	40代
厚岸のカキはおいしい	愛知県	男性	60代
カキを食べるのが楽しみ	千葉県	女性	30代
自然が豊か	神奈川県	男性	50代
週末の時間限定でも良いのでカキをさばいている作業を見せるとイベント性が出るのでは	札幌市	男性	50代
コンキリエは施設がきれいでお土産が充実している	小樽市	不明	50代
別寒辺牛湿原に展望台を	東京都	男性	40代
お試し滞在施設があると良い	岡山県	男性	60代
牡蠣が美味しかった	東京都	女性	40代
金のカキは別格でした	埼玉県	男性	50代
きれいで静かなとても良い街。また来たい。	釧路市	女性	不明
総合観光案内所の丁寧な対応が素晴らしい。インプット、アウトプットが大切。	岡山県	女性	60代
釧路に宿泊して厚岸で観光する人が多い気がする。滞在時間が短い。	釧路市	男性	30代
牡蠣が美味しい	札幌市	女性	30代
食事が美味しい。	大空町	女性	70代
牡蠣が美味しかった	神奈川県	女性	60代
食事が美味しかった	釧路市	女性	30代
風景が良い。牡蠣が美味しい。アイスのサイズが良い。	釧路市	女性	60代
景色が良い	群馬県	男性	30代
とても良い街で好き	札幌市	男性	60代
牡蠣もソフトクリームも美味しい。ウイスキーが買えないのが残念。	札幌市	男性	50代
道路がきれい。道の駅の施設が充実していた。	東京都	女性	60代
ダンサーのCM	恵庭市	女性	40代
牡蠣がとても美味しかった	千葉県	女性	40代
気軽にランチを食べることのできる場所の情報が欲しい。いつも同じ店を利用している。	音更町	男性	50代
映えスポットがあると良い	東京都	男性	30代

良かった点、悪かった点、要望等	居住地	性別	年齢
あるお店の接客対応が良くなかったので、一定のホスピタリティがあると良い。	釧路市	男性	50代
コンキリエ以外よくわからない	千歳市	男性	50代
食事が美味しい	釧路市	男性	40代
コンキリエのCMを見てずっと行きたいと思っていた。外国人のパネルで大笑いした。牡蠣が美味しかった。	札幌市	女性	20代
美味しい牡蠣が食べられて良かった	東京都	女性	50代
母の故郷だが、親戚が皆高齢になったので宿泊施設がたくさんあると嬉しい。変わらぬ姿であり続けて欲しい。厚岸ウイスキーがこれから楽しみ。	札幌市	女性	40代
厚岸の景色は最高	東京都	男性	20代
牡蠣が美味しい	札幌市	男性	40代
厚岸の牡蠣を食べたくて来た。札幌から思ったより近く感じたのでまた来たい。	札幌市	女性	40代
宿泊施設が少なく泊まれなくて残念	千葉県	男性	40代
ソーリングで使える宿泊場所（キャンプ場など）が少ない	神奈川県	男性	40代
道の駅が充実していて素晴らしい	札幌市	男性	50代
牡蠣がとても美味しかった	札幌市	男性	30代
家族向けホテルの充実。	兵庫県	女性	60代
道の駅のレストランをもう少し広くしてほしい	札幌市	女性	50代
美味しかった	北見市	男性	20代
何度もコンキリエに通っている。釧路から厚岸にアルバイトで通っていたこともある。とても魅力的な町。	江別市	男性	20代
涼しくて観光しやすい。眺めがよい。運転の荒い人が多い。	札幌市	女性	30代
牡蠣料理が充実していておいしい	旭川市	女性	30代
牡蠣がおいしい。道の駅のトイレがきれい。宿泊施設と道の駅が徒歩だと遠い。	旭川市	男性	20代
温泉付きの宿泊施設があれば宿泊も検討したい（牡蠣の食事つきセット）。今後のそのような施設を作してほしい。	神奈川県	女性	50代
牡蠣がおいしかった	岡山県	女性	40代
道の駅スタンプラリーできた。カキがおいしかった	札幌市	不明	不明
御飯がおいしい。景色が良い。	岡山県	男性	20代
牡蠣を食べるのと購入するために来た。温泉がないのでいつも釧路に泊まっている。温泉施設があれば厚岸に泊まりたい。	札幌市	女性	60代
初めて厚岸に来たがとても良い街。鹿が多い。	旭川市	男性	20代

良かった点、悪かった点、要望等	居住地	性別	年齢
港が近いので新鮮な海の幸を食べることができた。宿泊施設を探したが、あまり良いところなかった。	網走市	女性	20代
牡蠣オンリーなのでその他の名物を開発する。宿泊施設のPR。	神奈川県	男性	70代
牡蠣料理がたくさんあり、美味しい。	釧路市	男性	40代
キーワードは食。どこに行ってもその土地の名物を食べる。その印象が良ければ、次も行こうと思う。	札幌市	男性	70代
コンキリエのダンサーCMが目に残る。	帯広市	女性	30代
友人と23年ぶりの食事でコンキリエを訪問。美味しい食事をありがとうございました。	埼玉県	女性	50代
ウイスキーが簡単に入手できるようになって欲しい。今回は購入できなかった。	東京都	男性	40代
牡蠣があったので寄ってみた。美味しかった。	愛知県	女性	60代
海産物が美味しい。また必ず来たい。	標茶町	男性	30代
今回はレンタカーを利用したが、年を取るにつれて、公共交通機関や乗り合いタクシーなどが欲しくなる。	神奈川県	男性	60代
花咲線の存続に力を入れて欲しい（スローガンではなく財政的なものを含む）	東京都	男性	50代
駅前にタクシーが欲しい	東京都	男性	80代以上
牡蠣が美味しい	千葉県	男性	20代
お昼に弁当などをゆっくり食べられる場所が欲しい、安価に食事できる場所が少ない、牡蠣以外の美味しい食べ物を紹介して欲しい（牡蠣アレルギーで食べられるものが少ない）	釧路市	男性	50代
JRで来てよかった	釧路市	女性	60代
景色が良い、牡蠣が美味しい	函館市	男性	20代
道の駅からの眺めが良い	広島県	女性	30代
明日「かきまつり」があるのを知らなかった。明日来たかった。	帯広市	男性	60代
厚岸名産の牡蠣やウイスキーがどの観光スポットでも食べたり購入できると良い。宿泊施設の実績がないので釧路に宿泊した。牡蠣やウイスキーを堪能できるところがあれば泊まってみたい。	千葉県	女性	50代
温泉や子どもの遊べる大きな施設が欲しい	釧路市	女性	30代
牡蠣を手軽に食べることができて良かった。	埼玉県	男性	10代
厚岸の魅力はやはり海産物、食の充実	釧路市	男性	50代
コンキリエのダンサーが誰なのか気になる	釧路市	男性	20代
牡蠣が美味しかった。	東京都	男性	60代

良かった点、悪かった点、要望等	居住地	性別	年齢
道の駅には想像していたよりも店が多く、立ち寄り地点、休憩・観光に良い。海岸性沿いの景色が楽しみ。	神奈川県	男性	30代
釧路から気軽に来ることができる	釧路市	男性	50代
今度はゆっくり来たい	神奈川県	女性	40代
仕事での訪問だが時間をつぶす場所がなく困る。コンキリエは階段が多く、スーツケースを抱えて階段を上るのが大変。カフェなど時間をつぶせる場所が増えたら嬉しい。	札幌市	女性	50代
牡蠣が楽しみ	大阪府	女性	40代
氏家待合所のかきめしを食べたがったが花咲線の時間と合わずに食べられなかった。列車の時間に合わせてもらえると嬉しい。コンキリエの炭焼きは良かった。牡蠣料理食べられる店の一覧や、おすすめメニューがSNSにあると良い。	音更町	女性	50代
観光土産品店が見当たらない。雨天の日は歩道も水につかっている。	愛知県	男性	70代
食べたことのない新鮮な牡蠣づくしが美味しかった。	札幌市	男性	60代
観光施設への道案内が不足している	愛知県	男性	60代
街並みがきれい	天塩町	不明	不明
厚岸の牡蠣は最高。SNSで発信した。厚岸をもっとお勧めしたい。	江別市	男性	50代
牡蠣をはじめ食べ物が美味しい。自然が素晴らしい。夏でも涼しい。ウイスキーが有名になってきた。花咲線の景色が素晴らしいのに知られていないのが残念。	東京都	男性	50代
道の駅がきれいで充実していた	旭川市	男性	40代
牡蠣が美味しかった	旭川市	男性	60代
自然体験をやってみたい	長崎県	女性	50代
道の駅以外のスポットがあると良い	旭川市	男性	40代
シーサイドインあつけしの給仕の女性が大変良かった。こういうホテルがほかにもあれば、観光する人も増えるのではないかな。他には、地元産の食材をどれだけ提供できるかがポイントだと思う。	東京都	女性	40代
牡蠣がとても美味しかった。	静岡県	男性	30代
食事が大変美味しかった。駅前にもう少し活気があり、海を活用したスポーツやイベントがあるとさらに楽しめる。	静岡県	男性	40代
食べ物がおいしかった	静岡県	女性	30代
食事がおいしかった	静岡県	女性	40代

良かった点、悪かった点、要望等	居住地	性別	年齢
厚岸は、海岸線や街並み、樹海など、全道屈指の美しい街だと思う。牡蠣、アサリ、サンマなどグルメも豊富。愛冠岬にはじめていったが素晴らしいロケーションだった。ホテルや道の駅の従業員もてきぱきして感じが良かった。厚岸十景はいいところなので、マップコードを表示してほしい。	札幌市	不明	不明
景色がとても良かった。カキとウイスキーが美味しかった。	札幌市	男性	50代
ウイスキーが好きなので厚岸に来てよかった。宿泊した五味ホテルでは、驚くほどのウイスキーがあり、厚岸も全銘柄あり、たくさん飲むことができた。さらに蒸溜所まで丁寧に説明してもらえた。課題は交通機関。昼間から飲むが、交通機関が少なく徒歩になる。あまり観光できなかった。	埼玉県	男性	30代
関西での厚岸の知名度はそれほど高くない。絶え間ない情報発信が必要。厚岸町と浜中町の協働が有効なのでは？どちらも観光資源が豊富。	奈良県	男性	60代
観光するのに良い立地（湿原、海、山）と美味しい食材やウイスキーがある。しかし、あまり知られていない。少し残念。あと、ホテルがもう少しあれば良い。	札幌市	男性	60代
レンタカーの場合はコンキリエ、J R利用の場合はホテル五味を利用する。カキが好き。コンキリエは非常に良いが、駅からのアクセスが悪い。ホテル五味の夕食の質が落ちているようで残念。釧路までの列車の本数も減っている。	埼玉県	男性	70代
景観、夕日、ウイスキーが良かった。	札幌市	男性	50代

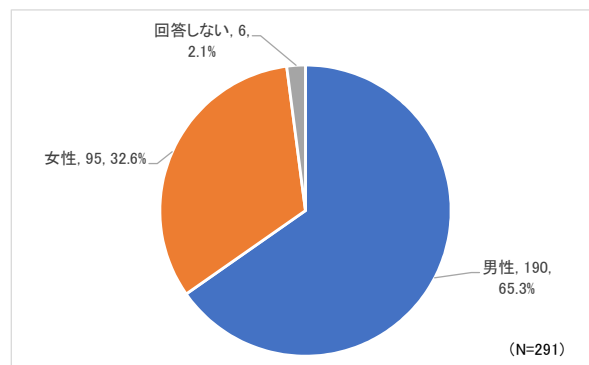
(4) 町民アンケート調査

調査目的	厚岸町民の考える町内の観光資源やイベントに対する評価、厚岸町の観光に関する課題や期待すること等を把握・分析することにより、観光を取り巻く状況やニーズに対応した施策を検討する基礎資料とする
調査	①調査方法 ・町民1,000名を無作為に抽出し、郵送配布・郵送回収により実施 ②調査期間 ・令和4年10月17日（月）～11月15日（火）
回収数	291票（回収率29.1％）
注意事項	回答の割合を小数点第1位で四捨五入しているため、内訳の計が100％と一致しない場合がある

【回答者のプロフィール】

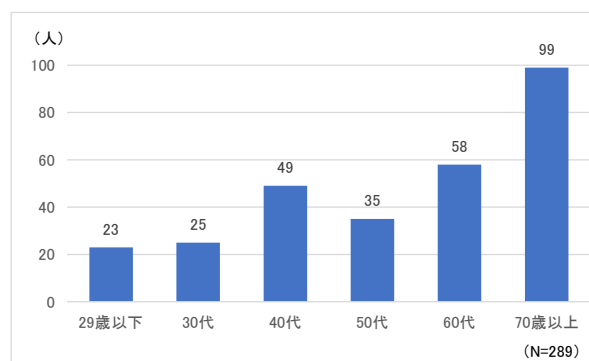
①性別

- 回答者の性別は、「男性」が190人（65.3%）、「女性」が95人（32.6%）と、「男性」の方が多くなっています。



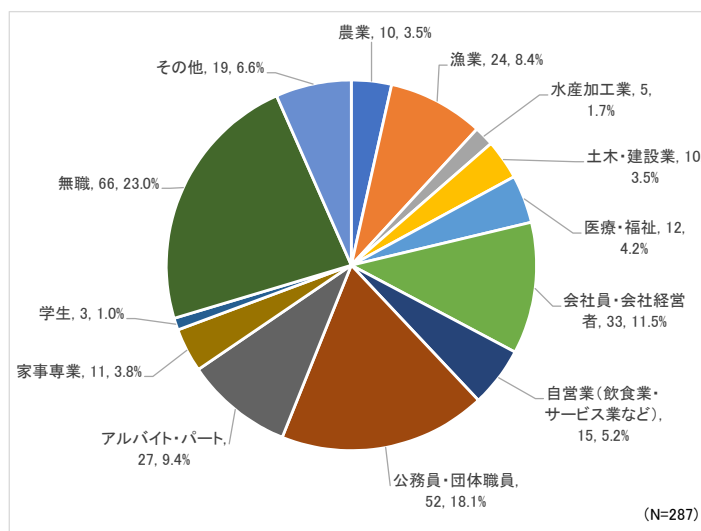
②年齢

- 回答者の年齢は、「70歳以上」が99人（34.3%）で最も多く、続いて「60代」が58人（20.1%）、「40代」が49人（17.0%）の順に多くなっています。
- 「60代」と「70歳以上」を合わせると、157人（54.3%）と過半数を超えています。



③職業

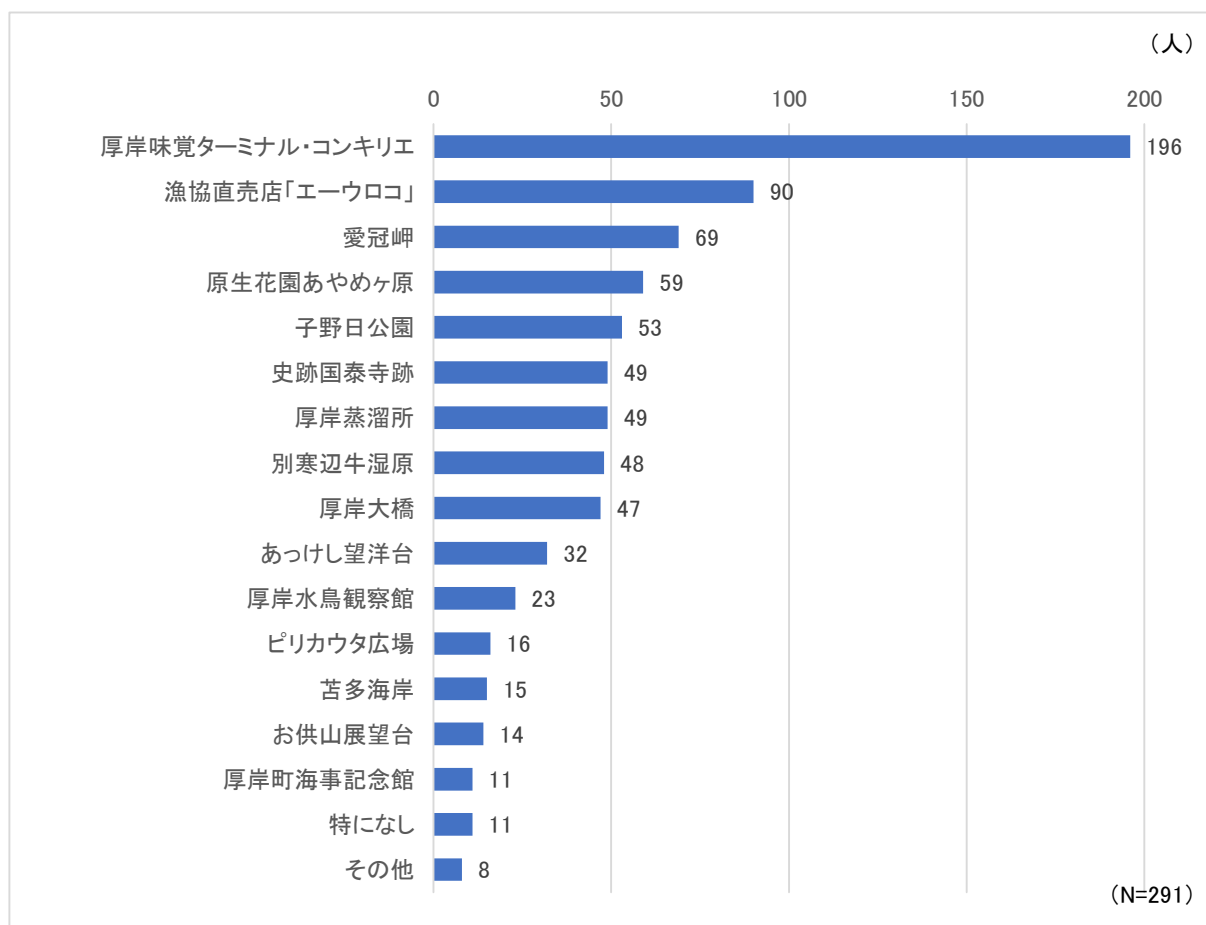
- 回答者の職業は、「無職」が66人（23.0%）で最も多く、続いて「公務員・団体職員」が52人（18.1%）、「会社員・会社経営者」が33人（11.5%）の順に多くなっています。
- 「無職」が最も多くなったのは、回答者の半数以上が60代以上となっているためと考えられます。



【厚岸町の観光資源について】

①観光客におすすめできる観光資源（複数回答）

- ・ 町民として観光客におすすめできる観光資源は、「厚岸味覚ターミナル・コンキリエ」が196人（67.4%）で最も多く、続いて「漁協直売店「エーウロコ」」が90人（30.9%）、「愛冠岬」が69人（23.7%）の順に多くなっています。
- ・ 男女別に見ると、女性の回答で「漁協直売店「エーウロコ」」という回答が10ポイント以上高くなっています。
- ・ 年齢別の50代までと60代以上を比較すると、「厚岸味覚ターミナル・コンキリエ」「漁協直売店「エーウロコ」」「厚岸蒸溜所」では、50代までの回答が10ポイント以上多い回答割合となっています。一方、「愛冠岬」については、60代以上の回答が10ポイント以上高くなっています。



【おすすめする理由】

観光資源	おすすめする理由（主なものを抜粋）
厚岸味覚ターミナル ・コンキリエ	厚岸のことを何も知らずに訪れても町の特徴がわかる（女性・40代）、孫や子ども達が遊びに来たら買い物や食事に行く（女性・70歳以上）、道の駅ランキングで1位を取っている（男性・29歳以下）、厚岸の景色や特産物などを楽しむことができる（男性・30代）
漁協直売店 「エーウロコ」	海産物が豊富に揃っており厚岸という港町を象徴するスポットである（男性・29歳以下）、対面販売・鮮度が良い（男性・70歳以上）、友達に厚岸の美味しいものを送るのに利用している（女性・70歳以上）
愛冠岬	眺望できる太平洋や海岸線の絶景は魅力的（男性・70歳以上）、道内外からお客さんが来てくれている（女性・70歳以上）
原生花園 あやめヶ原	バイカーやキャンパー等の利用が見込める（男性・30代）、自然の中での散歩道にピッタリ（男性・60代）、先端の景色を見て欲しい（男性・60代）
子野日公園	春はさくらまつり・秋はカキまつり（女性・70歳以上）、子野日公園は桜がとてもきれい（女性・60代）
史跡国泰寺跡	厚岸を代表する名勝史跡として相応しい（男性・70歳以上）、町の歴史を知る必要性（女性・60代）、国泰寺跡は国の重要文化財（女性・50代）
厚岸蒸溜所	厚岸蒸溜所は世界レベルのウイスキー（女性・50代）、今まで厚岸になかった新しい企業（女性・50代）
別寒辺牛湿原	絶滅危惧種イトモも生息している素晴らしいフィールド（男性・70歳以上）、全国の鉄道ファンから知られており活用の余地あり（男性・60代）
厚岸大橋	大橋は厚岸のシンボルのようなもの（女性・60代）、厚岸大橋の赤い色と海の色は写真等で映える（女性・29歳以下）

②まだ利用されていない観光資源

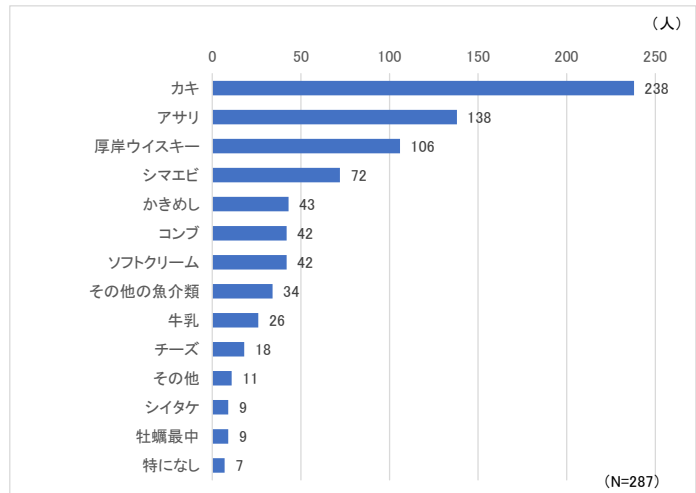
- ・ 厚岸町で利用されていない観光資源としては、海岸線沿いの風景、アッケシソウ、太田地区の開拓の歴史や農産物などに関する回答が多くありました。

③あったらよいと思う観光施設・観光メニュー

- ・ 厚岸町にあったら良いと思う観光施設や観光メニューとしては、温泉、宿泊施設、飲食店、子どもが遊べる施設（子育て世代から多かった）などに関する回答が多くありました。

④観光客におすすめしたいグルメ（複数回答）

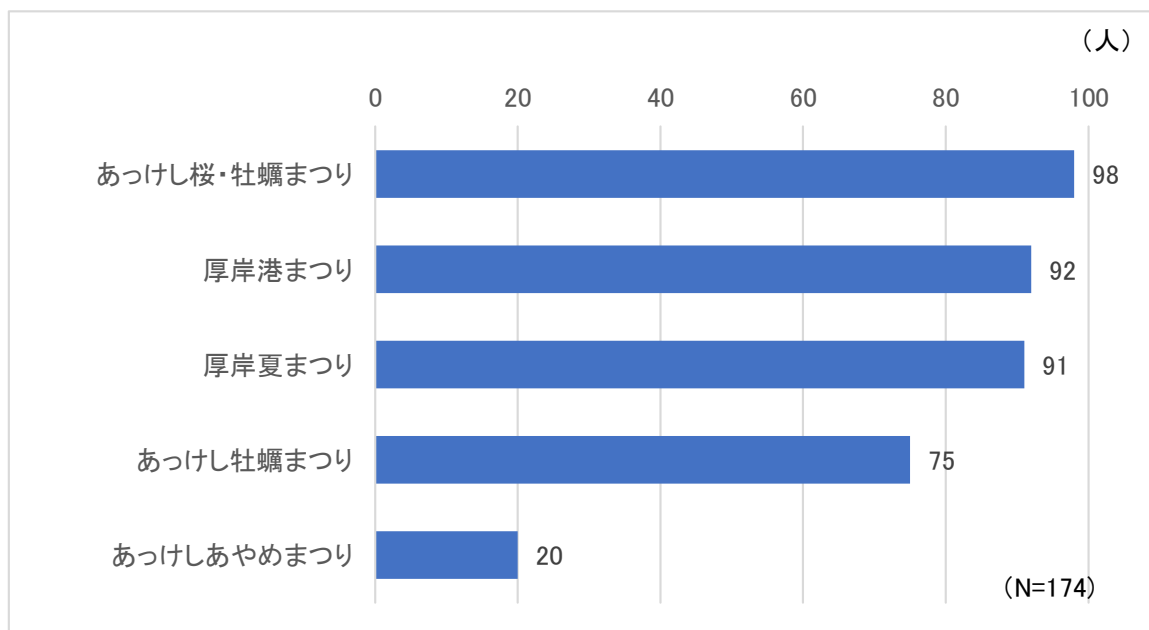
- 観光客におすすめしたい厚岸町のグルメとしては、「カキ」が238人（82.9%）と最も多く、続いて「アサリ」が138人（48.1%）、「厚岸ウイスキー」が106人（36.9%）の順に多くなっています。
- 年齢別の50代までと60代以上を比較すると、「シマエビ」については、60代以上の回答が10ポイント以上高くなっています。



【厚岸町の観光イベントについて】

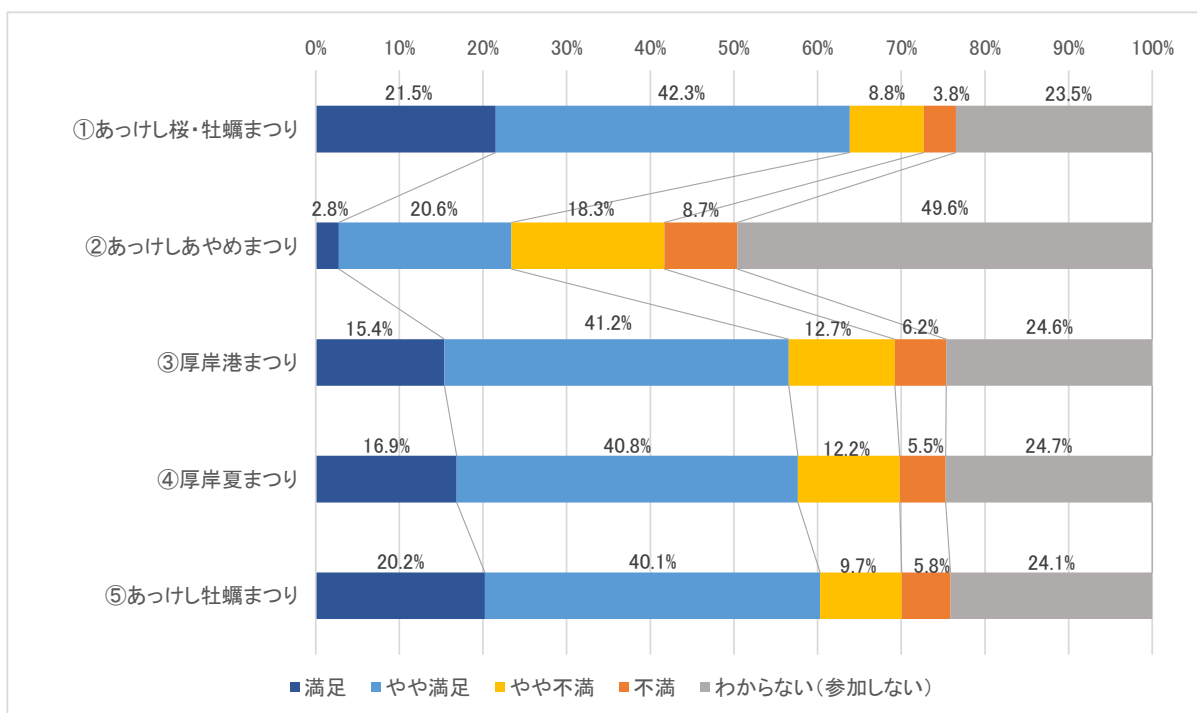
①普段参加しているイベント（複数回答）

- 普段参加しているイベントとしては、「あっけし桜・牡蠣まつり」が98人（56.3%）と最も多く、続いて「厚岸港まつり」が92人（52.9%）、「厚岸夏まつり」が91人（52.3%）の順に多くなっています。
- 年齢別に見ると、いずれも年代でも「あっけし桜・牡蠣まつり」が最も高くなっています。



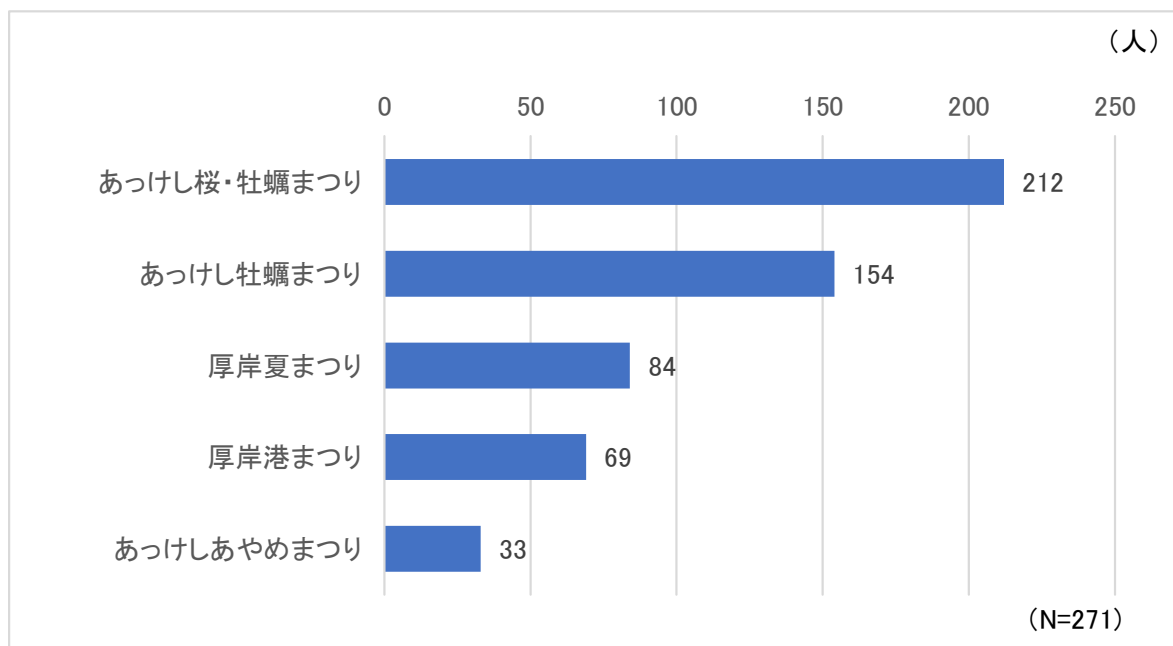
②厚岸町の観光イベントについての満足度

- ・ 厚岸町の観光イベントの満足度を比較すると、「あつけし桜・牡蠣まつり」が「満足」21.5%、「やや満足」42.3%（合わせて63.8%）となっており、最も満足している回答の割合が高くなっています。そのほかでは、「厚岸港まつり」「厚岸夏まつり」「あつけし牡蠣まつり」では、「満足」と「やや満足」を合わせた割合が50%を超えています。
- ・ 「あつけしあやめまつり」については、参加している町民の割合が低いため、満足度の回答についても「わからない（参加しない）」という割合が高くなっています。
- ・ 年齢別の回答を比較すると、いずれもイベントにおいても60代以上の方が満足している割合が高くなっています。



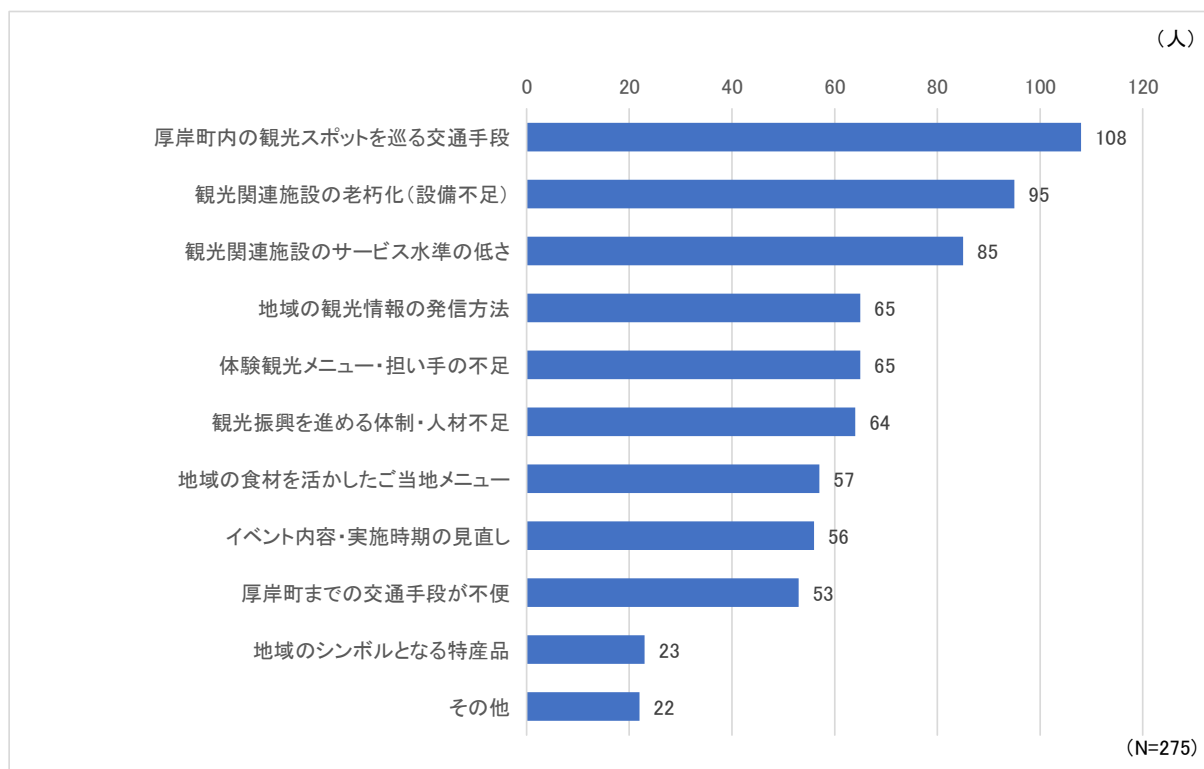
③厚岸町を訪れる観光客にお勧めしたいイベント（複数回答）

- ・ 観光客にお勧めしたいイベントとしては、「あっけし桜・牡蠣まつり」が212人（78.2%）で最も多く、続いて「あっけし牡蠣まつり」が154人（56.8%）で多くなっています。
- ・ 年齢別に見ると、60代以上では「あっけし桜・牡蠣まつり」の回答が10ポイント以上高くなっています。



【厚岸町の観光振興を進めていく上での課題（複数回答）】

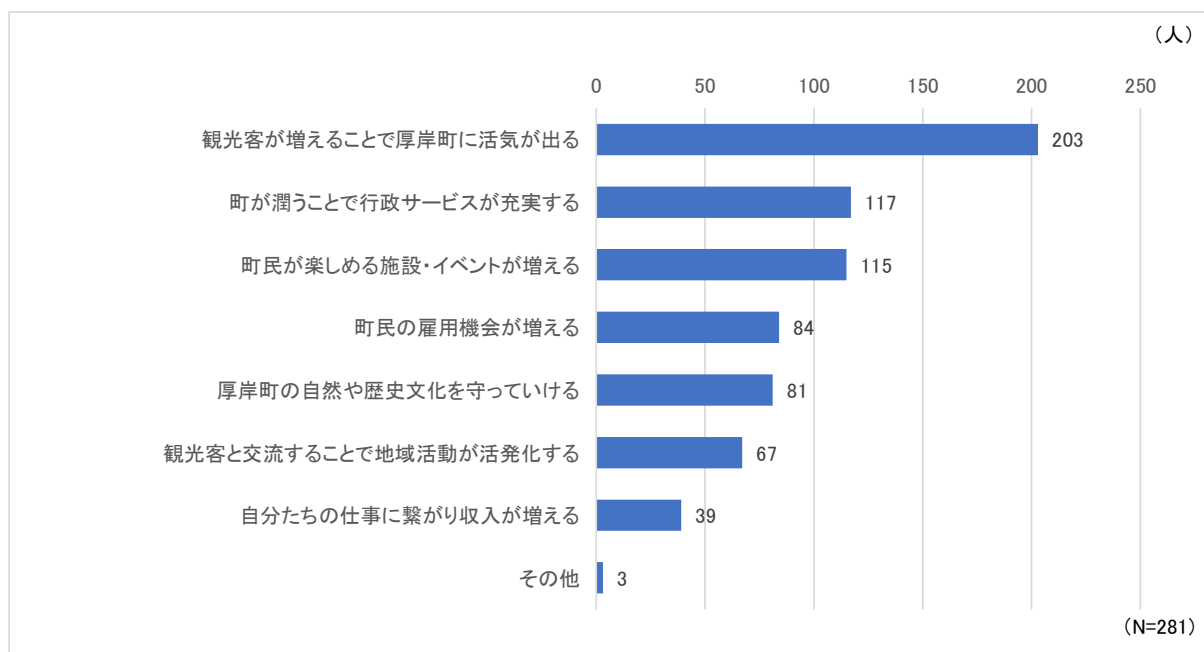
- ・ 観光振興を進めていく上での課題は、「厚岸町内の観光スポットを巡る交通手段」が108人（39.3%）で最も多く、続いて「観光関連施設の老朽化（設備不足）」が95人（34.5%）、「観光関連施設のサービス水準の低さ」が85人（30.9%）の順に多くなっています。
- ・ 年齢別に見ると、50代までは「観光関連施設の老朽化（設備不足）」、60代以上では「厚岸町内の観光スポットを巡る交通手段」が最も多い回答となっています。



【年齢別の比較】	全体		50代まで		60代以上	
厚岸町内の観光スポットを巡る交通手段	108	39.3%	42	32.6%	64	44.4%
観光関連施設の老朽化（設備不足）	95	34.5%	54	41.9%	40	27.8%
観光関連施設のサービス水準の低さ	85	30.9%	34	26.4%	50	34.7%
地域の観光情報の発信方法	65	23.6%	31	24.0%	33	22.9%
体験観光メニュー・担い手の不足	65	23.6%	30	23.3%	35	24.3%
観光振興を進める体制・人材不足	64	23.3%	31	24.0%	33	22.9%
地域の食材を活かしたご当地メニュー	57	20.7%	22	17.1%	34	23.6%
イベント内容・実施時期の見直し	56	20.4%	22	17.1%	32	22.2%
厚岸町までの交通手段が不便	53	19.3%	25	19.4%	27	18.8%
地域のシンボルとなる特産品	23	8.4%	6	4.7%	17	11.8%
その他	22	8.0%	12	9.3%	10	6.9%

【厚岸町が観光振興を進める結果として期待すること（複数回答）】

- ・ 観光振興を進める結果として期待することは、「観光客が増えることで厚岸町に活気が出る」が203人（72.2%）で最も多く、続いて「町が潤うことで行政サービスが充実する」が117人（41.6%）、「町民が楽しめる施設・イベントが増える」が115人（40.9%）で多くなっています。
- ・ 年齢別の50代までと60代以上を比較すると、いずれも「観光客が増えることで厚岸町に活気が出る」が最も多くなっています。
- ・ 50代までの回答では、「町民の雇用機会が増える」と「町民が楽しめる施設・イベントが増える」の回答割合が、60代以上よりも10ポイント以上高くなっています。
- ・ 60代以上の回答では、「観光客と交流することで地域活動が活発化する」と「厚岸町の自然や歴史文化を守っていける」の回答割合が、50代までよりも10ポイント以上高くなっています。



【年齢別の比較】	全体		50代まで		60代以上	
観光客が増えることで厚岸町に活気が出る	203	72.2%	92	71.3%	110	73.3%
町が潤うことで行政サービスが充実する	117	41.6%	54	41.9%	62	41.3%
町民が楽しめる施設・イベントが増える	115	40.9%	62	48.1%	52	34.7%
町民の雇用機会が増える	84	29.9%	47	36.4%	37	24.7%
厚岸町の自然や歴史文化を守っていける	81	28.8%	26	20.2%	55	36.7%
観光客と交流することで地域活動が活発化する	67	23.8%	21	16.3%	46	30.7%
自分たちの仕事に繋がり収入が増える	39	13.9%	19	14.7%	19	12.7%
その他	3	1.1%	1	0.8%	2	1.3%

【まだ利用されていない厚岸町の観光資源】

回答	性別	年齢
冬の厚岸湖チカ釣り	男性	29歳以下
涙岬	男性	70歳以上
アッケシソウはとてもきれいなので、育ててほしい	女性	70歳以上
厚岸湖周辺の開発	男性	70歳以上
正行寺	女性	60代
カキ、アサリ、小島・大黒島	男性	70歳以上
小島・大黒島	男性	60代
末広海岸～琵琶瀬までの海岸線	女性	60代
厚岸大橋と気嵐。冬の厚岸湖をもっと盛り上げたい。	男性	29歳以下
魚のせり、市場など	男性	40代
船から見る厚岸町(小島、大黒島、海岸線、厚岸大橋)	男性	70歳以上
大黒島への遊覧観光船	男性	70歳以上
カキの養生施設(カゴなど)を直接見て、その場で生ガキを食べる	男性	60代
漁業	男性	29歳以下
ネイパル厚岸へ向かう途中の道から本町を眺めた景色でフォトスポットを作る。漁協の協力を得て、あさり島でのあさり堀り体験。農協の協力を得て乳しぼり体験、しいたけつみ体験。	女性	40代
太平洋戦争の末期、厚岸湾に太平洋艦隊が120隻以上集まったと聞いている。床潭の裏山から見る厚岸湾は素晴らしい。	男性	70歳以上
若竹岸壁の釣り	男性	70歳以上
もう少し産業に力をいれてほしい。特に漁業の後継者育成。	男性	70歳以上
小さな動物園	女性	50代
宮園公園のグラウンドを芝にするとスポーツ少年団が呼べる。	男性	30代
厚岸郷土館、太田屯田開拓記念館。町営牧場で放牧している牛、昆布漁、あつけし草など。	男性	70歳以上
東京から来た友人はカモメに感動していた	女性	40代
太田屯田開拓記念館は町民にも知られていないが展示物は素晴らしい。	女性	70歳以上
牡蠣島弁天神社、大黒島&小島、バラサン岬、シーサイドライン	男性	60代
真竜岸壁など地方から釣り客が近年多いので、何か観光につなげる事はできないのか	女性	60代
厚岸湖の周遊(カヌーなどで)	男性	70歳以上
船のパレードがあればとっても面白いと思う	-	30代
大黒島、小島	男性	40代
牡蠣島を見に行く	女性	70歳以上

回答	性別	年齢
太田地区にある太田屯田開拓記念館	男性	60代
厚岸漁業卸売市場	女性	40代
漁業(昆布漁スタートなど)、酪農(放牧など)などの産業も利用できるのではないかと(邪魔にならない程度の穴場スポット)	男性	30代
牡蠣島弁天神社	男性	70歳以上
大黒島、小島	男性	70歳以上
町外の人が必要	男性	70歳以上
キャンプ場をもっと活用できたらよい。	男性	29歳以下
第一次産業が一番大事と考えるので、漁業、酪農で考えてみては	男性	60代
厚岸草(サンゴ草)を大きくして頑張ってもらいたい。厚岸最大の観光になると思う。	男性	70歳以上
弁天島、あさり	男性	60代
牡蠣島弁天神社(海の上にある神社は珍しい、厚岸大橋と朽ちている桟橋、朝焼け、満月)、厚岸駅(色合いを厚岸らしくする)、夏が涼しい(避暑地として短期移住者の受入れ、空き家活用)、アッケシソウ(能取湖くらいになるとよい)	女性	40代
末広海岸、夫婦岩	男性	50代
涙岬、立石の物語	男性	70歳以上
末広海岸	男性	60代
海など眺めが良いところ	男性	40代
昨今の食に関する情報があふれているのを見れば、漁協直売店は必須	男性	70歳以上
今ある資源1つ1つの見せ方をほかの町から見習って、とにかく観光客を楽しませる様に考えると良い。	回答しない	40代
ピリカウタの潮干狩り(アサリ)が人気なので、常時体験できる形になるよう環境整備する。	男性	70歳以上
お供山に車で行けたら景色を楽しめる	男性	60代
愛冠の博物館をもっと良くする	男性	29歳以下
真龍神社からの夜景。潮干狩りのPR。バードウォッチング、大黒島、厚岸小島は歴史も含めて活用の広がりがあると思う。	男性	30代
アサリ狩り	男性	50代
アッケシソウ	男性	30代
農業関係	男性	29歳以下
大黒島、鯨浜など外海の景観	男性	70歳以上
別寒辺牛湿原を展望できる場所及び駐車場の新設	男性	50代

回答	性別	年齢
太田地域はあまり知られていないが、(コストコフェアとか) 農協を含め、夏祭り等楽しい	女性	40代
コタンの整備 (ゴールデンカムイの影響でアイヌ文化への関心は高まっている)	男性	40代
正行寺、小島、大黒島	男性	70歳以上
太田屯田兵村に対するアピール	男性	70歳以上
船を使った大黒島ツアー	男性	30代
キャンプ場の整備(オートキャンプ対応、入浴施設、車中泊対応エリア)	女性	40代
宮園公園パークゴルフ場	男性	70歳以上
本州から来た人は何もない風景に北海道を観ているのでは	男性	60代
観光船による湾内遊覧	男性	60代
夜景 (厚岸大橋)	女性	40代
縄文時代からある貝塚、近世アイヌ期のお供山チャシ跡群。厚岸湾、別寒辺牛湿原を望む鉄道路線。	男性	60代
愛冠自然史博物館	-	29歳以下
小島・大黒島を巡る遊覧船があると良い	男性	70歳以上
アッケシソウ (厚岸草)	男性	60代
オオハクチョウ、オオワシ、オジロワシ、タンチョウ	男性	70歳以上
祭りの時間の延長と牡蠣などの量の調整。牡蠣まつりの終了時間が早く、売り切れで食べられないことがある。	女性	50代
大黒島、小島、厚岸湾の遊覧船観光	男性	50代
観光スポットを広げすぎて他に影響を及ぼすくらいなら、今あるものを強化する方が将来に残せるのではないかな。	男性	50代
太田、大別、片無去地区の牧歌的風景	女性	50代

【厚岸町にあったらよいと思う観光施設、または観光メニュー】

回答	性別	年齢
子ども達が遊べる屋内施設	女性	30代
厚岸味覚ターミナルに風呂を作り、民宿のように泊まれるようにする。	女性	70歳以上
温泉	男性	29歳以下
牡蠣のオーナー制度を作り、年に1～2回見学に来て食べてもらう（あるいは送る）。	女性	70歳以上
昆布漁体験、冬の氷下魚漁体験、厚岸湖周遊道(徒歩・自転車)の整備	男性	70歳以上
温泉施設	女性	60代
温泉	女性	60代
多目的温泉施設	男性	60代
牡蠣、あさりだけじゃなく、つぶやホッキなどその時期にとれる海の幸をPRしてほしい。	男性	無回答
観光客は多いが宿泊施設が足りないのでは。	男性	29歳以下
温泉施設	男性	40代
厚岸湾、厚岸湖を見渡せる宿泊施設	男性	70歳以上
水族館	女性	40代
ホテル、旅館、タクシー、食事処	男性	60代
古民家風のカフェ	男性	70歳以上
体験が出来る施設等と交通の利便性の改善	女性	30代
余市のニッカウキスキーのような施設（売店・レストラン）。海沿いで炉端焼き。	男性	30代
子どもが楽しめる体験型メニュー(例えば、弟子屈町にある渡辺体験牧場)	男性	30代
漁業体験	男性	29歳以下
最近根室市にできた様な子供が遊べる施設	男性	30代
自然の中で子ども（大人も）達が楽しめる施設（フィールドアスレチックなど）	女性	70歳以上
グランピングやバーベキューができる、日帰りでも外で楽しめる場所があると良い。車いすでも楽しめるとなお良い。	女性	40代
子ども向けの観光施設	男性	40代
温泉・お風呂など、くつろぐことのできる施設	女性	70歳以上
水族館	男性	70歳以上
サイクルロード（例：水鳥観察館まで）	男性	70歳以上
温泉	女性	40代
温泉	男性	40代

回答	性別	年齢
今のとおりで良い。あまり必要ない。	男性	70歳以上
ケーキ店、バック店、衣類、似顔絵、靴店などあれば楽しい。	女性	70歳以上
厚岸出身者が「故郷に帰ってきた」と思えるような場所に、喫茶店など憩いのスペースがあると良い。	女性	50代
キャンプ場。バイカー向けに夏場限定施設があれば良い。	男性	30代
厚岸温泉（サウナ付き）	男性	40代
海が見える景観が良い場所に温泉（海水でもいい）	女性	60代
厚岸ならではのイベント、大勢の人がくつろげる場所。	女性	70歳以上
厚岸の名所を巡る旅行ルート。隣町と協力して30分～40分程度で次の目的地に移動できるのが理想。	男性	70歳以上
温泉	男性	60代
ホームページで観光スポットを紹介する際に、順序良く訪れる事が出来るルートや所要時間を表示する	女性	70歳以上
温泉	男性	40代
温泉ホテル	男性	60代
温泉	男性	60代
温泉施設	女性	60代
温泉があれば集客増が見込める。「霧多布温泉ゆうゆ」のように2000m掘れば温泉は出る。	男性	70歳以上
整備された公園と併設されたカフェ。大型遊具のそろった公園があれば、子どもだけではなく親や祖父母が訪れるので軽食も売れる。	-	30代
家族で楽しめる施設	女性	70歳以上
温泉施設	男性	40代
商業施設が充実していないと若者が減る。	男性	29歳以下
温泉	男性	70歳以上
温泉	男性	40代
旧糸魚沢小学校に展望台を設置し、湿原を撮影できる施設を作ってはどうか。冬の夜空は星がキレイ。	男性	60代
温泉施設	女性	60代
カフェ（クオリティの良いチーズを置いてほしい）	女性	40代
修学旅行生が泊まって遊べる宿泊施設	男性	60代
温泉施設	男性	50代
味覚ターミナル・コンキリエは狭く感じる。湿原カヌーやアサリ掘りは良いのでもっとPRしてほしい。	男性	70歳以上

回答	性別	年齢
「霧多布温泉ゆうゆ」のような入浴施設	男性	60代
子連れでも楽しめる遊具が充実した施設	女性	40代
宿泊施設	男性	70歳以上
漁師めし	男性	30代
温泉施設	男性	70歳以上
温泉施設	男性	40代
今ある施設や観光メニューをY o u T u b e で配信し注目を集める	男性	40代
温泉施設	男性	50代
温泉、牡蠣料理を食べられて宿泊できる所	女性	60代
温泉施設	男性	40代
中標津町「ゆめの森公園」のような子どもが無料で遊べる施設	男性	70歳以上
温泉（隣町は温泉があるのに厚岸町にはない）	男性	29歳以下
温泉	男性	60代
温泉	男性	60代
厚岸が発祥の地だから、どこにもないアッケシソウを	男性	70歳以上
温泉	男性	40代
「アツモリソウ」の復活（アッケシウスユキソウも）	男性	60代
温泉やスパを併設した宿泊施設	男性	60代
アスレチックなどある大型公園。ルスツのような遊園地。	女性	40代
釣りができる公園	男性	50代
いろいろな体験メニュー	男性	40代
温泉施設	男性	70歳以上
温泉	男性	60代
風景の良い場所の喫茶店	女性	60代
子ども向け施設	男性	40代
中標津町「ゆめの森公園」のような子どもが遊べる施設	女性	50代
湿原、カヌー体験、厚岸近海クルーズ	男性	40代
温泉	女性	40代
常設のカヌー施設、乗馬施設	男性	70歳以上
景色を見ながら食べられるスープスタンドなど、観光客・地元住民が楽しめる場所	女性	40代
冬のイベント	男性	30代
観光客が楽しく利用できる宿泊施設、キャンプ場や公園を併設したおしゃれなレストラン	-	40代

回答	性別	年齢
魅力ある宿泊施設、大黒島や小島を周遊する海上ルート	男性	70歳以上
コンブ採りの様子を観光船で案内する	男性	70歳以上
ラーメン横丁	男性	50代
遊具やアスレチック・水遊びができる大型の運動公園	男性	30代
道の駅に足湯を設置し観光客の憩いの場にする	女性	60代
観覧車、スキー場	男性	40代
床潭沼に公園を作る	男性	70歳以上
温泉	男性	60代
水族館、温泉	女性	40代
夜景スポットを整備すると、宿泊客の増加につながる	男性	29歳以下
宿泊施設の整備、レストランなどグルメマップ作製	男性	30代
遊覧船、ジップライン	男性	50代
町内探検ツアー（コンキリエで食事付）	女性	50代
温泉施設、子どもが楽しめる遊具の屋内遊園	女性	50代
漁業を活かした体験観光メニュー、漁船で楽しむ厚岸湖クルーズ、市街地に食事処	男性	30代
町内にはシカがたくさんいるので奈良のような鹿公園（観光客がシカの写真を撮っているので）	男性	50代
宿泊施設（ライダーハウス等）	女性	30代
町外から遊びに来たくなる施設（体を動かして遊ぶ施設）	男性	30代
乳しぼり体験や乗馬ができる体験牧場、牡蠣むき体験など厚岸の産業を生かしたもの	男性	29歳以下
温泉	男性	50代
きれいな宿泊施設	男性	30代
カヌーツアー	女性	30代
温泉など温浴施設	男性	60代
あつけし望洋台にW i - F i 整備すると利用が増える	男性	30代
温泉、無理なら銭湯	女性	60代
町民向けのスペシャルなツアー	男性	70歳以上
温泉宿泊施設	男性	70歳以上
ファミリーで泊まりやすいホテル、厚岸蒸溜所のミュージアム。	男性	30代
宿泊施設（中規模、ビジネスホテル）	男性	50代
子どもが遊べる施設（地元に住む子育て世代も利用し子ども連れの観光客も増える）	女性	30代

回答	性別	年齢
健康ランドみたいなところ	女性	40代
地場産の魚が買えるスポット。未利用魚を食べる。	男性	40代
水族館、景色がよく見えるタワー	女性	29歳以下
温泉	女性	70歳以上
温泉	女性	70歳以上
温泉（牡蠣の生育への影響があるのかもしれませんが）	男性	30代
コンキリエと併設した農産物の直売所	女性	40代
コンキリエの横でお化け屋敷、一年中	男性	70歳以上
老人と小学生が楽しく遊べる施設	女性	70歳以上
子供が楽しめる施設、クラムチャウダー	女性	30代
温泉と体験施設	男性	60代
水族館	男性	40代
宿泊施設の充実	男性	60代
温泉付宿泊施設	男性	70歳以上
原生花園あやめヶ原を管理し、人の目に触れるように改善する。	男性	30代
温泉	男性	40代
厚岸大橋のたもとにカフェ。厚岸町郷土館や厚岸町太田屯田開拓記念館の周辺にも何か名物を。	女性	40代
温泉施設、ホテル等の宿泊施設	男性	50代
温泉のある宿泊施設	男性	60代
清潔で魅力的な宿泊施設所（遠方から客が来ても泊る所がない）	男性	70歳以上
レジャー港（釣り場）、観光市場	男性	60代
キャンプ場	男性	70歳以上
温泉施設またはスーパー銭湯	－	50代
温泉があったら良い。団体客が宿泊できるホテル。	男性	70歳以上
牡蠣が苦手な人でも、あさり・昆布など色々な食材が楽しめることをアピールする。	女性	50代
スポーツ施設	男性	60代
太田の農業に親しめる施設、温泉、カフェ	－	29歳以下
牡蠣が食べられない人も楽しめる食事メニュー	女性	29歳以下
温泉宿	男性	70歳以上
観光客を足止めさせる観光ポイントと宿泊施設の充実	男性	60代
温泉施設、大規模なレジャー施設などの複合的なスポット	男性	30代
J R 湿原駅、鳥類観察施設(厚岸湖)、湿原展望広場（国道44号線沿）	男性	70歳以上

回答	性別	年齢
日帰り入浴可能な宿泊施設	女性	50代
温泉施設、クルージング	男性	60代
グルメリゾート	男性	50代
漁協の見学、厚岸湾クルージング、空からの観光	男性	40代
温泉、子どもが遊べる施設	男性	40代
スノーモービルでのアクティビティ	女性	50代
温泉と食事できる施設	男性	40代
海が見える温泉、市場でのセリ見学	女性	29歳以下
別寒辺牛湿原に展望台	男性	70歳以上
温泉	男性	70歳以上
大学生ぐらいの若者が訪れるインスタ映えスポット	女性	29歳以下
温泉	男性	50代
温泉など宿泊施設、レクリエーション施設	男性	60代
道の駅の建て替えと周辺整備。宿泊施設、キャンピングカー専用エリアなど、食以外でも一番を目指せる施設。	男性	50代

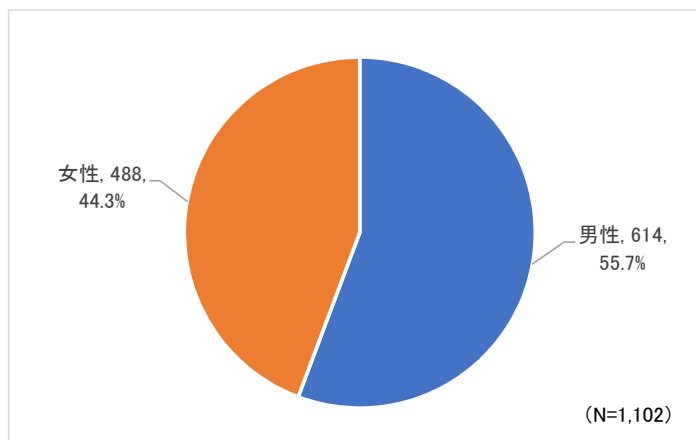
(5) インターネットアンケート調査

調査目的	厚岸町の観光資源に対する評価や、潜在的なニーズを探るため、インターネット調査会社のモニターを対象にしたアンケート調査を実施
調査	回答対象者は20歳以上の趣味を「国内旅行」「海外旅行」と回答しているモニターで、居住地が北海道内、北海道外（国内）である人
回答数	北海道内552票、北海道外550票の合計1,102票
注意事項	回答の割合を小数点第1位で四捨五入しているため、内訳の計が100%と一致しない場合がある。

【回答者のプロフィール】

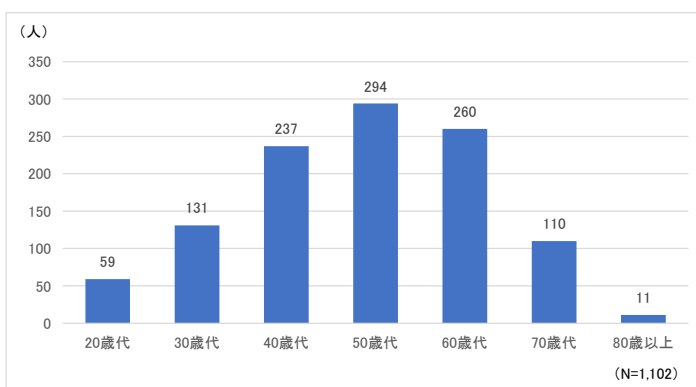
①性別

- 回答者の性別は、「男性」が614人（55.7%）、「女性」が488人（44.3%）と、「男性」が多くなっています。
- 年代別に見ると、40歳代までの世代では「女性」、50歳代より上の世代では「男性」の回答割合が高くなっています。



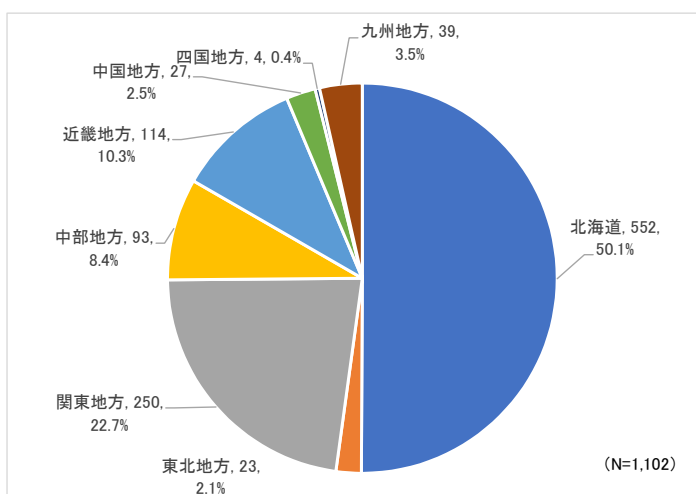
②年齢

- 回答者の年齢は、「50歳代」が294人（26.7%）で最も多く、続いて「60歳代」が260人（23.6%）、「40歳代」が237人（21.5%）の順に多くなっています。
- 「20歳代」～「40歳代」で38.7%、「50歳代」から上の年代が61.3%となっています。



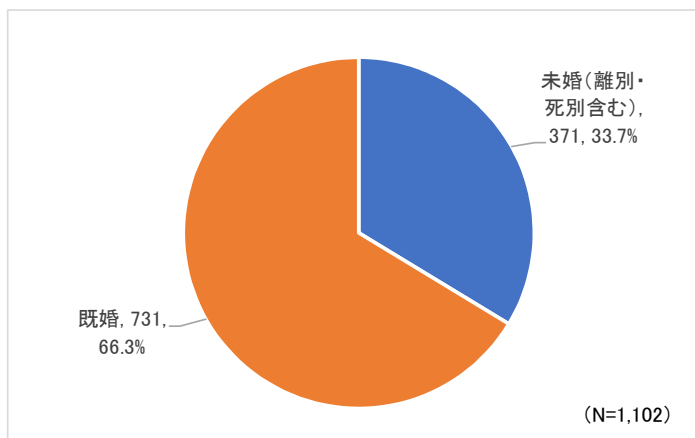
③居住地

- 回答者の居住地は、「北海道」が552人（50.1%）で最も多く、続いて「関東地方」が250人（22.7%）、「近畿地方」が114人（10.3%）の順になっています。
- 北海道外の具体的な都道府県「東京都」が96人で最も多く、「神奈川県」が63人、「大阪府」が60人、「埼玉県」が43人の順に多くなっています。



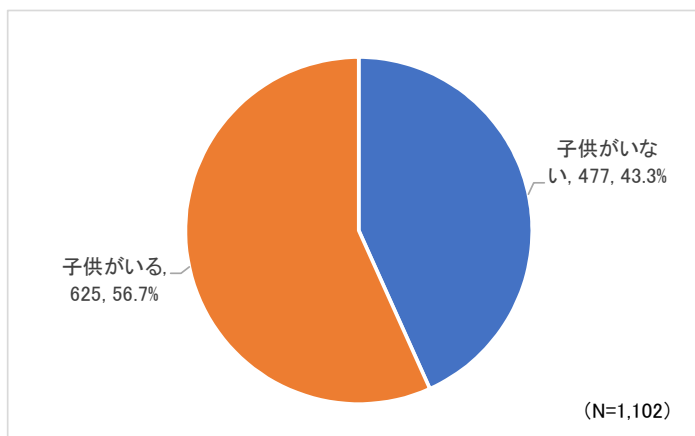
④結婚しているか

- 回答者が結婚しているかどうかについては、「未婚（離別・死別含む）」が371人（33.7%）、「既婚」が731人（66.3%）となっており、「既婚」の方が多くなっています。



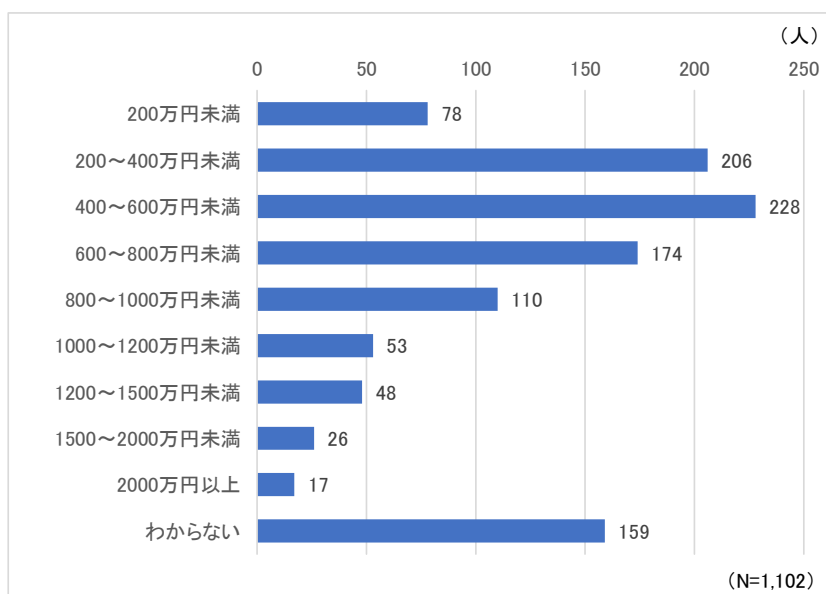
⑤子どもの有無

- 子どもの有無に関しては、「子供がいない」が477人（43.3%）、「子供がいる」が625人（56.7%）となっており、「子供がいる」の割合が高くなっています。



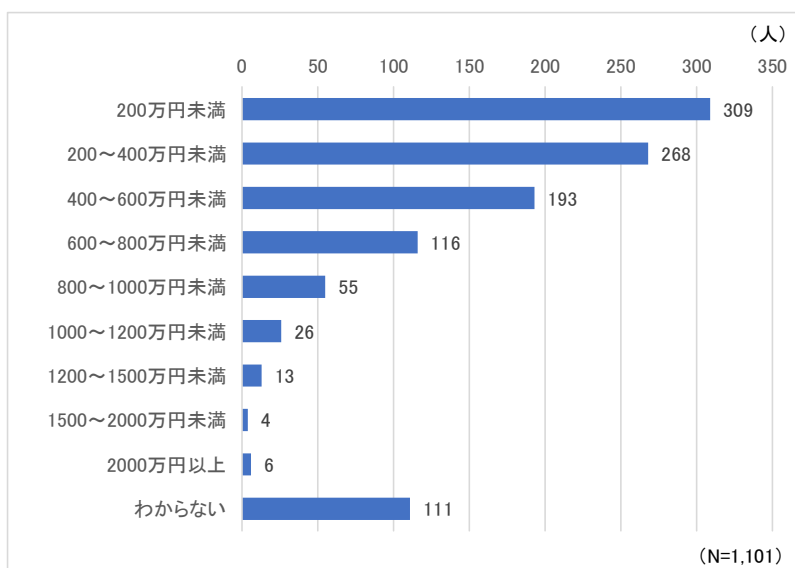
⑥世帯年収

- 回答者の世帯年収は、「400～600万円未満」が228人（20.7%）で最も多く、続いて「200～400万円未満」が206人（18.7%）、「600～800万円未満」が174人（15.8%）の順に多くなっています。「わからない」という回答が159人（14.5%）あります。
- 600万円未満の回答者が46.6%、600万円以上の回答者が38.9%となっています。



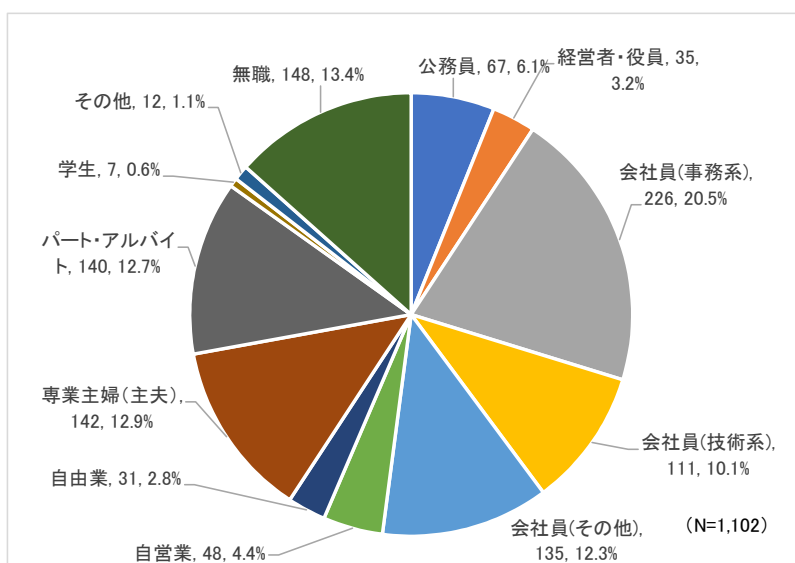
⑦個人年収

- 回答者の個人年収は、「200万円未満」が309人（28.1%）で最も多く、続いて「200～400万円未満」が268人（24.3%）、「400～600万円未満」が193人（17.5%）の順になっています。



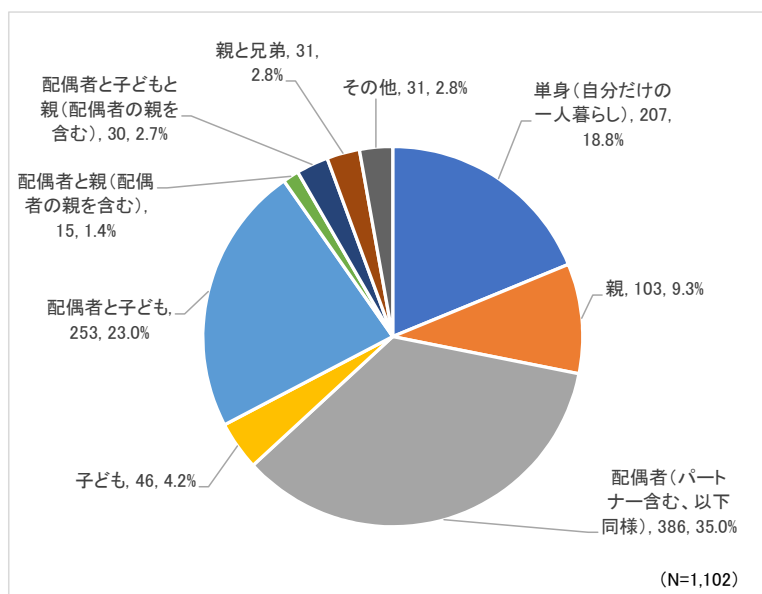
⑧職業

- 回答者の職業は、「会社員(事務系)」が226人（20.5%）で最も多く、続いて「無職」が148人（13.4%）、「専業主婦（主夫）」が142人（12.9%）、「パート・アルバイト」が140人（12.7%）の順に多くなっています。



⑨家族構成

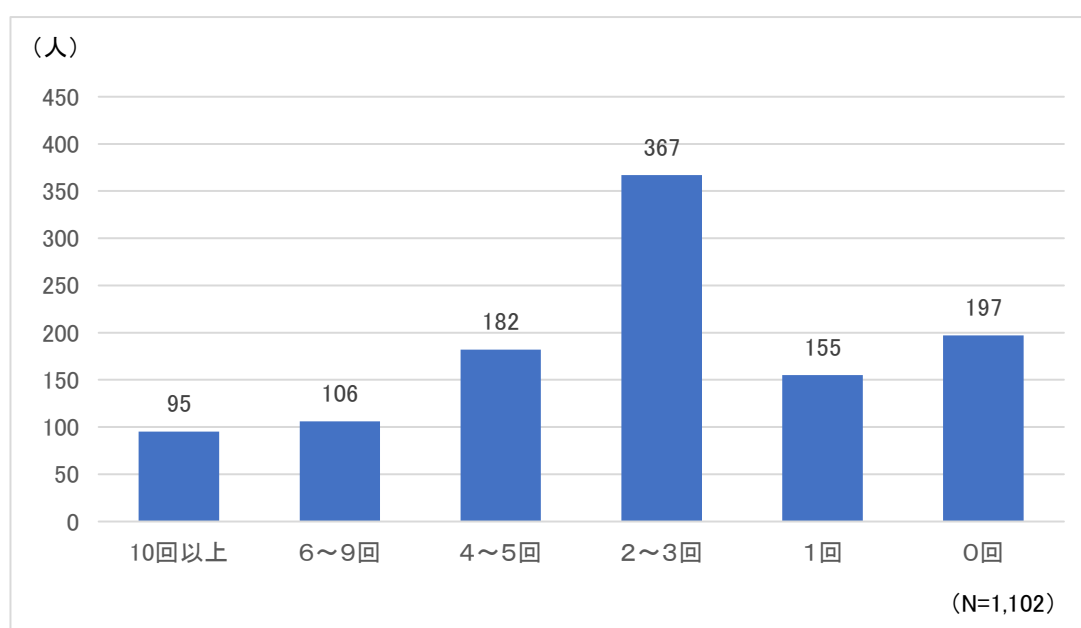
- ・ 現在同居している家族は、「配偶者（パートナー含む、以下同様）」が386人（35.0％）で最も多く、続いて「配偶者と子ども」が253人（23.0％）、「単身（自分だけの一人暮らし）」が207人（18.8％）の順に多くなっています。



【旅行回数】

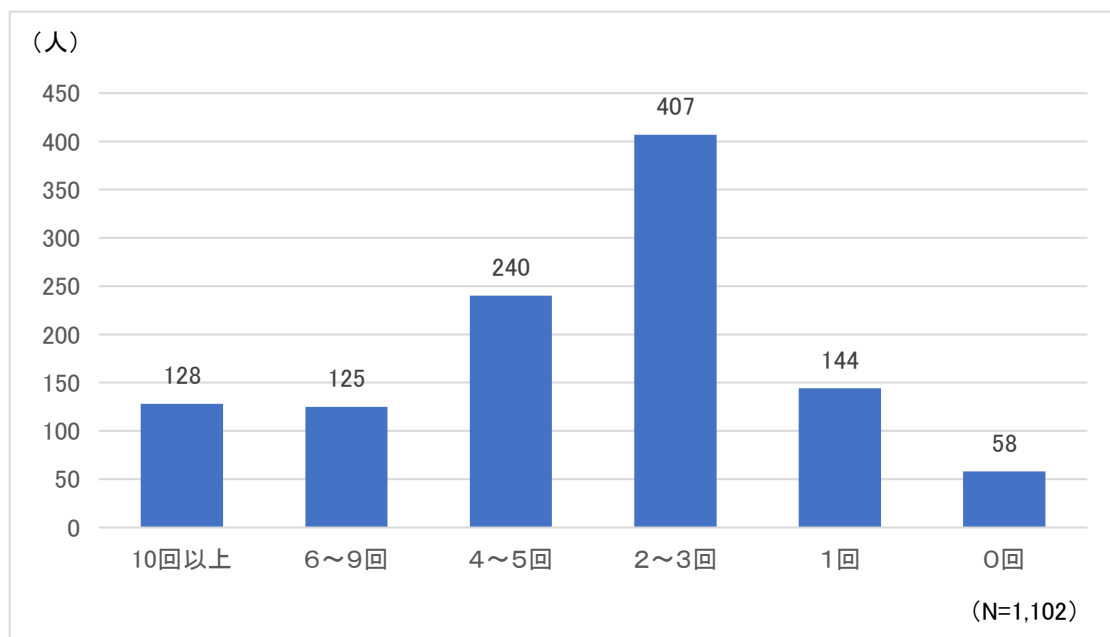
①コロナ禍における宿泊旅行回数

- ・ 2022年の1年間にプライベートな国内旅行でホテル・旅館に宿泊した回数（出張を除く）については、「2～3回」が367人（33.3％）で最も多く、続いて「0回（ホテル・旅館に宿泊していない）」が197人（17.9％）、「4～5回」が182人（16.5％）、「1回」が155人（14.1％）の順に多くなっています。
- ・ 年間4回以上宿泊旅行をする人を合わせると、割合は34.8％となります。



②コロナ以前の宿泊旅行回数

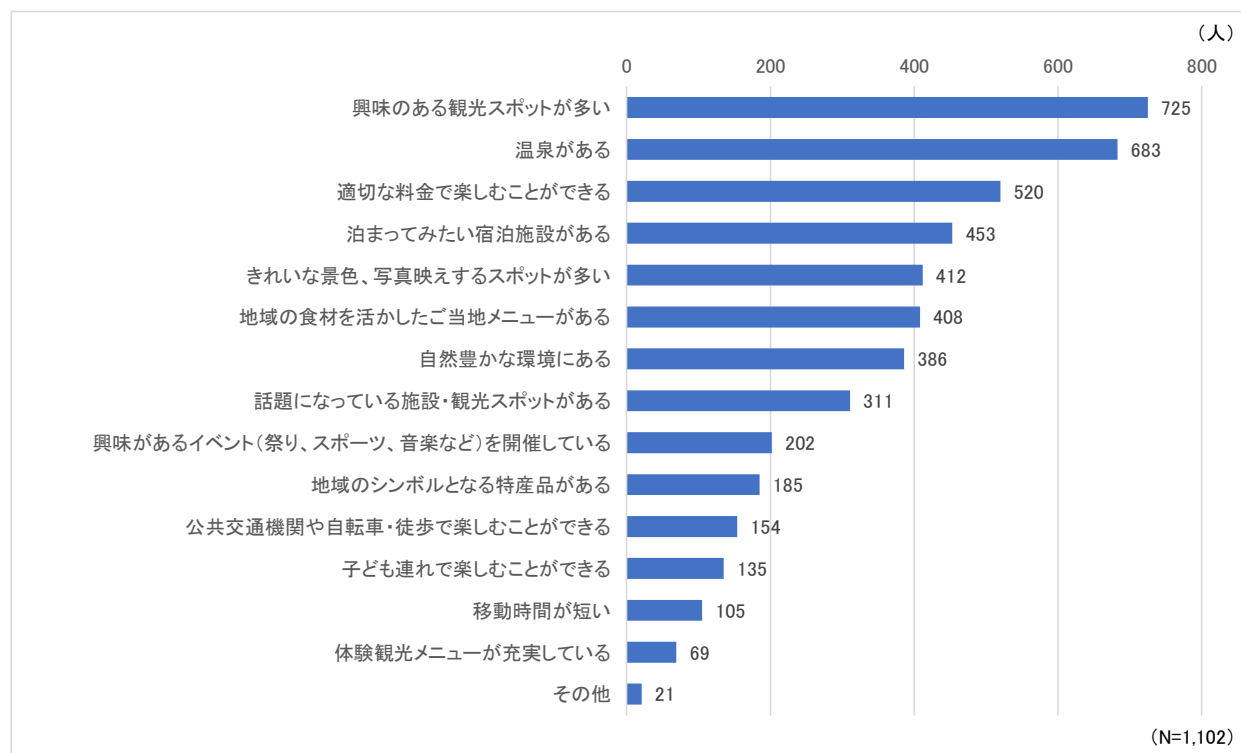
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大前（2019年以前）に、プライベートな国内旅行で1年間にホテル・旅館に宿泊した回数（出張を除く）は、「2～3回」が407人（36.9%）で最も多く、続いて「4～5回」が240人（21.8%）、「1回」が144人（13.1%）の順に多くなっています。
- ・ 年間「10回以上」という回答も128人（11.6%）おり、全体的にコロナ禍の時期よりも宿泊旅行の回数は多くなっています。
- ・ 年間4回以上宿泊旅行をする人を合わせると、割合は44.7%となり、コロナ禍の時期よりも9.9ポイント高くなっています。
- ・ 世帯年収別に年間4回以上宿泊旅行をする人の割合を比較すると、世帯年収600万円未満では40.8%、600万円以上で51.9%となり、10ポイント以上の違いが出ています。
- ・ 50歳以上の年代では、「0回」という回答の割合が、コロナ前5.2%から、コロナ禍では19.9%に増加しており、年代が高いほどコロナで宿泊旅行を控える傾向が見えています。



【旅行の傾向】

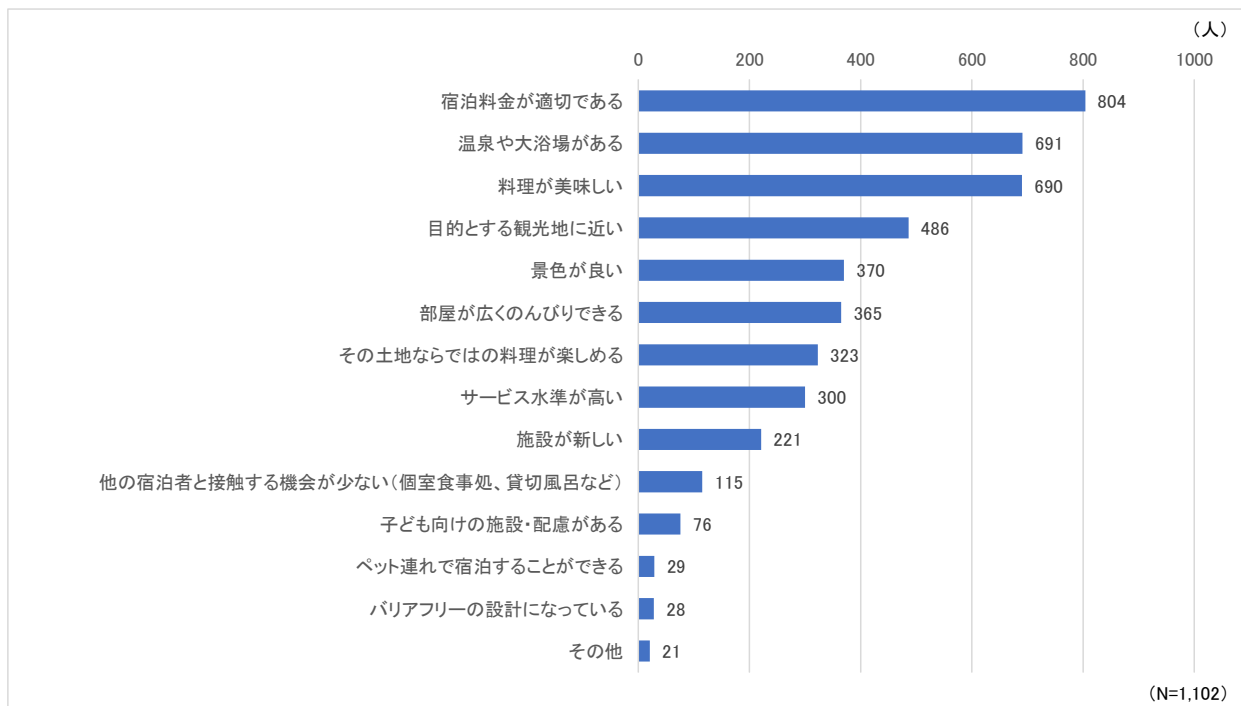
①旅行先を選ぶ際に重視していること（複数回答）

- ・ 回答者が旅行先を選ぶ際に重視していることは、「興味のある観光スポットが多い」725人（65.8%）で最も多く、続いて「温泉がある」が683人（62.0%）、「適切な料金で楽しむことができる」が520人（47.2%）、「泊まってみたい宿泊施設がある」が453人（41.1%）の順に多くなっています。
- ・ 北海道外の回答者の傾向としては「自然豊かな環境にある」が40.5%で4番目に多く、北海道に住んでいる人（29.5%）よりも11ポイント高くなっています。
- ・ 年代別に見ると、40歳までの年代では「子ども連れで楽しむことができる」「興味があるイベント（祭り、スポーツ、音楽など）を開催している」の割合が高くなり、50歳以上の年代では「自然豊かな環境にある」の割合が高くなっています。



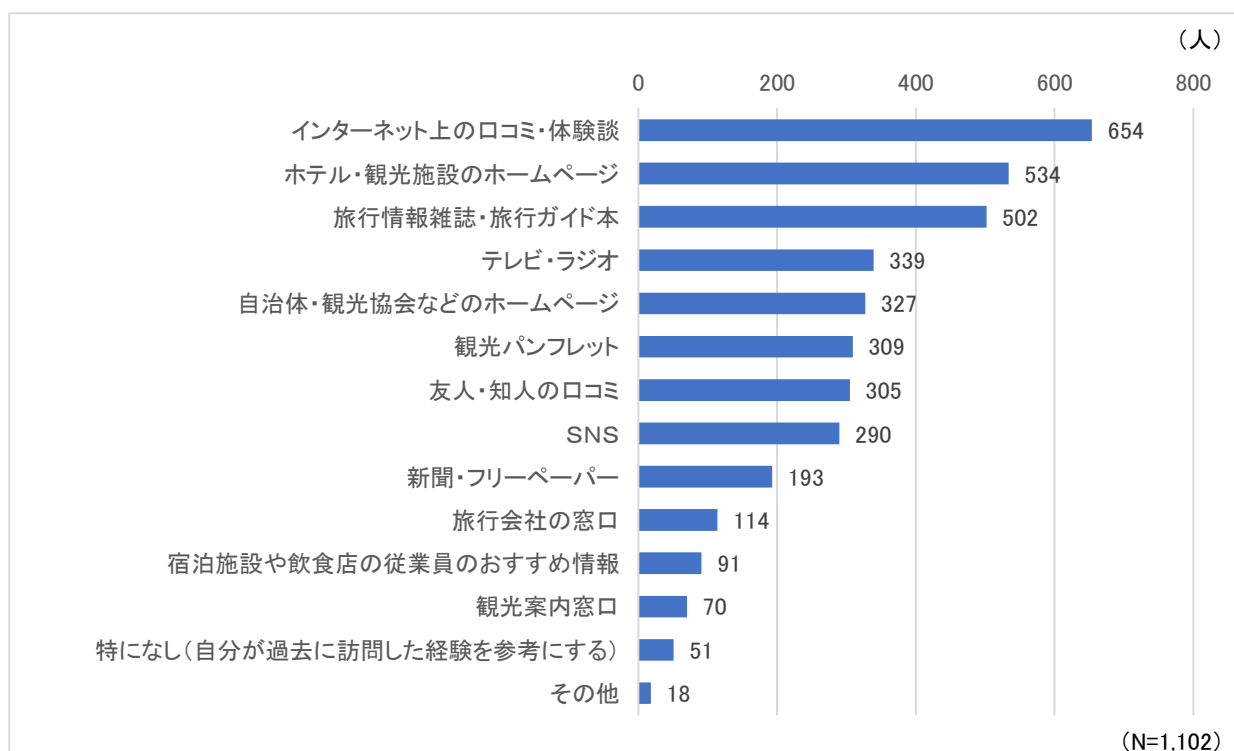
②宿泊施設を選ぶ際に重視していること（複数回答）

- ・ 回答者が宿泊施設を選ぶ際に重視していることは、「宿泊料金が適切である」が804人（73.0%）で最も多く、続いて「温泉や大浴場がある」が691人（62.7%）、「料理が美味しい」が690人（62.6%）、「目的とする観光地に近い」が486人（44.1%）の順に多くなっています。
- ・ 年代別に見ると、50歳以上の年代では「宿泊料金が適切である」と「温泉や大浴場がある」を選ぶ傾向が強くなっています。
- ・ 世帯年収別に比較すると、600万円未満の回答者は「宿泊料金が適切である」の割合が高く、600万円以上の回答者では「宿泊料金が適切である」と「料理が美味しい」がほぼ同じ割合となっています。



③観光情報を入手する手段（複数回答）

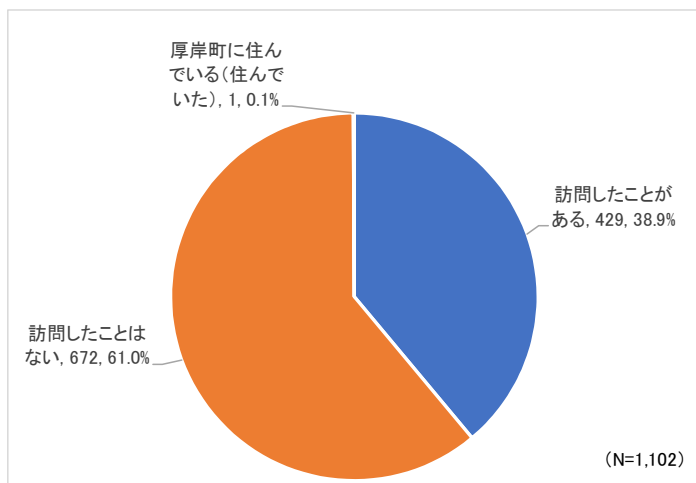
- ・ 回答者が観光情報を入手する手段としては、「インターネット上の口コミ・体験談」が654人（59.3%）で最も多く、続いて「ホテル・観光施設のホームページ」が534人（48.5%）、「旅行情報雑誌・旅行ガイド本」が502人（45.6%）の順に多くなっています。
- ・ 年齢別に見ると、40歳までの年代では「友人・知人の口コミ」や「SNS」の割合が高く、特に「SNS」については、40歳までの年代では44.0%、50歳以上の年代では15.1%と、28.9ポイントの差がついています。



【厚岸町の観光について】

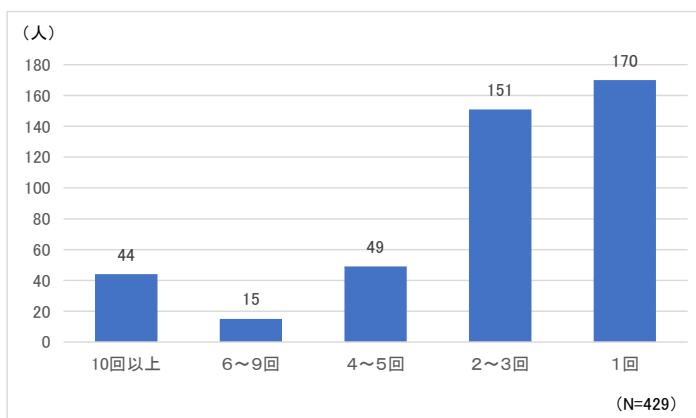
①厚岸町を訪問した経験

- これまでの厚岸町訪問経験は、「訪問したことがある」が429人（38.9%）、「訪問したことはない」が672人（61.0%）で、訪問経験のない人の方が多くなっています。
- 居住地別に見ると、北海道に住んでいる人では「訪問したことがある」が61.1%と過半数を超えています。北海道外で「訪問したことがある」と回答した人は16.7%にとどまります。



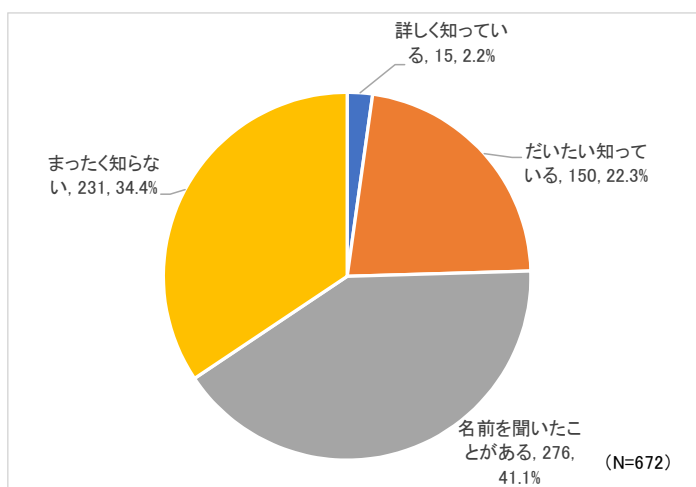
②厚岸町の訪問回数

- 厚岸町を訪問したことがある人に訪問回数を聞いたところ、「1回」が170人（39.6%）、「2～3回」が151人（35.2%）となっています。
- 訪問回数「10回以上」と回答している44人は、すべて北海道内に住んでいる人となっています。



③厚岸町の認知度

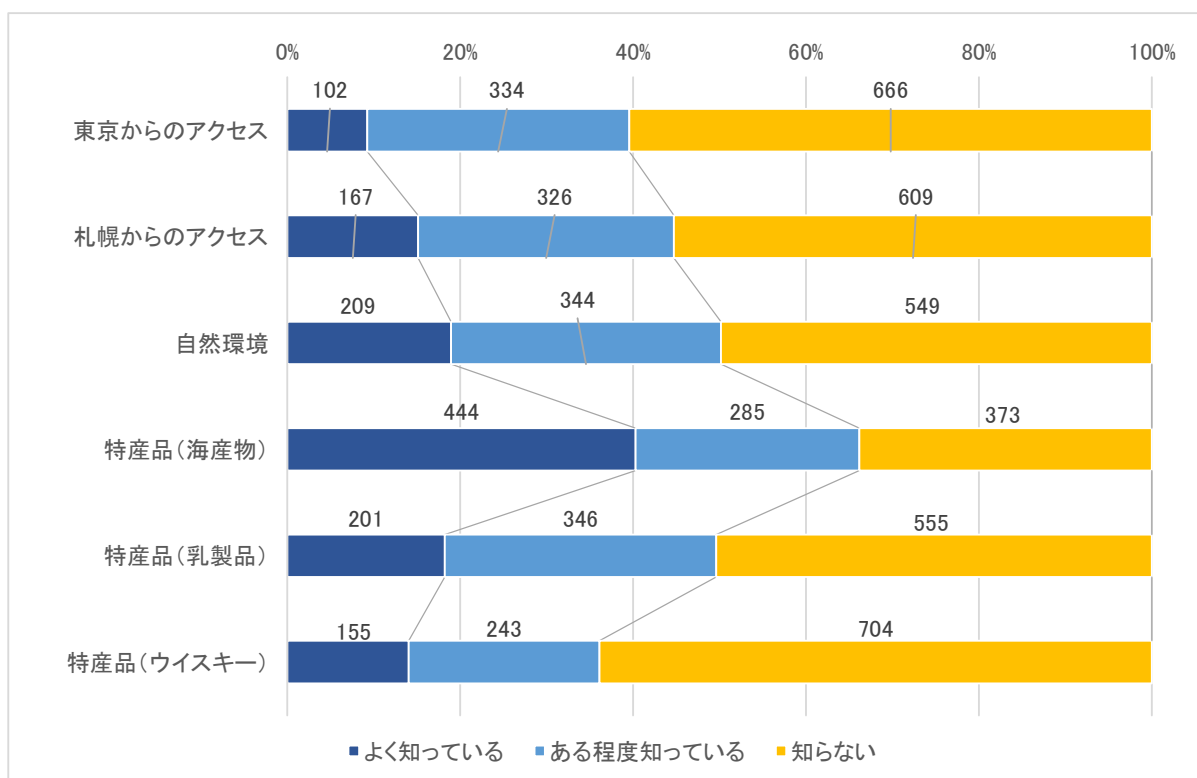
- 厚岸町を「訪問したことはない」人に厚町について知っているか聞いたところ、「名前を聞いたことがある」が276人（41.1%）で最も多く、続いて「まったく知らない」が231人（34.4%）、「だいたい知っている」が150人（22.3%）の順に多くなっています。
- 居住地別に見ると、北海道に住んでいる人では「だいたい知って



いる」が48.6%と最も多いのに対して、北海道外に住んでいる人では「まったく知らない」が48.9%で最も多くなっています。

④厚岸町の特徴に関する認知度

- ・ 厚岸町の特徴（交通アクセス、自然環境、特産品）について認知度を聞いたところ、最も認知度が高かったのは「特産品（カキやアサリなどの海産物）」で、「よく知っている」が444人（40.3%）、「ある程度知っている」が285人（25.9%）で、合わせて66.2%の人が知っていると回答しました。
- ・ その他の特徴の知っている割合は、高い順に「自然環境」が50.2%、「特産品（乳製品）」が49.6%、「札幌からのアクセス」が44.7%、「東京からのアクセス」が39.6%、「特産品（ウイスキー）」が36.1%となっています。
- ・ 居住地別に見ると、北海道外に住んでいる人の認知度はいずれも低く、最も高い「特産品（海産物）」でも知っている割合は38.9%となっています。



■東京からのアクセス（羽田空港から釧路空港まで約1時間35分＋釧路空港から車で約1時間15分）

■札幌からのアクセス（丘珠空港から釧路空港まで約45分＋釧路空港から車で約1時間15分）

■自然環境（「厚岸霧多布昆布森国定公園」に指定されている雄大な自然環境）

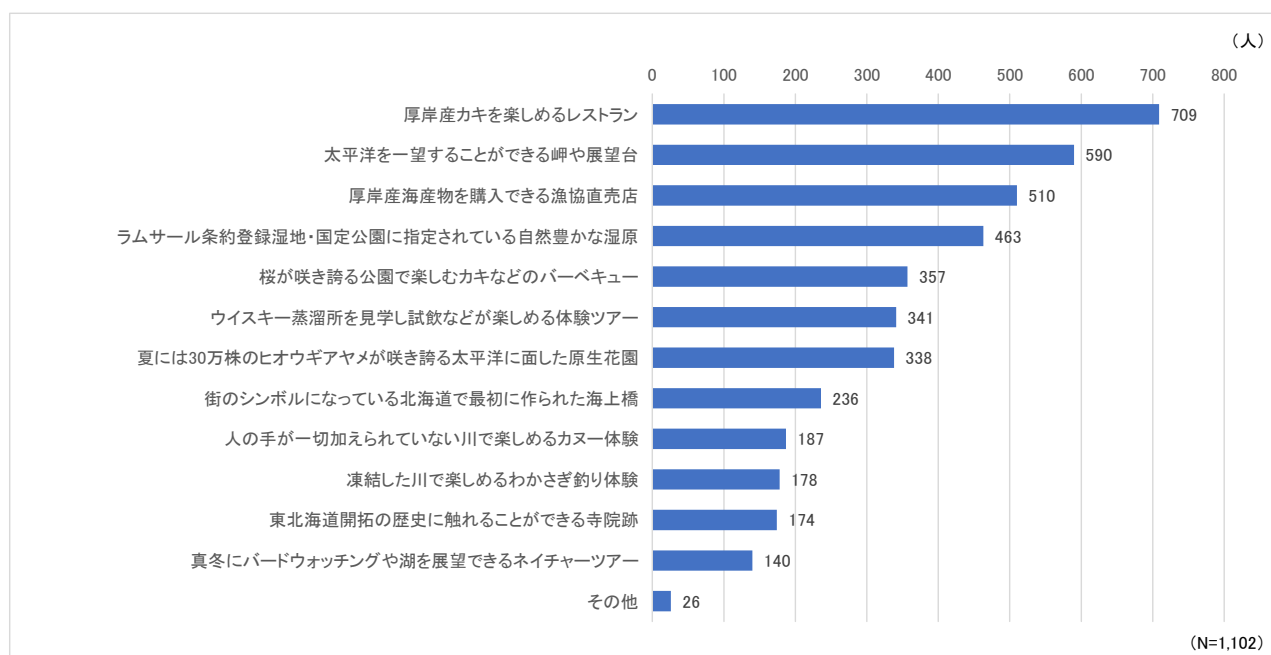
■海産物：特産品（カキやアサリなどの海産物）

■乳製品：特産品（牛乳やチーズなどの乳製品）

■ウイスキー：特産品（世界的に評価が高い厚岸ウイスキー）

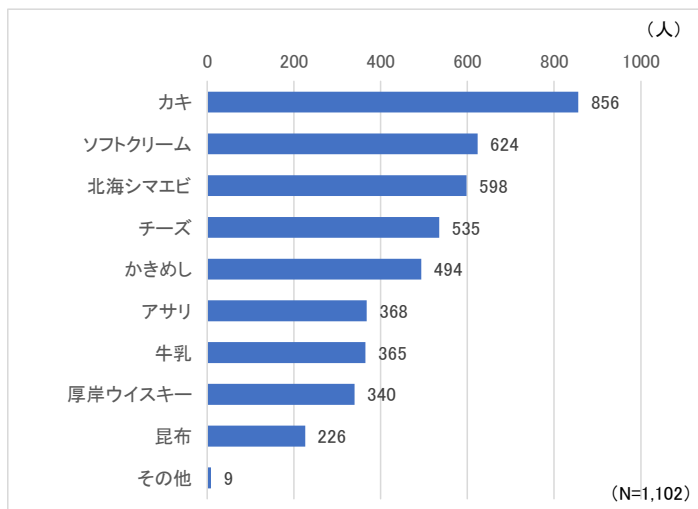
⑤厚岸町を訪問した時に行ってみたい場所、やってみたいこと（複数回答）

- ・ 厚岸町を訪問した時に行ってみたい場所、やってみたいことについては、「厚岸産カキを楽しめるレストラン」が709人（64.3%）で最も多く、続いて「太平洋を一望することができる岬や展望台」が590人（53.5%）、「厚岸産海産物を購入できる漁協直売店」が510人（46.3%）、「ラムサール条約登録湿地・国定公園に指定されている自然豊かな湿原」が463人（42.0%）の順に多くなっています。
- ・ 北海道外に住んでいる人では、「太平洋を一望することができる岬や展望台」が最も多く、続いて「厚岸産カキを楽しめるレストラン」「ラムサール条約登録湿地・国定公園に指定されている自然豊かな湿原」の順に多くなっています。特に「湿原」については、北海道に住んでいる人の回答よりも10ポイント以上高くなっています。
- ・ 男女別に見ると、男性の「ウイスキー蒸溜所を見学し試飲などが楽しめる体験ツアー」という回答が女性よりも10ポイント以上高くなっています。



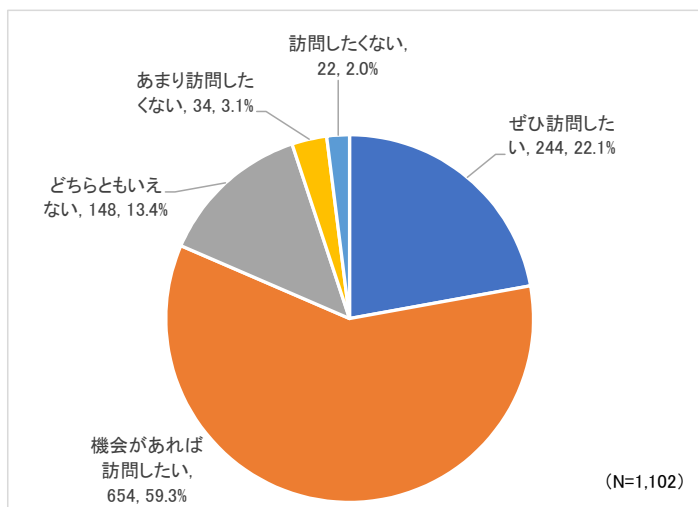
⑥厚岸町で食べてみたいグルメ（複数回答）

- 厚岸町で食べてみたいグルメは、「カキ」が856人（77.7%）で最も多く、続いて「ソフトクリーム」624人（56.6%）、「北海シマエビ」598人（54.3%）、「チーズ」535人（48.5%）、「かきめし」494人（44.8%）の順に多くなっています。
- 北海道外に住んでいる人の回答では「昆布」「牛乳」「チーズ」といった北海道らしい食材の回答割合が高くなっています。
- 女性の回答では、「チーズ」「ソフトクリーム」の回答割合が、男性より20ポイント以上高くなっています。



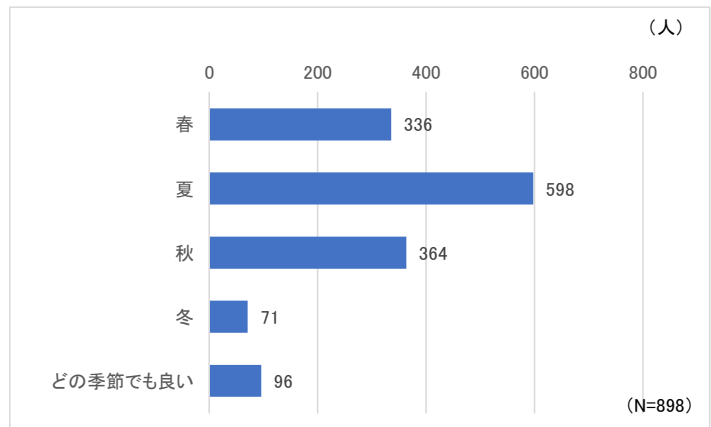
⑦今後の厚岸町訪問意向

- 厚岸町への訪問意向は、「ぜひ訪問したい」が244人（22.1%）、「機会があれば訪問したい」が654人（59.3%）で、合わせると81.5%の人が今後厚岸町を訪問したいと回答しています。
- 居住地域別に見た「ぜひ訪問したい」回答した割合は、北海道に住んでいる人では28.6%、北海道外に住んでいる人では15.6%で、北海道に住んでいる人の方が10ポイント以上高くなっています。



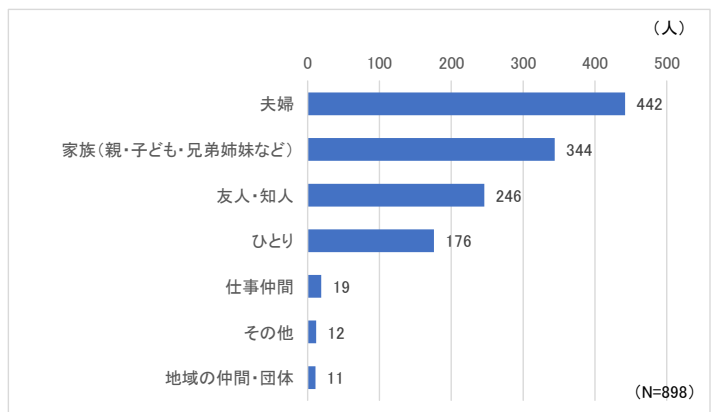
⑧厚岸町を訪問する季節（複数回答）

- 厚岸町を「ぜひ訪問したい」「機会あれば訪問したい」と回答した人に訪問する季節について質問したところ、「夏」が598人（66.6%）で最も多く、続いて「秋」364人（40.5%）、「春」336人（37.4%）の順に多くなっています。



⑨厚岸町を訪問する時に、誰と一緒に訪問するか（複数回答）

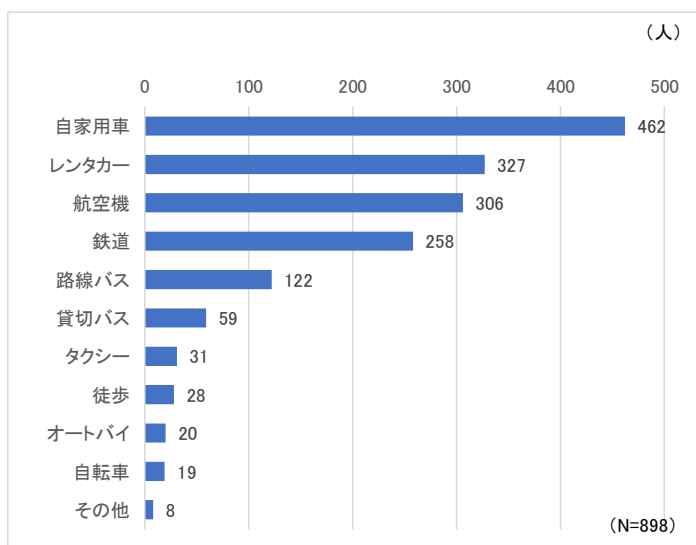
- 誰と一緒に訪問するかについては、「夫婦」が442人（49.2%）で最も多く、続いて「家族（親・子ども・兄弟姉妹など）」が344人（38.3%）、「友人・知人」が246人（27.4%）、「ひとり」が176人（19.6%）の順に多くなっています。



- 年代別に見ると、「夫婦」という回答は50歳以上の年代で高く、「家族（親・子ども・兄弟姉妹など）」「友人・知人」という回答は40歳代までの割合が高くなっています。

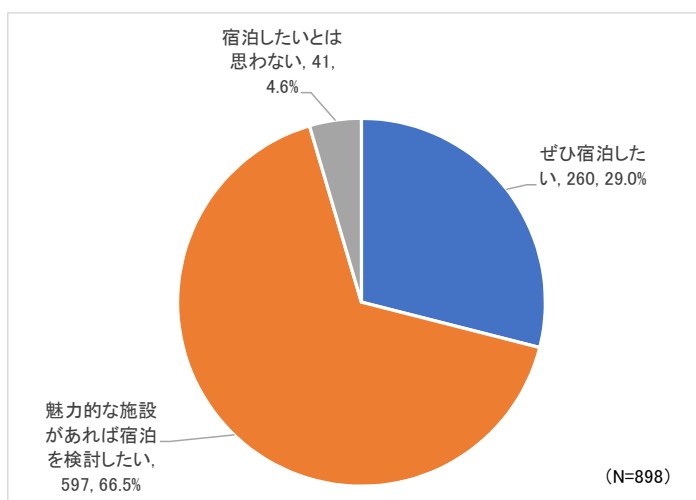
⑩厚岸町を訪問する時の移動交通手段（複数回答）

- ・ 厚岸町を訪問する時に利用する移動交通手段は、「自家用車」が462人（51.4%）で最も多く、続いて「レンタカー」327人（36.4%）、「航空機」306人（34.1%）、「鉄道」258人（28.7%）の順に多くなっています。
- ・ 北海道に住んでいる人の回答では自家用車が8割を超えて圧倒的に多く、北海道外に住んでいる人では「航空機」「レンタカー」が6割を超えています。



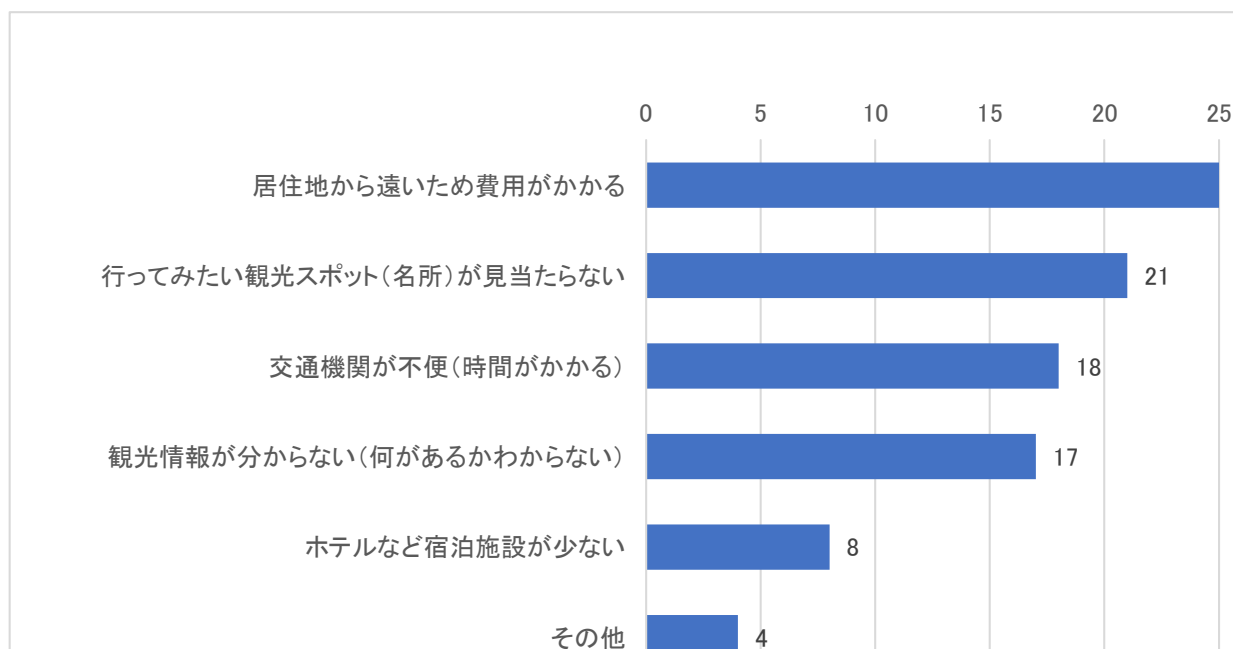
⑪厚岸町を訪問する時に、厚岸町に宿泊したいか

- ・ 厚岸町での宿泊希望は、「魅力的な設があれば宿泊を検討したい」が597人（66.5%）で最も多く、続いて「ぜひ宿泊したい」が260人（29.0%）となっています。



⑫厚岸町を訪問したくない理由（複数回答）

- 厚岸町を「訪問したくない」「あまり訪問したくない」と回答した人にその理由を聞いてみると、「居住地から遠いため費用がかかる」が25人（44.6%）で最も多く、続いて「行ってみたい観光スポット（名所）が見当たらない」が21人（37.5%）、「交通機関が不便（時間がかかる）」が18人（32.1%）、「観光情報が分からない（何があるかわからない）」が17人（30.4%）の順に多くなっています。

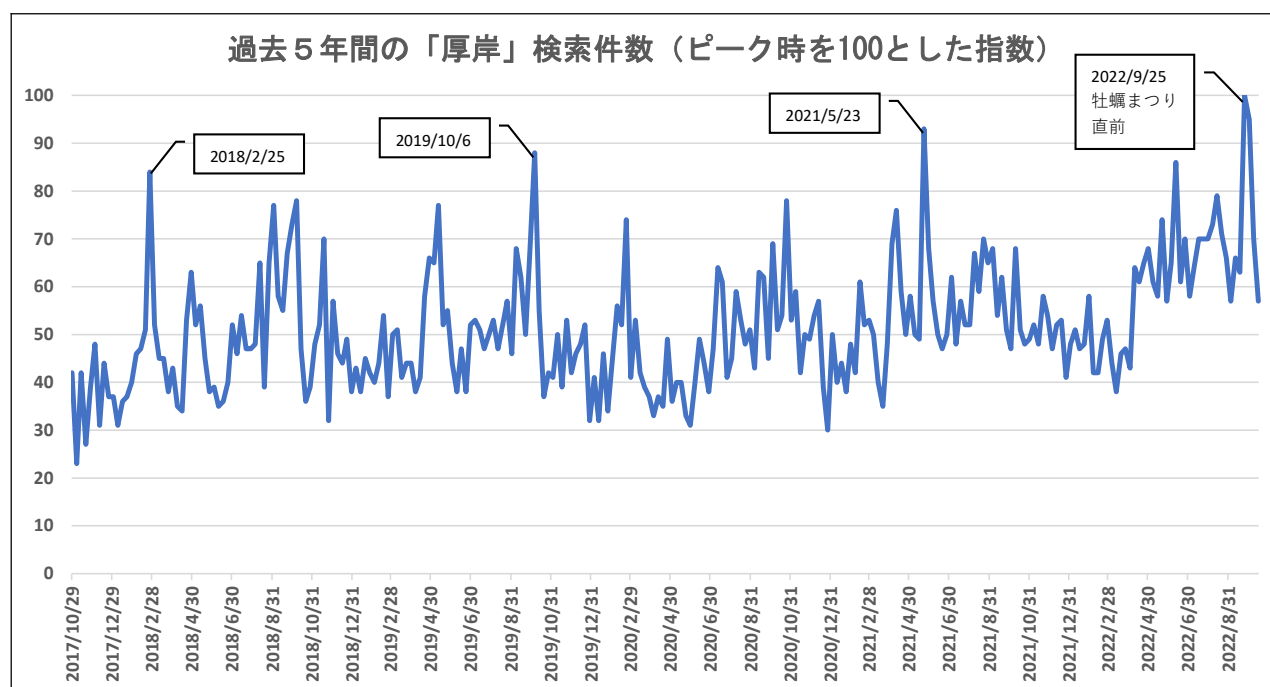


(6) SNS等の定性分析

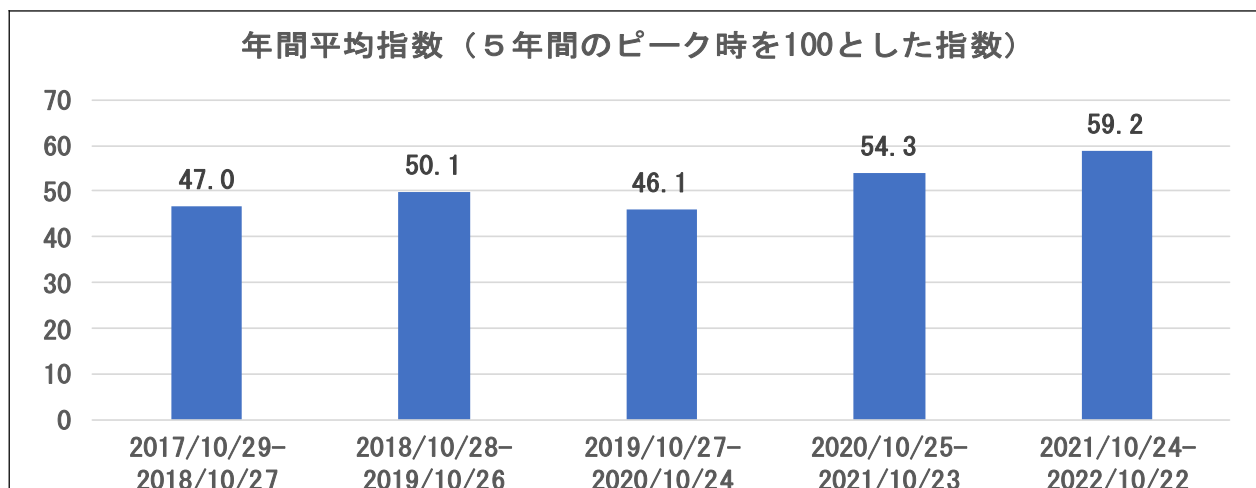
① Google 検索の状況

●キーワード「厚岸」の検索状況

- Google の過去5年間の検索状況を見ると、「厚岸」というキーワードの検索ピークは、令和4年（2022）9月25日から10月1日の週となっており、これは、3年ぶりに開催された「あつけし牡蠣まつり」の直前となっています。全国的に見ても、イベント直前になると観光地の検索数が増える傾向にあります。



- 過去5年間の年間平均指数をみると、新型コロナウイルス感染症の拡大で観光客の動きが止まった令和元年（2019）10月27日から令和2年（2020）10月24日で検索数が落ち込んだものの、その後の検索数は増加に転じています。



●関連キーワード

- 過去5年間に「厚岸」と関連して検索された人気キーワードは、「厚岸 牡蠣」が最も多く、次いで「牡蠣」「北海道」「北海道 厚岸」「釧路」の順に多くなっています。
- 過去5年間に検索数が急激に増えた注目キーワードは、「厚岸 コロナ」「厚岸 寒露」「厚岸 シングルモルト」「厚岸 ニューボーン」「厚岸 雨水」が上位となっています。いずれも5年前には検索されることがなかったキーワードであり、特に厚岸ウイスキーに関する関心が高まっていることがわかります。

順位	人気キーワード	スコア
1	厚岸 牡蠣	100
2	牡蠣	93
3	北海道	68
3	北海道 厚岸	68
5	釧路	65

順位	注目キーワード
1	厚岸 コロナ
2	厚岸 寒露
3	厚岸 シングルモルト
4	厚岸 ニューボーン
5	厚岸 雨水

※ 「牡蠣」「かき」「カキ」「牡蛎」をまとめて「牡蠣」として記載しています。

※ 「人気キーワード」は、その期間で人気の高い検索キーワードで、スコアは相対的に計算され、最もよく検索されているキーワードのスコアが100で、スコア50のキーワードはその半分の検索頻度であることを示します。

※ 「注目キーワード」は、最後の期間からの検索頻度の増加が大きいキーワードで、急激に増加しているキーワードは、以前はそのようなキーワードがなかった、あったとしてもほとんど検索されなかったと考えられます。

- ・ 令和3年（2021）10月から令和4年（2022）9月までの過去1年間に「厚岸」と関連して検索された人気キーワードは、「牡蠣」「牡蠣 厚岸」が最も多く、次いで「ウイスキー 厚岸」「ウイスキー」「釧路」の順に多くなっており、過去5年間と比較すると、ウイスキー関連の検索をする人が増えていることがわかります。
- ・ 令和3年（2021）10月から令和4年（2022）9月までの過去1年間に検索数が急激に増えた注目キーワードは、「厚岸 牡蠣 祭り 2022」が多く検索されており、令和4年（2022）10月に3年ぶりに開催した「あっけし牡蠣まつり」に大きな注目が集まっていたことがわかります。続いて「厚岸 立冬」「厚岸 大寒」「厚岸 清明」「厚岸 ウイスキー 立冬」の順に厚岸ウイスキーに関する検索が多くなっています。

順位	人気キーワード	スコア
1	牡蠣	100
1	牡蠣 厚岸	100
3	ウイスキー 厚岸	93
4	ウイスキー	92
5	釧路	68

順位	注目キーワード
1	厚岸 牡蠣 祭り 2022
2	厚岸 立冬
3	厚岸 大寒
4	厚岸 清明
5	厚岸 ウイスキー 立冬

② Instagramを活用した厚岸観光の情報発信・収集

● Instagramを開設している施設とフォロワー数

- ・ 厚岸町の観光に関連する主な機関・施設の中で、Instagramを開設している機関・施設とそのフォロワー数で、最もフォロワーが多いのは「厚岸漁業協同組合エーウロコ」の3,762人で、続いて「厚岸蒸溜所」が3,207人となっています。
- ・ 町内の観光施設や飲食店の中でInstagramを開設している施設は少なく、情報発信に活用する施設が増えることが期待されます。

I n s t a g r a mのフォロワー数（令和4年（2022）10月27日調査時点）

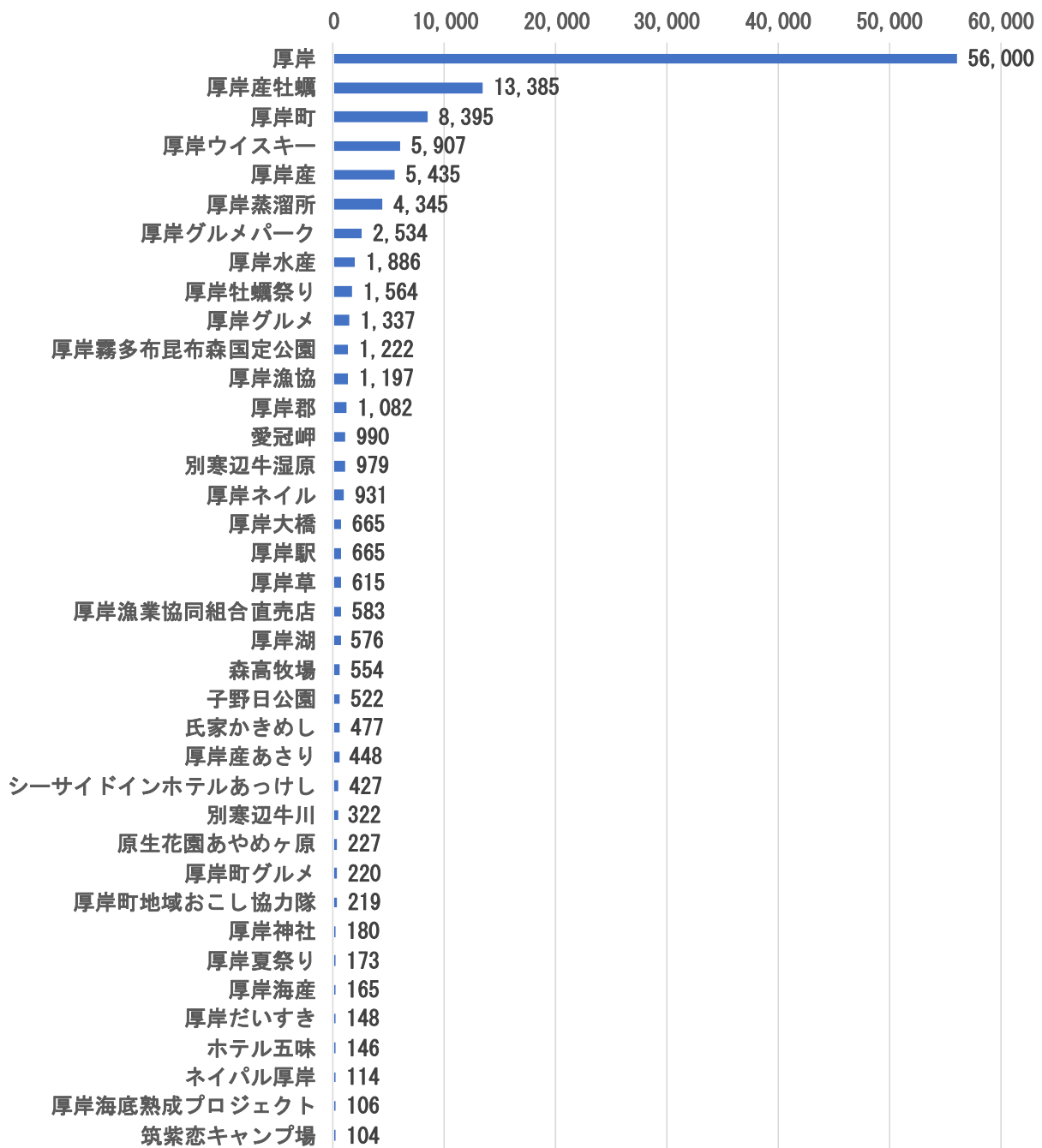
順位	機関・施設	フォロワー数
1	厚岸漁業協同組合エーウロコ	3,762
2	厚岸蒸溜所	3,207
3	厚岸味覚ターミナル・コンキリエ	2,225
4	厚岸町	1,648
5	釧路町・厚岸町・浜中町広域観光推進協議会	1,206
6	J A釧路太田（きわみるくん）	422
7	厚岸観光協会	371
8	夢風舎	326
9	ホテル五味	286
10	お食事処 海鮮焼ゆっけ（馬場商店）	221
11	ネイパル厚岸	67

●ユーザーが投稿した際の「#（ハッシュタグ）」

- ・ 厚岸町内の観光施設や観光地について、どのような「#」をつけて投稿しているのかを見ると、「厚岸」が5万6,000件で最も多くなっています。続いて「厚岸産牡蠣」が1万3,385件、「厚岸町」が8,395件、「厚岸ウイスキー」が5,907件、「厚岸産」が5,435件の順に多くなっています。
- ・ 場所を表す「厚岸」や「厚岸町」を除くと、カキやウイスキーに関連するキーワードが上位に来ており、I n s t a g r a mに投稿されている写真でも、カキやウイスキーの写真が多くなっています。同様に、T w i t t e rの投稿内容も「厚岸の牡蠣美味しい～」や「厚岸ウイスキーが買えない」などのカキやウイスキーに関連するツイートが多くなっています。
- ・ これらの投稿は厚岸町を訪問した観光客だけではなく、東京や札幌で「厚岸産牡蠣」や「厚岸ウイスキー」を楽しんでいる人による投稿や、厚岸町民の投稿も含まれています。

※ I n s t a g r a mで投稿する時には、「訪問している場所」「食べているもの」「その時の気持ち」「投稿内容に関連した流行りのキーワード」などを、「#」という形で投稿するのが一般的。この「#」はラベルのような役割を持ち、利用者は「#」を使ってI n s t a g r a mの投稿を検索しています。

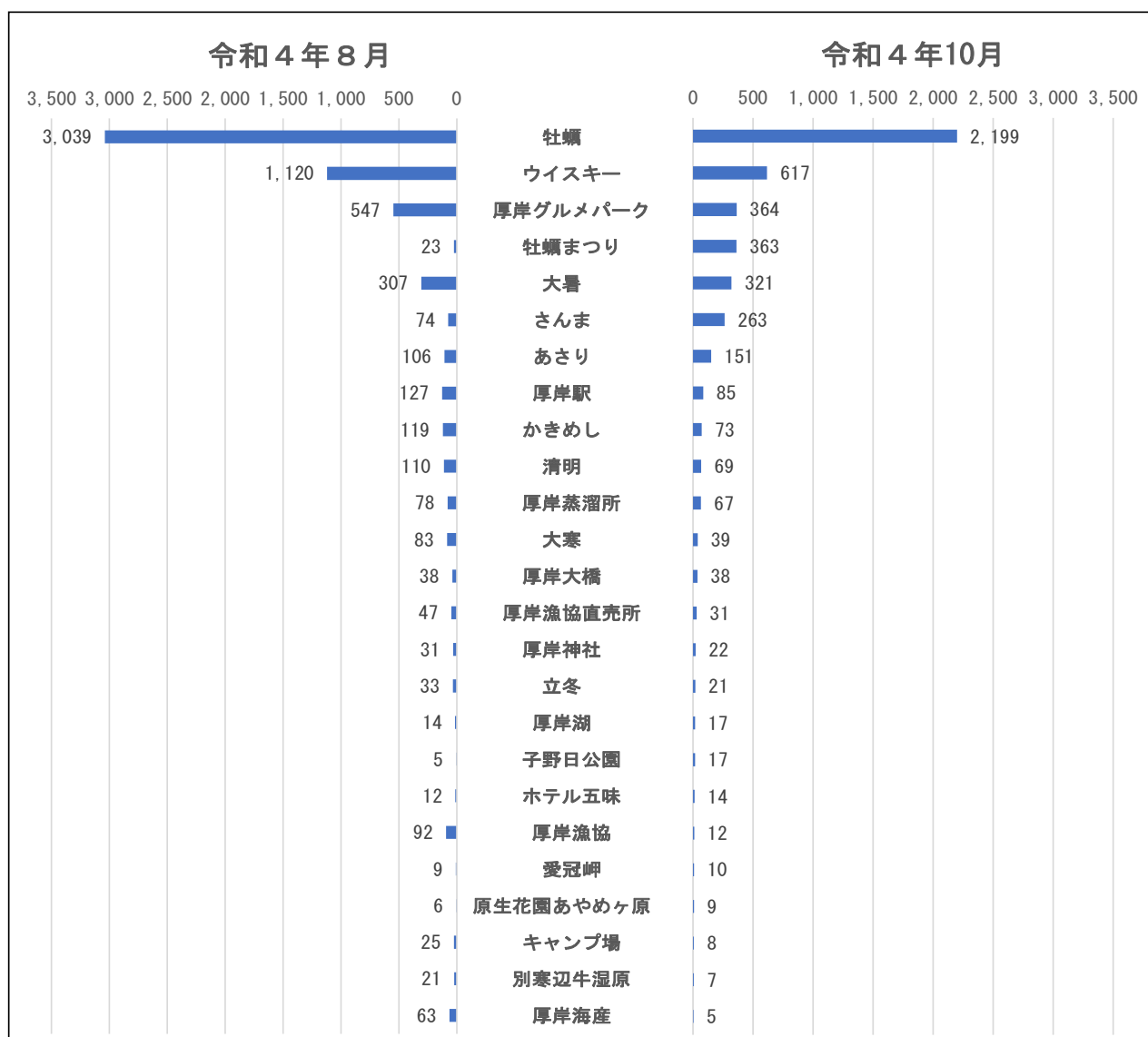
【Instagramにおける厚岸関連#の利用状況】



令和4年（2022）10月27日調査時点

③ T w i t t e r による厚岸観光の情報発信・収集

- ・ T w i t t e r による情報発信の結果を「厚岸」で検索し、夏の観光シーズンである令和4年（2022）8月と、3年ぶりの「あっけし牡蠣まつり」が開催された令和4年（2022）10月の発信内容に含まれるキーワード結果を比較したところ、8月と10月ともに上位のキーワードは、「牡蠣」「ウイスキー」「厚岸グルメパーク」で共通しています。
- ・ 8月に多かったキーワードは、厚岸ウイスキーの「大暑」が発売された「ウイスキー」、10月に多かったキーワードは、3年ぶりに開催された「牡蠣まつり」、水揚げが増加した「さんま」などがあります。



※同種のキーワードはまとめて集計

(7) 先進事例調査

① 千葉県いすみ市における「食」を活用した地方創生事業

千葉県外房に位置するいすみ市は、東京駅から特急利用で1時間10分、自動車利用ではアクアライン経由で1時間40分ほどに位置しています。人口は35,896人（令和5年1月1日現在）。

太平洋に面したいすみ市は、豊かな自然と温暖な気候によって育まれる、イセエビ、マダコ、いすみ米、チーズ、日本酒などの生産地であり、日本を代表する料理人にも使われている高品質な食材に恵まれています。

いすみ市では、食・食文化の育成・ブラッシュアップを通じ、スペインのサンセバスチャンのような「美食観光都市」へと変貌させていくことを目指し、様々な事業に取り組んでいます。

●大原漁港「港の朝市」

- ・ 豊かな食資源と、東京からほど近い地の利を活かして、毎週日曜日に『大原漁港「港の朝市」』を開催。平成25年（2013年）に始まった時は月1回の開催でしたが、回を重ねるごとに来場客が増えたことから、平成27年（2015年）には月2回、平成28年（2016年）からは毎週日曜開催となっています。朝市には最大40軒を超える出店があり、開催時間は8時から12時まで。購入した商品をそのままバーベキューできるコーナーが人気となっています。
- ・ 朝市の来場者を対象に実施したアンケートでは、市外客が8割という結果が出ており、朝市の開催が観光客の増加に繋がっています。

●ONSEN・ガストロノミーウォーキング

- ・ ガストロノミーウォーキングは、独自の「食文化」を持つ地域を訪れ、その地域文化や伝統とともに「食」を楽しむ、食文化と観光が融合した旅行スタイルです。
- ・ 令和5年3月に開催する「第3回ONSEN・ガストロノミーウォーキングin美食の街いすみ」では、地域をウォーキングしながら、途中の温泉施設や食事を楽しむスタイルのイベント。全長9.6kmの行程をウォーキングし、食事を含めた所要時間は3.5時間。参加費は大人（飲酒あり）4,980円、大人（飲酒なし）3,980円、小中学生2,480円。
- ・ いすみ大使を務めるシェフ2名（うち1名はミシュラン1つ星シェフ）が協力し、1日限りの特別な一皿を提供しイベントに華を添えます。



資料：ツーリズムいすみホームページ

② ウイスキーツーリズム

見学・試飲ができる蒸留所をめぐるウイスキーツーリズム。北海道では、余市町のニッカウヰスキー北海道工場・余市蒸留所が有名です。2014年に放送されたテレビドラマでニッカウヰスキー創業者が取り上げられると来場者が急増、2015年には90万人を超える工場見学者がありました。

ウイスキーツーリズムの事例として、鹿児島県で新しく生まれた蒸留所2件の施設見学の概要を紹介します。この2件の蒸留所は、蒸留技術の研究などで日頃から情報交換を行っており、施設見学者にもう一方の蒸留所を紹介するという取組も行っています。

●マルス津貫蒸留所（本坊酒造株式会社）

- ・ 本坊酒造株式会社は明治5年（1872年）に創業、明治後半からは薩摩を代表する特産物である甘藷を使つての焼酎製造を開始。昭和24年（1947年）からウイスキーの製造を始め、山梨県、長野県に蒸留所を建設。平成28年（2016年）に、本坊酒造発祥の南さつま市津貫に「マルス津貫蒸留所」を建設しました。
- ・ 津貫蒸留所の見学は、旧蒸留塔→ウイスキー蒸留棟→石蔵樽貯蔵庫→本坊家旧邸「寶常」の順に行います。高さ26メートルのシンボルタワーとなる旧蒸留塔内では、本坊酒造の歴史をパネル展示するとともに、スーパーアロスパス式精製酒精蒸留装置の姿を見学することができます。ウイスキー蒸留棟では、ウイスキー製造の歴史をパネル展示、蒸留釜をはじめとしたウイスキー製造設備や製造工程を見学することが可能です。ウイスキーの香り漂う石蔵樽貯蔵庫を見学することもできます。
- ・ 蒸留所に隣接する本坊家旧邸「寶常（ほうじょう）」は、本坊酒造二代目社長が暮らした邸宅。旧家ならではの屋根を構成する瓦の美しさや贅沢な仕上げの威厳ある佇まいで、季節ごとに日々刻々と表情を変える庭園を楽しむことができます。この建物は、マルスウイスキーを味わえるBARとオリジナルグッズや酒類を販売するSHOPを兼ね備え、和と洋が融合した異空間を演出するくつろぎのスペースを提供しています。
- ・ 蒸留所で製造されたウイスキーは、南さつま市が実施した観光スタンプラリーの商品や、ふるさと納税の返礼品に採用されており、地元経済に貢献しています。

- ・ なお、「東京ウイスキー&スピリッツコンペティション2022（TWS C 2022）」では、本坊酒造株式会社のマルス信州蒸溜所が、ウイスキーツーリズムで地域に貢献したとして「ツーリズム賞」を受賞しています。

マルス津貫蒸溜所 概要

所在地：鹿児島県南さつま市加世田津貫6594

営業時間：9:00～16:00

入館：無料（試飲は全て有料）

売店：有り（寶常 Cafe Bar&Shop）

見学時間：蒸溜所約30分、寶常（有料試飲や売店）約15分

駐車場：普通車22台、バス2台

●嘉之助蒸溜所（鹿児島県日置市）

- ・ 嘉之助蒸溜所の母体である小正醸造は、明治16年（1883年）創業の焼酎メーカー。昭和32年に発売した長期貯蔵米焼酎「メローコヅル」は、焼酎を樽で寝かせることでまろやかな味わいを実現した熟成焼酎の先駆けとなっています。
- ・ 嘉之助蒸溜所は平成29年（2017年）に蒸溜を開始。蒸溜設備のほか、眺めの良いバーやオリジナルグッズを揃えたショップを併設し、訪れた人がウイスキーづくりを身近に体験できる施設となっています。
- ・ 製造工程の見学ツアーは、3基のポットスチルを備えた蒸溜工程、糖化槽、発酵槽などを間近で見学可能できるほか、麦芽の香り、ウイスキーの力強い香りなど、五感で感じられる見学コースとなっています。見学後には、併設するバーでテイastingを楽しめます。
- ・ 見学コースは、所要時間45分～1時間で一日に2回（午前・午後各1回）実施。参加費1,000円で、シングルモルト嘉之助やその構成原酒、ニューポットなど3～4種類をテイastingすることができます。
- ・ 日置市に新しくできた観光スポットとして注目されています。

嘉之助蒸溜所 概要

所在地：鹿児島県日置市日吉町神之川845-3

営業時間：10:00～16:30

見学コース参加費：1,000円

売店：あり



(写真) 3基のポットスチル



(写真) 眺めの良いバーカウンター

資料：嘉之助蒸溜所Facebook

③ 山陰海岸国立公園

山陰海岸国立公園は、東は京都府京丹後市から西は鳥取県鳥取市に至る約75kmの海岸部が指定されています。山地が直接海に接するリアス海岸が続いており、海食崖、海食洞、岩礁などが著しく発達し変化に富んだ海岸景観が特色となっています。

山陰海岸ジオパーク推進協議会は、国立公園のエリアを含む広域連携のプラットフォームで、地域の観光振興や地域製品の開発を中心に活動しています。

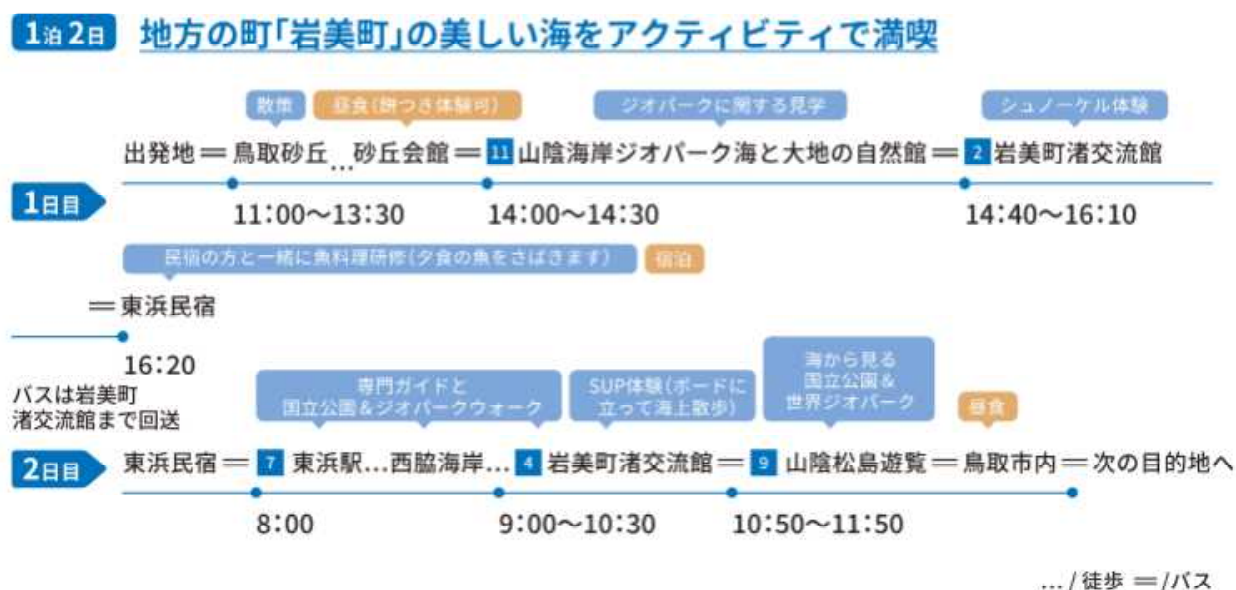
●教育旅行や体験学習への活用

- ・ 鳥取県岩美町の「海と大地の自然館」は、山陰海岸ジオパークの魅力をさまざまな資料や映像で紹介しています。体験学習コーナーは、山陰海岸の砂や生きものを観察することができます。さらに、年間を通して野外観察会や自然講座など

も実施しています。

- ・ 隣接する岩美町立渚交流館では、目の前の日本海を使ってカヌーやSUPなどを体験することができます。この2つの施設の体験学習メニューを組み合わせることで、県内外からの教育旅行を受け入れています。

《教育旅行のモデルコース》



資料：岩美町立渚交流館ホームページ

●ジオパークトレイル

- ・ 山陰海岸ジオパークトレイルは、西は鳥取県青谷から東は京都府経ヶ岬まで、日本海沿いに東西に延びる全長230kmのトレイルルートです。トレイルルートは27コースで構成されており、そのうち18コースは国立公園のエリア内です。各ルートは既存の遊歩道や海岸線を組み合わせて構成されており、1つのコースの踏破時間は、約70分～450分。パンフレットには、途中の宿泊できる場所やルート上にあるキャンプ場を紹介しています。
- ・ ルート走破によりポイントを獲得できるイベントを実施したところ208人が参加し、そのうち13人が全線踏破を達成しました。

④ 宿泊施設

厚岸町に新しい宿泊施設を整備する場合、求められるコンセプトとしては以下のよう
なものが考えられます。

■コンテンツ創造：厚岸の地域資源を活用した観光コンテンツを発掘・提供する

■地域社会への貢献：地域の飲食店等への顧客誘導が期待できる

■長期滞在：長期滞在に快適な宿泊施設を整備し、厚岸を拠点とする観光客を増やす

テーマ	施設名	特徴
コンテンツ 創造	OMO (株式会社星野リゾート)	・星野リゾートが展開する都市ホテルブランド。「テンションあがる『街ナカ』ホテル」をコンセプトに、ホテルを中心とした街全体をひとつのリゾートとして捉え、その街のディープな魅力を体感できる滞在を提案。 ・全国に16施設を展開し、北海道内は旭川・小樽・札幌の3施設。
	THE KNOT (いちご株式会社)	・その土地ならではの歴史・ヒト・コト・モノが集まり、世界でひとつのストーリーを紡ぐ場所。 ・日本地図に多くの「結び目 (KNOT)」を作りたいという思いから、地域に根付き、地域の魅力発信を軸とするホテルを展開。 ・全国に4施設を展開し、北海道内は札幌に1施設。
地域経済 への貢献	フェアフィールド・ バイ・マリオット (積水ハウス株式会社、 マリオット・インター ナショナル)	・地域の知られざる魅力を渡り歩く旅の拠点となるホテルを道の駅に隣接した場所を中心に建設。 ・館内にレストランはなく、食事は道の駅等でとることで、地域にお金が落ちる仕組み。 ・全国に24施設を展開し、北海道内は恵庭・長沼・南富良野の3施設。
	ファミリーロッジ 旅籠屋 (株式会社旅籠屋)	・自動車旅行に最適なロードサイドのミニホテル（アメリカのモーテル）を全国に展開。遊休地を持つオーナーが建物を建築し、旅籠屋が一括して借上げ経営と運営を行う。 ・飲食提供や物販を行わないため、周辺の商店とも共栄共存をはかることができる。 ・全国に72施設を展開し、北海道内は函館に1施設。
長期滞在	東急ステイ (東急リゾーツ&ステイ株式会社)	・「住まいにホテルの機能をプラスする」がコンセプト。洗濯乾燥機・電子レンジ・ミニキッチンといった中長期滞在に便利な設備を多くの客室内に設置している。 ・全国に31施設を展開し、北海道内は札幌（2施設）・函館の3施設。

⑤ 厚岸町における先進事例の横展開

●朝市の開催

- ・ 厚岸町の水産業は、カキ・アサリ・北海シマエビ・サンマ・昆布をはじめとして、多くの魚種が水揚げされることが特徴です。このように恵まれた海産物の提供方法として、「朝市」は有効な手法の一つとなります。
- ・ 千葉県いすみ市の大原漁港「港の朝市」は、当初は月に1回の開催から始まりましたが、人気を博し毎週開催されるまでに成長しました。厚岸町の朝市開催も観光客が集まる週末限定開催であっても、一定の効果を期待できます。海産物に加えて、町内で製造される乳製品、菓子、その他の商品を販売することで賑わいを創出することができます。

●景色を楽しむことのできるレストラン・カフェ

- ・ 厚岸町の魅力の一つに太平洋を一望できる景観の良さがあります。こうした景観の良さを活用した飲食店が欲しいという意見は、町民の中からも出ています。
- ・ 鹿児島県日置市の嘉之助蒸溜所の「THE MELLOW BAR」では、目の前に広がる東シナ海に沈む夕陽を眺めながらウイスキーをテイastingできます。厚岸町にも、そうした絶景を楽しめるレストランやカフェの設置が求められます。

●厚岸町の自然環境を活かした体験メニュー

- ・ 厚岸霧多布昆布森国定公園の森と湿原が生み出す恵みは、カキをはじめとする海産物や厚岸ウイスキーを生み出す源となっています。
- ・ 山陰海岸国立公園では、海岸線独特の地形を生かした多様なトレイルルートや海の学習メニューを活用した教育旅行の受け入れを進めています。厚岸町においても、ネイパル厚岸において利用する団体向けに様々な体験メニューが提供されています。
- ・ 厚岸町の自然環境を活用した多様な体験メニューや、町内の景勝地や歴史スポットを巡るトレイルルート、厚岸ウイスキーを生み出す森を案内する体験メニューなど、新しいサービス提供が求められます。

●宿泊施設の整備

- ・ 厚岸観光の課題として、宿泊施設の不足や魅力向上を指摘する意見は多く出ています。宿泊施設を整備することで、厚岸観光のさらなる成長が期待できます。
- ・ 厚岸町に整備する宿泊施設としては、町内の観光資源を活かすことができるコンテンツ創造のノウハウを持つホテル、町内の飲食店との連携が期待できるホテル、長期滞在が可能で観光の拠点となるホテルなど様々なタイプが考えられます。

(8) 観光資源調査

No.	調査対象施設
1	子野日公園
2	愛冠岬
3	原生花園あやめヶ原
4	厚岸水鳥観察館
5	町営牧場
6	厚岸町海事記念館
7	筑紫恋キャンプ場
8	厚岸蒸溜所
9	愛冠自然史博物館
10	ネイパル厚岸
11	厚岸味覚ターミナル・コンキリエ
12	厚岸町総合観光案内所
13	厚岸漁業協同組合（直売店）

※各口コミ件数は令和5年2月17日現在の集計

厚岸町観光資源 No. 1

子野日公園

【概要】厚岸町ホームページ

- ・厚岸湖を望む子野日（ねのひ）公園は、大正12年～昭和10年までの間、厚岸町長を務めた（故）子野日弘毅氏が大切にしてきた翠湖園という12万平米の公園を、昭和37年に町が譲り受けました。
- ・その後町は、『町の木』であるエゾヤマザクラ（オオヤマザクラ）を千数百本補植し、今では国泰寺をしのぐ桜の名所として、また、春の『桜・牡蠣まつり』、秋の『牡蠣まつり』等各種イベントの会場として、多くの人に親しまれています。
- ・公園内では開園期間中いつでもバーベキューが楽しめるほか、子どもが遊べるコンビネーション遊具や森林浴を楽しめる散策路などもあり、桜の季節以外にも楽しめます。



立地	住所	厚岸町奔渡6丁目9番
	最寄駅・バス停	子野日公園バス停から徒歩1分
受入体制	案内体制	案内施設なし（管理棟のみ）
	バリアフリー	身障者用トイレ
	駐車場	乗用車約60台（うち身障者3台）、大型車4台
	Wi-Fi	なし
	感染症対策	手指消毒やマスク着用をお願いする看板を設置
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P9、P21、P25
	ホームページ	https://www.akkeshi-town.jp/kanko/shisetsu/nenohi/ http://www.akkeshi.shop/spot/single-spot5/
	SNS	厚岸町Facebookで発信
口コミ件数	Googleマップ	426
	Tripadvisor	11

特徴	春の『桜・牡蠣まつり』、秋の『牡蠣まつり』のイベント会場として厚岸町民には馴染み深い場所。桜の季節だけではなく、初夏の藤、秋の紅葉も楽しめる。子どもが遊べる遊具や、森林浴を楽しめる散策路などもある。
課題	イベント参加や桜の季節以外は、観光客向けの資源が少なく、町民が日常的に楽しむ公園。また、イベント実施時には公園周辺に渋滞が発生する。
考察	夜桜を楽しむライトアップ実施、高齢者等にも優しい散策路整備などが必要。

厚岸町観光資源 No. 2

愛冠岬

【概要】厚岸町ホームページ

- ・厚岸の代表的な名所である愛冠（あいかつぶ）岬は、『できそうもない困難を乗り越え愛の栄冠を得る』との思いで名づけられました。原名はアイヌ語でアイ・カップ（矢の上のもの）の意で、矢の届かないところから『できない、届かない』という意味も持っています。
- ・厚岸湾に突き出ているこの岬は数十mの断崖上にあり、眼前には海鳥繁殖地として有名な大黒島・小島を、眼下には筑紫恋海岸を望み、勇壮な景色を見ることができます。
- ・周囲は高山植物のダケカンバやエゾマツなどの樹林が自生しており、森林浴に最適なところです。また、付近には博物館、緑のふるさと公園、道立少年自然の家などの施設があり、ゆっくり散策することもできます。



立地	住所	厚岸町愛冠5番
	最寄駅・バス停	国泰寺バス停から徒歩30分（サービスセンターまで）
受入体制	案内体制	観光サービスセンターで対応
	バリアフリー	特になし
	駐車場	大型バス2台、乗用車30台
	Wi-Fi	なし
	感染症対策	手指消毒、換気
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P10、p26
	ホームページ	https://www.akkeshi-town.jp/kanko/shisetsu/aikappu/
	SNS	厚岸観光協会のFacebook、Instagram等を活用
口コミ件数	Googleマップ	70
	Tripadvisor	23

特徴	厚岸町中心部から比較的近い場所で、太平洋を一望できる。町民がお勧めする観光スポット第3位。天気が良い日には、小島・大黒島から尻羽岬まで見渡すことができる。岬一帯には数多くのシカが出没している。
課題	バス等の公共交通機関がなく、自転車や徒歩で向かうには坂道が厳しい。また、駐車場から岬までの道が舗装されていないため、車椅子等での利用が難しい。
考察	ネイパル厚岸を利用する団体や、大型バス団体の見学も受け入れ可能。岬までの歩道整備は、北海道大学との協議が必要となる。

厚岸町観光資源 No. 3

原生花園あやめヶ原

【概要】厚岸町ホームページ

- ・厚岸町市街地から12km、原始の踊り木と言えるダケカンバの林を通り抜けると、そこは高貴な香りを漂わす草原。毎年、6月中旬から7月上旬にかけて、100haの原生花園に咲くヒオウギアヤメの大パノラマは、訪れる人を幻想の世界に誘い込んでくれます。
- ・ヒオウギアヤメは、高層湿原や湿った草地に生える多年草です。葉は剣状で長さは20～40cm、幅は1～2cmで基部は紫色を帯び、高さ60～70cmの花茎を出し、枝割れして8cmほどの紫色の花を咲かせます。
- ・ヒオウギアヤメのほかにも、海浜・高山植物など約100種類以上の花々が、5月～10月の間、咲き誇ります。



立地	住所	厚岸町末広321番
	最寄駅・バス停	なし
受入体制	案内体制	観光サービスセンター
	バリアフリー	身障者トイレあり
	駐車場	乗用車約70台／身障者1台／大型車2台
	Wi-Fi	なし
	感染症対策	手指消毒、換気
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P9、P21、P25
	ホームページ	https://www.akkeshi-town.jp/kanko/shisetsu/ayame/ http://www.akkeshi.shop/spot/single-spot3/
	SNS	厚岸観光協会のFacebook、Instagram等を活用
口コミ件数	Googleマップ	185
	Tripadvisor	20

特徴	6月～7月にかけて30万株のアヤメが咲き誇る。草原を抜けると太平洋を一望できる展望台にたどり着く。草原には雑草を駆除するために馬が放牧されており、牧歌的な風景が広がっている。
課題	アヤメが咲く時期以外の集客が課題。公共交通機関もない。園内の歩道整備が進んでおらず車いすでの利用が難しい。
考察	牧柵や散策路の整備、バスなどアクセス手段の確保が必要。

厚岸水鳥観察館

【概要】厚岸町ホームページ

- ・厚岸水鳥観察館は、1993年にラムサール登録湿地に認定された厚岸湖・別寒辺牛湿原において、水鳥をはじめとする動植物と湿地の保全や湿原の賢い利用についての理解を深めてもらう活動を行ったり、調査研究やモニタリング等を行う拠点施設として建設されました。
- ・一階には展示室、レクチャールームなどがあり、観察カメラがとらえた湿原の映像を大画面で見られるほか、湿原の全容について、写真や解説パネル、立体模型などで学習することができます。また湿原の最新情報の提供や、別寒辺牛川下りでのカヌーのルールやマナーについての指導も行っています。
- ・二階は観察コーナーになっていて、別寒辺牛川河口付近の雄大な湿原の景観を間近に見ることができます。また、湿原で営巣するタンチョウや多くの渡り鳥の姿を観察することができます。



立地	住所	厚岸町サンヌシ66番地
	最寄駅・バス停	なし
受入体制	案内体制	事務室で対応（英語対応可能）
	バリアフリー	身障者用トイレ、スロープ
	駐車場	普通車20台+a、大型3台、身障者用スペースあり
	Wi-Fi	なし
	感染症対策	手指消毒、検温、換気
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P8、P25
	ホームページ	https://www.akkeshi-town.jp/kanko/shisetsu/mizudori/
	SNS	Twitter、Facebook、YouTube
口コミ件数	Googleマップ	121
	Tripadvisor	9

特徴	ラムサール条約登録湿地の拠点施設として、自然環境や生態系の保護・保全に取り組む施設。別寒辺牛湿原に関する各種情報提供を行い、学習拠点にもなっている。
課題	別寒辺牛湿原が国定公園に指定されたことを受けて、ビジターセンターとしての役割を担うことが期待される。
考察	湿原を見渡せる展望施設の整備、国定公園の魅力を伝えるための展示内容充実などが必要。

町営牧場

【概要】厚岸町ホームページ

- ・厚岸といえば、美しい海岸線、花、味覚を連想しますが、背後の根釧台地には大型酪農郷が広がる別世界があります。
- ・屯田兵により開拓された太田地区を通る道は、明治21年、当時標茶に収監されていた囚人によって、わずか8カ月で作られました。夜はたいまつの手かりで方向を定め、樹木は囚人を樹上に追い上げて、その重みで倒すという荒っぽい工事だったといわれています。
- ・この開拓された台地に広がる町営牧場は、大別、セタニウシ、別寒辺牛の三団地に分かれ、総面積は1,357haに達します。観光十景に選ばれている大別団地の放牧地は200haで450頭の乳用子牛が放牧されています。
- ・ここから望む緑の波状台地の視界は、まさに360度。遠く雄阿寒岳、雌阿寒岳を望み、放牧の群れる大地と地平線の彼方に浮き沈む太陽の壮大さは別格です。



立地	住所	厚岸町大別1番地
	最寄駅・バス停	なし
受入体制	案内体制	管理事務所あり
	バリアフリー	なし
	駐車場	展望用の駐車場なし
	Wi-Fi	なし
	感染症対策	なし
情報発信	パンフレット	なし
	ホームページ	なし
	SNS	なし
口コミ件数	Googleマップ	1
	Tripadvisor	0

特徴	大別地区には、広大な町営牧場の牧歌的な風景が広がっている。景色の良いところが多く、フットパス・マウンテンバイク・星空観察など活用の可能性がある。
課題	町内の酪農家から預託されている牛を放牧しているため、感染症予防の観点から部外者の立ち入りが難しい。そのため、放牧地を遠くから眺めるのみとなっている。
考察	町営牧場の景観を楽しめる展望施設、案内表示、休憩施設などが必要。

厚岸町観光資源 No. 6

厚岸町海事記念館

【概要】教育委員会ホームページ

- ・厚岸町は江戸時代からニシン漁やサケ・マス漁で栄え、サンマの豊漁や捕鯨など海との関わりによって人々の暮らしが営まれてきました。現在もサンマ、カキ、サケ・マス、アサリ、昆布など海の恵みを受けています。海と街の人々との密接な関わりを展示する施設として昭和63年10月1日に厚岸町役場庁舎前に開館いたしました。
- ・また、2階には日本最東端にあるプラネタリウムを設置しており、子供たちに宇宙への関心を促す学習施設として利用されています。



立地	住所	厚岸町真栄3丁目4番地
	最寄駅・バス停	厚岸駅から徒歩11分、役場前バス停から徒歩2分
受入体制	案内体制	事務室で対応 館内の解説パネルは英語対応
	バリアフリー	エレベーター、多目的トイレ、スロープ
	駐車場	厚岸町役場駐車場と共用
	Wi-Fi	なし
	感染症対策	手指消毒、検温、換気
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P12
	ホームページ	http://edu.town.akkeshi.hokkaido.jp/kaiji/
	SNS	Facebook、Twitter
口コミ件数	Googleマップ	32
	Tripadvisor	7

特徴	厚岸町を支えてきた漁業や、海とのかかわりを展示する施設。教育的な色合いが強く学校関連の見学が多いが、歴史好きな観光客の利用もある。2階には日本で一番東にあるプラネタリウムを設置。無料化したことで町民の利用が増加している。
課題	町内に開拓の様子を展示する施設が分散している（厚岸町郷土館、太田屯田開拓記念館）。観光面での活用を考えると、集約して展示内容を充実した方が望ましい。
考察	

厚岸町観光資源 No. 7

筑紫恋キャンプ場

【概要】厚岸町ホームページ

- ・自然に囲まれた静かな場所で日常とは違う空気を味わうことができる『筑紫恋キャンプ場』。
- ・フリースペースのテントサイトにバンガロー、炊事場やシャワー、ランドリーなどを整備しており、連泊もできるここでは、小さな川や大きな広場もあり子ども連れにもぴったりのキャンプ場です。



立地	住所	厚岸町筑紫恋2番地2
	最寄駅・バス停	老の山バス停から徒歩28分
受入体制	案内体制	管理事務所で対応
	バリアフリー	なし
	駐車場	30台以上可能、バンガローに横付け可能
	Wi-Fi	なし（携帯電話はドコモのみ通話可能）
	感染症対策	手指消毒
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P22
	ホームページ	https://www.akkeshi-town.jp/kanko/movie/tsukushikoi_camp/ https://www.akkeshi-town.jp/kanko/shukuhaku/chikushikoi/
	SNS	なし
口コミ件数	Googleマップ	88
	Tripadvisor	0

特徴	利用料が安く、ゴミを無料で引き受けてくれるなど利用者に優しいキャンプ場。長期滞在の利用者もいる。
課題	設備が古く改修が必要（バンガロー、トイレ）。携帯電話の電波状況が悪い。
考察	利用客のニーズに即した改修、敷地内の空きスペースの活用が必要。

厚岸蒸溜所

【概要】厚岸観光協会ホームページ

- ・ 冷涼な気候、海霧、良質な水がある環境がシングルモルトの聖地、アイラ島に似ていることから2016年厚岸蒸溜所が設立されました。厚岸産ピート、大麦、地元ミズナラを使った樽。甘く艶やかなフルーティさとピート感のコラボレーションが口の中に広がります。
- ・ 厚岸オールスターのウイスキーを目指し、北の大地が育むウイスキーは今、世界中から注目をあびています。



立地	住所	厚岸町宮園4丁目109番地2
	最寄駅・バス停	ふ化場入口バス停から徒歩5分
受入体制	案内体制	通常は入館できないが、道の駅とホテル五味（宿泊者のみ）の実施するツアーに参加すると、外部から見学を行うことができる。
	バリアフリー	一般客の入館は不可
	駐車場	一般車は駐車不可
	Wi-Fi	なし
	感染症対策	一般客の入館は不可
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P14,20
	ホームページ	http://akkeshi-distillery.com/
	SNS	Facebook、Instagram
口コミ件数	Googleマップ	31
	Tripadvisor	2

特徴	町の新しい特産品となっているウイスキー蒸溜所。世界的コンクールへの入賞や限定出荷による入手困難さで話題になっている。部外者が蒸溜所内部に立ち入ることはできないが、見学ツアーに参加することで外部からの見学や解説を聞くことは可能。見学希望者向けに、ホームページ上にバーチャル見学ページを開設している。
課題	見学用のテラスを設置しているが、参加人数に制限がある。ウイスキー直売所を併設しておらず、町内で購入できる場所がない。
考察	今後生産量が増加し常時販売が可能になった段階では、町内に直売所やバーなどが設置されることが望まれる。厚岸ウイスキーを生み出している森や水を体感できるエコツアーの検討も必要。

愛冠自然史博物館

【概要】博物館パンフレット

- ・愛冠自然史博物館は、臨海実験所の研究と教育に資する目的で設置されたもので、昭和の初期からの古い伝統を持っています。建物は1989年に改築され、脊椎動物、無脊椎動物や化石、鉱物など約2,000点の標本を常時、展示しています。また、そのほかに1,000点あまりの未整理標本があります。
- ・自然史博物館周辺のアイカップ自然林には、キタキツネ、エゾシカ、エゾリスなどの哺乳類、ミヤマカケス、ゴジュウカラ、オオルリ、コマドリなどの鳥類や多くの昆虫がすみ、エゾエンゴクサ・オオバナノエンレイソウ・エゾオオサクラソウ・コンロンソウ・キクバクワガタなど季節には多くの花を咲かせています。



立地	住所	厚岸町愛冠 (北海道大学北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所)
	最寄駅・バス停	国泰寺バス停から徒歩34分
受入体制	案内体制	事務スタッフ1名で対応
	バリアフリー	スロープ
	駐車場	愛冠岬駐車場を利用
	Wi-Fi	なし
	感染症対策	手指消毒、検温、換気
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P25
	ホームページ	https://www.fsc.hokudai.ac.jp/akkeshi/index.html (北方生物圏フィールド科学センター厚岸臨海実験所)
	SNS	厚岸臨海実験所のFacebook
口コミ件数	Googleマップ	27
	Tripadvisor	9

特徴	北海道大学の臨海実験所が管理運営を行っている博物館。多様な標本を展示している。博物館を含む愛冠岬の周辺は、北海道大学の敷地となっている。
課題	博物館独自の予算がないことから学芸員の設置ができない。そのため、展示内容の解説やイベント等を行うことが難しい。
考察	愛冠岬への散策路整備が必要。ただし、車道の延長は自然環境保護の観点から難しい。

ネイパル厚岸

【概要】ネイパル厚岸ホームページ

- ・ネイパル厚岸は、豊かな自然環境の中で青少年の健全な育成を図ることを目的に、平成5年に設置されました。
- ・厚岸霧多布昆布森国定公園内にあり、近くには雄大な海岸線を眺望できる愛冠岬、また施設から望む太平洋には、コシジロウミツバメやオオセグロカモメなどの海鳥繁殖地として国の天然記念物の指定を受ける「大黒島」があり、海岸部にはゼニガタアザラシやラッコが生息しています。
- ・学校が行う宿泊研修や施設主催のコミュニケーション活動・自然体験活動等において多くの方に利用されています。



立地	住所	厚岸町愛冠6番地
	最寄駅・バス停	国泰寺バス停から徒歩24分
受入体制	案内体制	事務室で対応
	バリアフリー	身障者用トイレ
	駐車場	30台
	Wi-Fi	あり（1階体育館と通路、2階会議室）
	感染症対策	手指消毒、検温
情報発信	パンフレット	
	ホームページ	https://okamotopbc.jp/napal-akkeshi/
	SNS	Facebook、Instagram、YouTube
口コミ件数	Googleマップ	50
	Tripadvisor	0

特徴	小中学生の団体が主に利用する宿泊体験施設。個人客の利用も可能であるが、利用はほとんどない。地域の自然環境を活用した様々な体験メニューや学習メニューを提供している。キャンプ場もあり、バーベキューをしながらキャンプも可能（現在はコロナ感染対策でキャンプは中止）。
課題	町の中心部から離れており車利用が前提になる。個人観光客の利用を想定した施設にはなっていない。
考察	体験メニューづくりのノウハウを厚岸町観光に還元する。

厚岸町観光資源 No.11

道の駅 厚岸グルメパーク 厚岸味覚ターミナル・コンキリエ

【概要】厚岸観光協会ホームページ

- ・厚岸の名産、カキを中心にレストランや炭焼き処で海の幸を味わえるグルメな道の駅。このほか、特産品などのおみやげも充実！
- ・観光拠点施設でもあり、別寒辺牛湿原カヌーツーリングやあさり掘りツアーなど体験メニューも豊富に揃っています。



立地	住所	厚岸町住の江2丁目2番地
	最寄駅・バス停	厚岸駅から徒歩5分
受入体制	案内体制	総合観光案内所あり（観光案内、体験観光受付） JNTO外国人観光案内所カテゴリー 1 認定（英語対応）
	バリアフリー	身障者用トイレ
	駐車場	大型4台、普通車97台（うち身障者用2台）
	Wi-Fi	あり
	感染症対策	手指消毒、換気、検温
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P10、P15、P25
	ホームページ	https://www.conchiglie.net/
	SNS	Facebook、Instagram、LINE
口コミ件数	Googleマップ	2,591
	Tripadvisor	170

特徴	厚岸町を代表する観光施設で、来訪者の訪問先、町民のお勧め施設ともに1位となっている。カキを中心にしたレストランの人气が高く、旅行雑誌「北海道じゃらん」による道の駅ランキング・食事メニュー部門では12年連続（2011年～2022年）1位となっている。
課題	週末のレストランは、待ち時間が当たり前となっている。
考察	道の駅での滞在時間を楽しめる展望施設やコンテンツ作りが必要。

厚岸町総合観光案内所

【概要】

- ・道の駅「厚岸グルメパーク」の1階に設置された案内所。町内外の観光案内に加えて、道の駅が実施している体験観光の受付を行っている。
- ・厚岸町内で唯一「JNTO外国人観光案内所カテゴリー 1 認定（英語対応）」を受けている。



立地	住所	厚岸町住の江2丁目2番地
	最寄駅・バス停	厚岸駅から徒歩5分
受入体制	案内体制	総合観光案内所あり（観光案内、体験観光受付） JNTO外国人観光案内所カテゴリー 1 認定（英語対応）
	バリアフリー	身障者用トイレ
	駐車場	大型4台、普通車97台（うち身障者用2台）
	Wi-Fi	あり
	感染症対策	手指消毒、検温、換気
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P10、P15、P25
	ホームページ	https://www.conchiglie.net/
	SNS	Facebook、Instagram、LINE
口コミ件数	Googleマップ	8
	Tripadvisor	7

特徴	厚岸町観光の総合的な案内窓口であり、英語対応が可能。観光案内に加えて、コンキリエが実施する体験観光の受付窓口にもなっている。
課題	町内の観光地を案内しても、車がないと訪問できない場所が多い。
考察	

厚岸町観光資源 No.13

厚岸漁業協同組合直売店 エーウロコ

【概要】厚岸町観光パンフレット

- ・大きな水槽には厚岸名産のカキをメインに、カニ、エビ、サケ、サンマなど新鮮な地場の魚介類が所狭しと販売されています。
- ・厚岸漁業が営んでいる直営店だけあって加工品も含め、品揃えが豊富なのが自慢。
- ・価格も安価なため、観光客だけではなく、地元の人たちも多く利用しています。



立地	住所	厚岸町港町5丁目3番地
	最寄駅・バス停	厚岸駅から徒歩16分、厚岸大橋バス停から徒歩1分
受入体制	案内体制	質問等には売店スタッフが対応
	バリアフリー	身障者用トイレ、スロープ
	駐車場	40台以上、身障者用2台
	Wi-Fi	あり
	感染症対策	手指消毒、検温、ビニールカーテン
情報発信	パンフレット	厚岸町観光パンフレット P16
	ホームページ	https://www.a-uroko.or.jp/
	SNS	ブログ、Facebook、YouTube、Twitter（スタッフのアカウント）
口コミ件数	Googleマップ	1,872
	Tripadvisor	73

特徴	新鮮な海産物や水産加工品を購入できる直売店。来訪者の訪問で3位、町民がお勧めするスポットで2位になっている。
課題	店内で購入したカキ等を食べるイートインコーナーがあったが、コロナ感染対策で休止している。
考察	

3 厚岸町観光審議会への諮問

厚観観第 16 号

令和 5 年 3 月 27 日

厚岸町観光審議会会長 様

厚岸町長 若 狹 靖

厚岸町観光振興計画について（諮問）

厚岸町観光審議会条例第 2 条の規定に基づき、厚岸町の観光事業の総合的な対策を樹立しその円滑な推進をはかるため、厚岸町観光振興計画（原案）について、貴審議会の意見を求めます。

記

（諮問事項）

厚岸町観光振興計画の策定について

4 厚岸町観光審議会からの答申

令和5年3月27日

厚岸町長 若 狹 靖 様

厚岸町観光審議会
会長 田 辺 正 保

厚岸町観光振興計画について（答申）

令和5年3月27日付け厚観観第16号をもって、当審議会に諮問のありました厚岸町観光振興計画の策定に係る原案について、慎重に審議した結果、原案のとおり了承したので答申します。

5 厚岸町観光審議会委員名簿

区分	団 体 名 等		氏 名
会長	(一社) 厚岸観光協会	会長	田 辺 正 保
副会長	厚岸町商工会	会長	中 村 一 明
委員	あっけしを考える会 「うるする」	会長	濱 秀 利
委員	釧路太田農業協同組合	参事	須 田 豊
委員	厚岸町商工会青年部	部長	佐 藤 雄 一
委員	厚岸町商工会女性部	部長	宗 形 良 子
委員	厚岸漁業協同組合	専務理事	佐 藤 広 章
委員	厚岸漁業協同組合青年部	部長	中 嶋 哲太朗
委員	釧路総合振興局森林室	室長	小 南 雅 誉
委員	厚岸町森林組合	参事	安 部 直 人
委員	厚岸町女性団体連絡協議会	会長	柿 崎 多佳子
委員	厚岸町地域公共交通活性化協議会		飛弾野 政 司
委員	厚岸町文化財専門委員会	会長	高 橋 眞 治
委員	学識経験者 (厚岸臨海実験所)	所長	仲 岡 雅 裕
委員	学識経験者		五 味 尚 紀

6 厚岸町観光審議会条例

○厚岸町観光審議会条例

昭和51年7月9日

条例第15号

(設置)

第1条 厚岸町の観光事業の総合的な対策を樹立しその円滑な推進をはかるため、厚岸町観光審議会（以下「審議会」という。）を置く。

(所掌事項)

第2条 審議会は、町長の諮問に応じ、次の事項につき調査審議し、又は意見を具申するものとする。

- (1) 観光事業の基本方針の策定に関すること。
- (2) 観光施設の整備促進に関すること。
- (3) 観光資源の開発、保護及び育成に関すること。
- (4) その他観光事業に関し必要と認めること。

(組織)

第3条 審議会は委員15名をもつて組織する。ただし、特別の事項を調査審議するため必要がある場合は、特別委員を置くことができる。

- 2 委員及び特別委員は関係団体および学識経験者のうちから町長が委嘱する。
- 3 委員の任期は2年とし、補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。
- 4 特別委員は当該事項の調査審議が終了したときは解嘱されるものとする。

(会長及び副会長)

第4条 審議会に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は委員が互選する。
- 3 会長は審議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は会長を補佐し会長に事故あるときは、その職務を代理する。

(部会)

第5条 審議会に、専門的事項を調査審議させるため必要に応じ部会を置くことができる。

(委任)

第6条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から施行する。

7 厚岸町観光審議会条例施行規則

○厚岸町観光審議会条例施行規則

昭和55年11月25日

規則第6号

改正 平成17年12月20日規則第37号

平成31年3月7日規則第7号

令和3年3月30日規則第29号

(趣旨)

第1条 この規則は、厚岸町観光審議会条例（昭和51年条例第15号）第6条の規定に基づき、厚岸町観光審議会（以下「審議会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(会議)

第2条 審議会の会議は、会長が招集する。

2 審議会は、委員の過半数が出席しなければ会議を開くことができない。

(議事)

第3条 審議会の議事は、出席した委員の過半数をもつて決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

(審議会招集の特例)

第3条の2 会長は、緊急の必要があり審議会の会議を招集する暇がない場合その他やむを得ない理由のある場合は、議事の概要を記載した書面を各委員に回付し、賛否を問い、審議会の会議に代えることができる。

2 第2条第2項及び前条の規定は、前項の場合について準用する。

(部会)

第4条 部会は、審議会から附託された事項について調査審議する。

2 部会は、会長の指名する委員及び特別委員をもつて組織する。

3 部会は、特別の事項に関する調査、審議を終了した時は、退任するものとする。

(部会長)

第5条 部会に、部会長を置く。

2 部会長は、当該部会に属する委員のうちから互選する。

3 部会の会議は、部会長が招集する。

4 部会長は、部会を代表し会務を総理する。

5 部会長に事故があるとき、又は、部会長が欠けたときは、部会長があらかじめ指名した者が、その職務を代理する。

6 部会長は、附議事項について調査審議したときは、その結果を審議会に報告しなければならない。

(庶務)

第6条 審議会及び部会の庶務は、観光商工課観光係において処理する。

(会長への委任)

第7条 この規則に定めるもののほか、審議会の議事その他の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、公布の日から施行する。

附 則 (平成17年12月20日規則第37号)

この規則は、公布の日から施行し、平成17年4月1日から適用する。

附 則 (平成31年3月7日規則第7号)

この規則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則 (令和3年3月30日規則第29号)

この規則は、令和3年3月30日から施行し、第1条の改正後の厚岸町表彰条例施行規則の規定、第2条の改正後の矢臼別演習場対策委員会条例施行規則の規定、第3条の改正後の厚岸町史編集委員会規則の規定、第4条の改正後の厚岸町個人情報保護審議会規則の規定、第5条の改正後の厚岸町個人情報保護審査会規則の規定、第6条の改正後の厚岸町児童館条例施行規則の規定、第7条の改正後の厚岸町障害支援区分等審査会規則の規定、第8条の改正後の厚岸町青少年問題協議会条例施行規則の規定、第9条の改正後の厚岸町国民健康保険条例施行規則の規定、第10条の改正後の厚岸町営牧場運営委員会設置規則の規定、第11条の改正後の厚岸町観光審議会条例施行規則の規定、第13条の改正後の厚岸町都市計画審議会条例施行規則の規定及び第14条の改正後の町立厚岸病院及び厚岸町介護老人保健施設運営委員会規則の規定は令和2年4月1日から適用し、第12条の改正後の厚岸町空家等対策の推進に関する条例施行規則の規定は令和2年9月30日から適用する。

8 厚岸町観光振興計画策定委員会設置要綱

○厚岸町観光振興計画策定委員会設置要綱

(設置目的)

第1条 厚岸町の観光分野における具体的戦略として厚岸町観光振興計画（以下「計画」という。）を策定するため、厚岸町観光振興計画策定委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、計画の策定に係る必要な事項について調査及び協議し、計画を策定する。

(組織)

第3条 委員会は、委員10人以内をもって組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、町長が委嘱する。

- (1) 各種団体の役員及び職員
- (2) 観光団体関係者
- (3) その他町長が適当と認める者

3 委員の任期は、計画が策定されるまでとする。ただし、補充の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

4 委員長に事故あるときは、あらかじめ委員長が指名する委員がその職務を代理する。

(会議)

第5条 委員会の会議は、委員長が招集する。

2 委員長は、会議の議長となる。

3 委員会の会議は、委員の半数以上が出席しなければ開くことができない。

4 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決することによる。

5 委員長は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務局は、観光商工課観光係に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が委員会に諮って定める。

附 則

この訓令は、令和4年8月1日から施行する。

9 厚岸町観光振興計画策定委員会名簿

区分	団 体 名 等		氏 名
会長	厚岸観光協会	事務局長	安 藤 義 秀
委員	厚岸漁業協同組合	参事	加 藤 大 将
委員	釧路太田農業協同組合	参事	須 田 豊
委員	厚岸町商工会	会長	中 村 一 明
委員	厚岸町商工会飲食店部会	部会長	鳥谷部 聡
委員	厚岸湖北商業連合会	会長	大 平 隆
委員	厚岸町商店会	会長	市 川 淳 一
委員	あっけしを考える会 「うるする」	会長	濱 秀 利
委員	N P O 法人あっけしネット	理事	西 田 哲 己
委員	株式会社厚岸味覚ターミナル	取締役 支配人	加 藤 裕 之

10 厚岸町観光振興施策検討委員会設置要領

○観光振興施策検討委員会設置要領

(目的)

第1条 この要領は、厚岸霧多布昆布森国定公園指定を機に、環境と産業が共生する活力ある観光地づくりに向け、環境と調和した観光施設等の整備を進めることを目的として制定する。

(検討委員会の設置)

第2条 前条の目的を達成するため、検討委員会を設置する。

(業務)

第3条 検討委員会は、第1条に掲げる目的を達成するため、次の業務を行う。

- (1) 観光施設整備箇所及び整備内容の決定
- (2) 観光施設整備箇所及び整備内容の優先順位の決定

(委員)

第4条 検討委員会は、別表に定める者をもって充てる。

2 検討委員会の委員長（以下「委員長」という。）は、委員の互選により定める。

(委員長の職務)

第5条 委員長は、検討委員会を代表して、会務を総括する。

2 委員長に事故があるときは、あらかじめ検討委員会の指定する委員がその職務を行う。

(会議)

第6条 検討委員会は、委員長が必要に応じて招集し、これを主宰する。

2 検討委員会は、委員の過半数の出席により成立し、議事は出席委員の過半数により決定する。

3 検討委員会には、委員長が認める委員の代理人を出席させることができる。

4 可否同数の場合は、委員の決するところとする。

(任期)

第7条 検討委員会の委員及び委員長の任期は、第3条の業務が決定されたときまでとする。

(事務局)

第8条 検討委員会の事務局は、観光商工課観光係に置く。

(その他)

第9条 この要領に定めるもののほか、検討委員会の運営に関し必要な事項は委員長が別に定める。

附 則

この要領は、令和4年1月20日から施行する。

別表（第4条関係）

区 分	氏 名（役 職）
委員	石 塚 徹（副町長）
	薩 田 翔 悟（総務課総務係長）
	濱 彩 乃（総務課広報統計係主事）
	三 浦 克 宏（総合政策課長）
	真里谷 隆（環境林務課長）
	高 橋 政 一（水産農政課長）
	渡 部 貴 志（建設課長）
	塚 田 敦 子（出納室長）
	川 越 一 寿（教育委員会生涯学習課長）
	菅 原 卓 己（教育委員会生涯学習課海事記念館文化財係長）
	加 藤 裕 之（株式会社厚岸味覚ターミナル支配人）
	安 藤 義 秀（厚岸観光協会事務局長）

厚岸町観光振興計画 (資料編)

令和 5 年 3 月 発行／厚岸町

〒088-1192 北海道厚岸郡厚岸町真栄 3 丁目 1 番地

TEL 0153-52-3131 (代表)

URL <https://www.akkeshi-town.jp>
